

甲州市総合計画見直しのための
まちづくりアンケート調査

結果報告書

平成24年10月

甲州市

目次

I 調査の概要及び回答者の属性

1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
(4)	本調査結果報告書の留意点	2
2	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	居住地区	3
(4)	居住地域	4
(5)	就業形態	4
(6)	業種	5
(7)	就学地・就労地	5
(8)	居住歴	6
(9)	世帯構成	6

II 調査結果

1	まちの現状について	7
(1)	甲州市の暮らしやすさについて	7
(2)	今後の定住意向について	9
(3)	市の各環境に対する現状評価	12
(4)	まちづくりで重視する項目	37
2	保健・医療・福祉について	39
(1)	健康づくり施策について	39
(2)	保健・医療対策について	41
(3)	高齢者が安心して暮らせる社会について	43
(4)	障害者が生き生きと暮らせる社会について	45
(5)	子育て支援や少子化対策の充実について	47
3	環境対策について	49
(1)	環境保全対策について	49
4	産業振興について	51
(1)	農林業の振興について	51
(2)	商工業の振興について	53

(3) 観光の振興について.....	55
5 生活環境について.....	58
(1) 生活環境の改善のために必要な整備.....	58
6 教育・文化・スポーツについて.....	61
(1) 学校教育の充実について.....	61
(2) 生涯学習活動の活性化に必要なこと.....	64
(3) 生涯スポーツ活動の活性化に必要なこと.....	66
7 消防・防災対策について.....	68
(1) 消防・防災対策について.....	68
8 土地利用、道路・交通について.....	71
(1) 優先的に整備すべき用地について.....	71
(2) 市内及び周辺で必要な道路、交通手段について.....	74
9 男女共同参画について.....	76
(1) 男女共同参画社会の形成について.....	76
10 地域間交流について.....	79
(1) 市内外との地域間交流について.....	79
11 広聴・広報、市民参画、情報化などについて.....	82
(1) 市政への関心について.....	82
(2) 市民の声の行政への反映について.....	84
(3) 市政に意見を言う機会や手段についての満足度.....	86
(4) 地域活動やボランティア活動について.....	88
(5) 参加したい地域活動.....	90
(6) 情報化社会への対応について.....	93
12 これからのまちづくりについて.....	96
(1) 今後のまちづくりについて.....	96
13 日頃の行動等について.....	99
(1) 日頃の行動について.....	99

まちの特色及び自由意見

◎甲州市の特色、誇るべきもの.....	116
◎まちづくりアンケート自由意見.....	117

甲州市まちづくりアンケート調査

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第一次甲州市総合計画・基本計画の後期5カ年計画（平成25年度～28年度）の策定に当たって、まちの現状評価や定住意向をはじめ、今後期待するまちづくりの方向や各分野における重点施策要望など、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	18歳以上の市内居住者
配布数	1,000
抽出法	無作為抽出（市民基本台帳より抽出）
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	平成24年7月
調査地域	市内全域。ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の3地域に区分した。 ①塩山地域 ②勝沼地域 ③大和地域

(3) 配布数及び回収結果

	今回調査	前回調査（平成18年7月）
配布数	1,000	2,000
有効回収数	403	822
有効回収率	40.3%	41.1%

(4) 本調査結果報告書の留意点

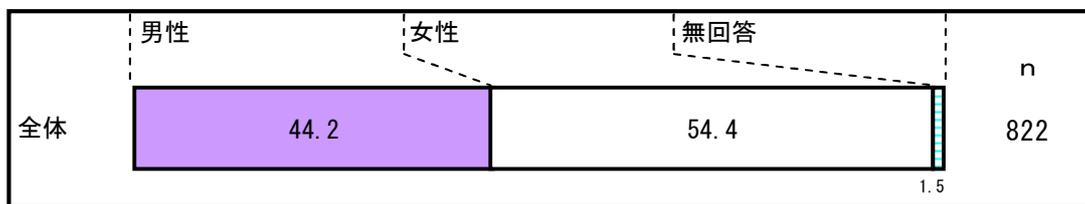
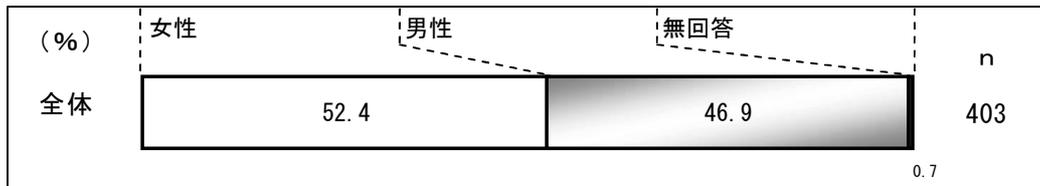
本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- 比率は百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100％を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100％として算出した。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100％を超える場合がある。
- 問の中には「～に○をつけた方にかがいます。」などいろいろな制限があり、回答者の数が少ない問が含まれる。またクロス分析においても項目によっては回答者数が少なく、有意性が低いものもある。
- なお、太い黒四角で囲っているグラフ等は、前回（平成18年7月）調査のもの。

2 回答者の属性

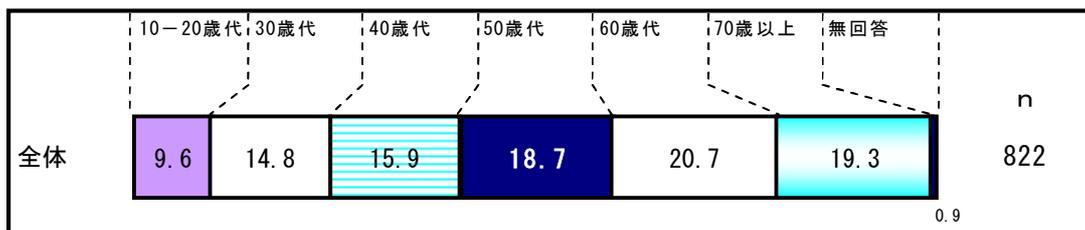
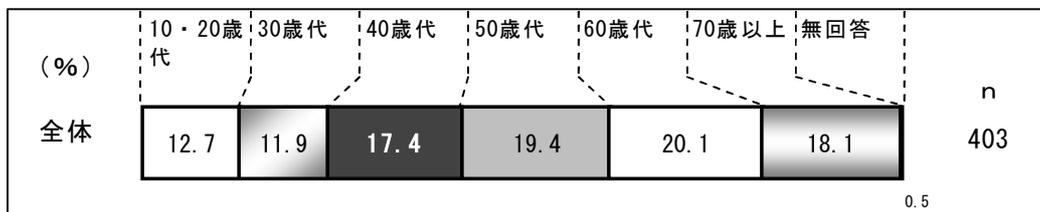
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」(52.4%)、「男性」(46.9%)となっている。



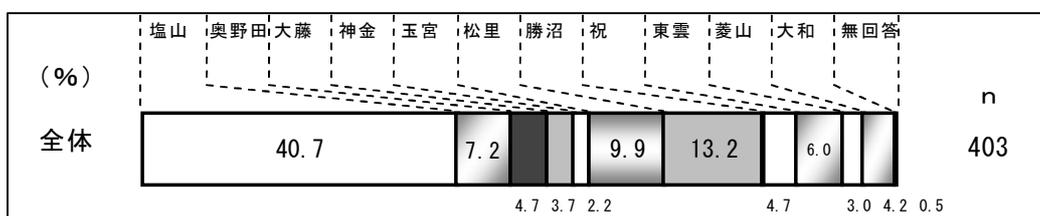
(2) 年齢

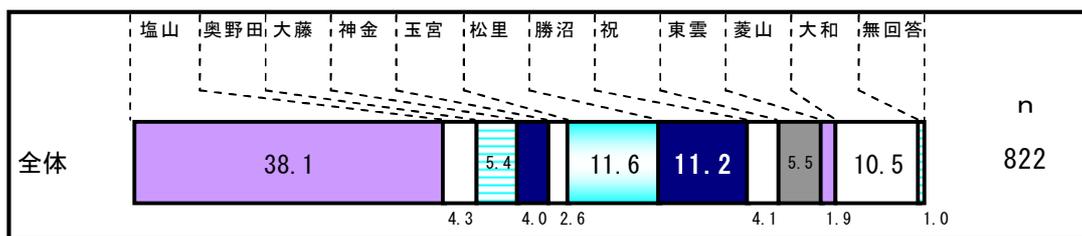
年齢は、「60歳代」(20.1%)、「50歳代」(19.4%)、「70歳以上」(18.1%)、「40歳代」(17.4%)、「10・20歳代」(12.7%)、「30歳代」(11.9%)の順となっている。



(3) 居住地区

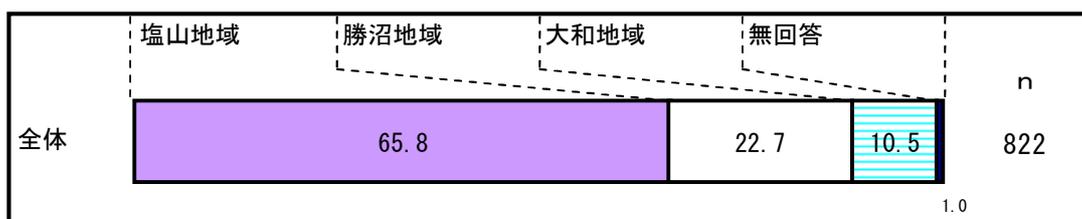
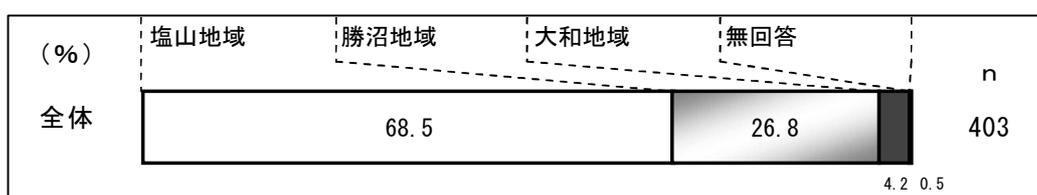
居住地区は、「塩山」が40.7%で最も多く、次いで「勝沼」(13.2%)、「松里」(9.9%)、「奥野田」(7.2%)、「東雲」(6.0%)、「大藤」(4.7%)、「祝」(4.7%)、「大和」(4.2%)、「神金」(3.7%)、「菱山」(3.0%)、「玉宮」(2.2%)の順となっている。





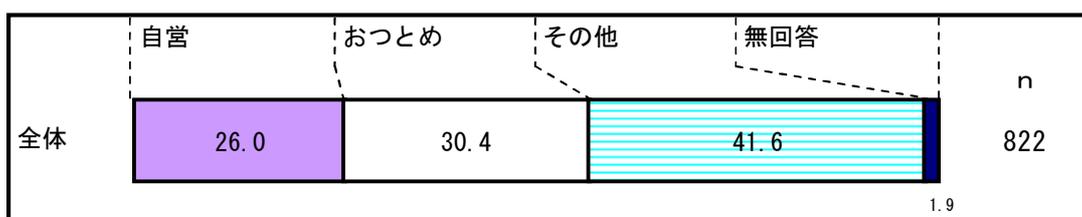
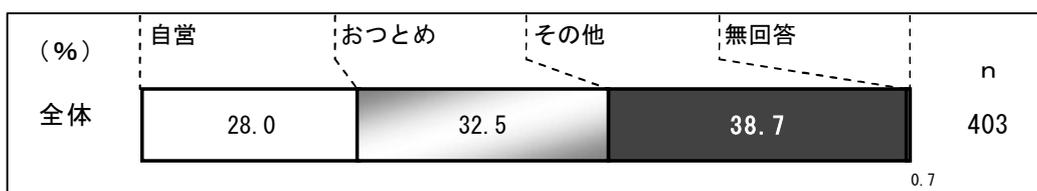
(4) 居住地域

居住地域は、「塩山地域」(68.5%)、「勝沼地域」(26.8%)、「大和地域」(4.2%)の順となっている。



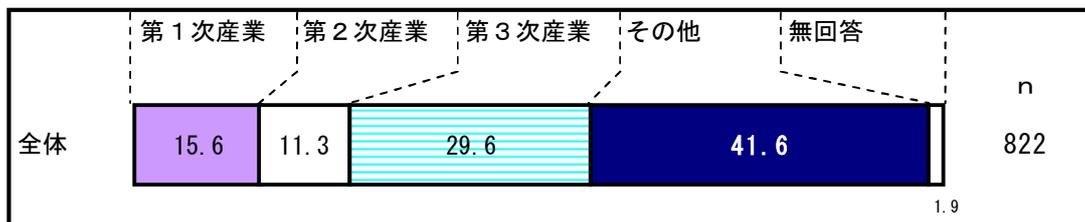
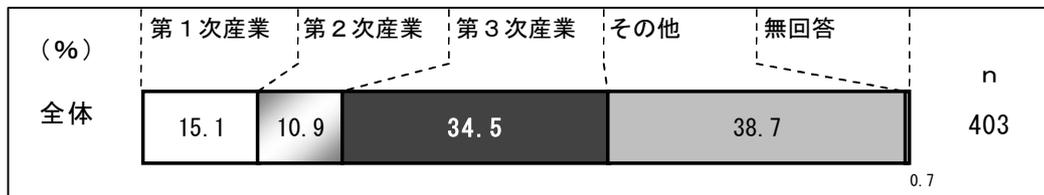
(5) 就業形態

就業形態は、「その他」(38.7%)、「おつとめ」(32.5%)、「自営」(28.0%)の順となっている。



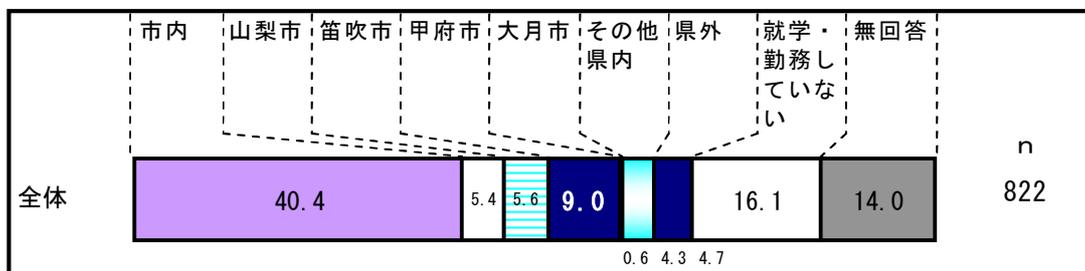
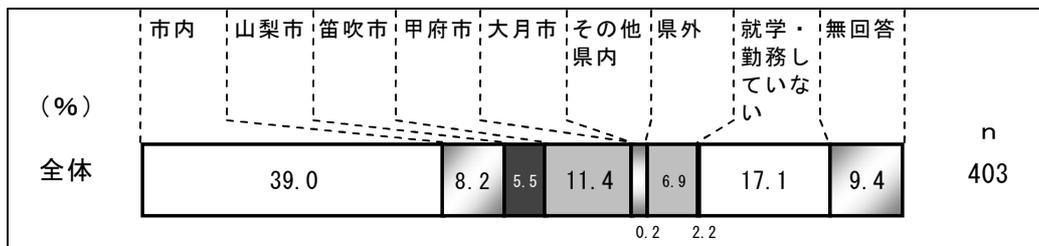
(6) 業種

業種は、「その他」(38.7%)、「第3次産業」(34.5%)、「第1次産業」(15.1%)、「第2次産業」(10.9%)の順となっている。



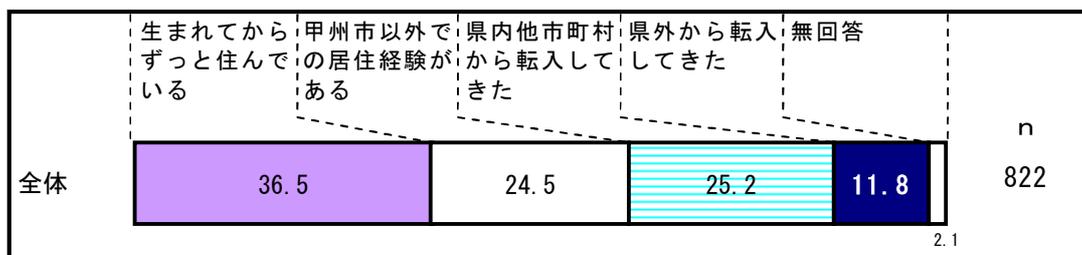
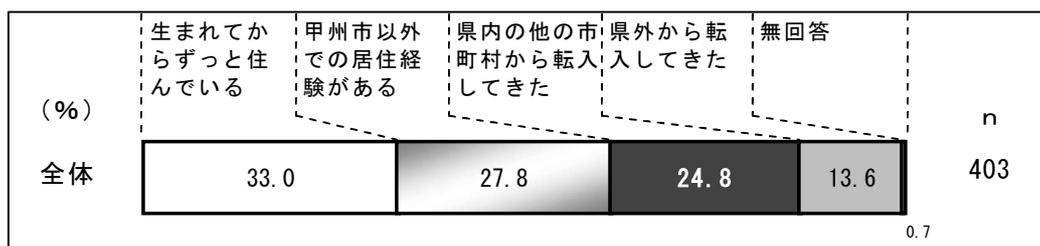
(7) 就学地・就労地

就学地・就労地は、「市内」(39.0%)、「甲府市」(11.4%)、「山梨市」(8.2%)、「県外」(6.9%)、「笛吹市」(5.5%)、「その他県内」(2.2%)、「大月市」(0.2%)の順となっている。なお、「就学・勤務していない」は17.1%であった。



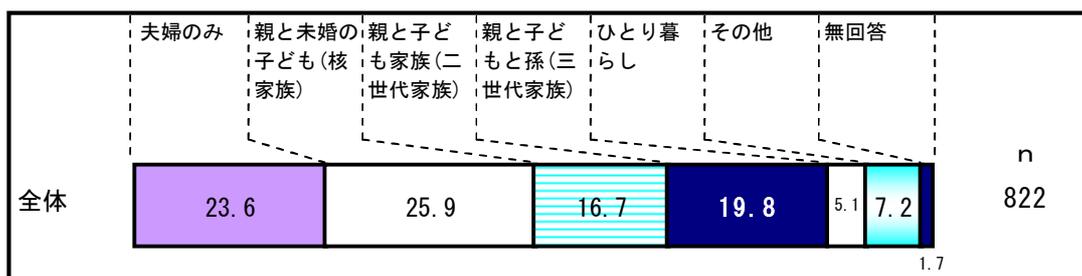
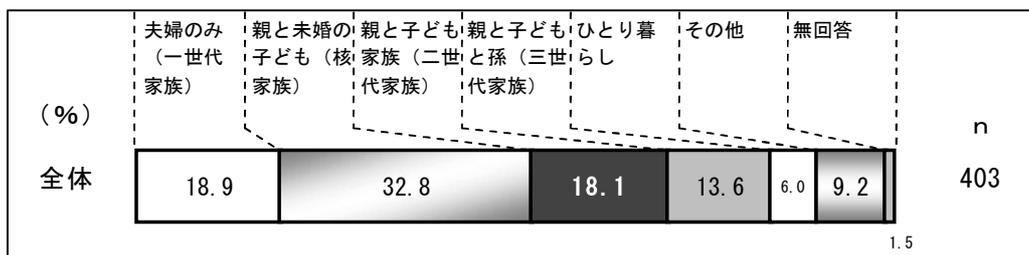
(8) 居住歴

居住歴は、「生まれてからずっと住んでいる」が33.0%で最も多く、次いで「甲州市以外での居住経験がある」(27.8%)、「県内の他の市町村から転入してきた」(24.8%)、「県外から転入してきた」(13.6%)の順となっている。また、甲州市の“出身者”(「生まれてからずっと住んでいる」及び「甲州市以外での居住経験がある」の合計)は60.8%、“転入者”(「県内各市町村から転入してきた」及び「県外から転入してきた」の合計)は38.4%となっている。



(9) 世帯構成

世帯構成は、「親と未婚の子ども」が32.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(18.9%)、「親と子ども家族」(18.1%)、「親と子どもと孫」(13.6%)、「その他」(9.2%)、「ひとり暮らし」(6.0%)の順となっている。



II 調查結果

1 まちの現状について

(1) 甲州市の暮らしやすさについて

問2 あなたは、全体的にみて甲州市の暮らしやすさについてどのように感じていますか。

- “満足している”が47.9%、「どちらともいえない」が32.3%、“不満である”が19.1%。
- 前回調査は、“満足している”が45.7%、「どちらともいえない」が34.7%、“不満である”が18.6%。

甲州市の暮らしやすさをたずねたところ、「どちらかという満足している」が36.7%と3割を超え、これに「満足している」(11.2%)をあわせた“満足している”という人が47.9%となっている。一方で“不満である”(「どちらかという不満である」13.9%及び「不満である」5.2%の合計)は19.1%にとどまり、「どちらともいえない」が32.3%となっており、全体的に満足している市民が多数を占めているといえる。

性別で“満足している”率をみると、男性では47.1%、女性では48.4%となっており、大きな差はみられなかった。

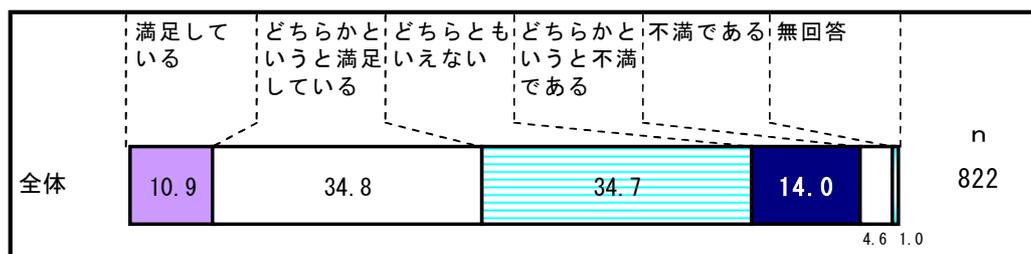
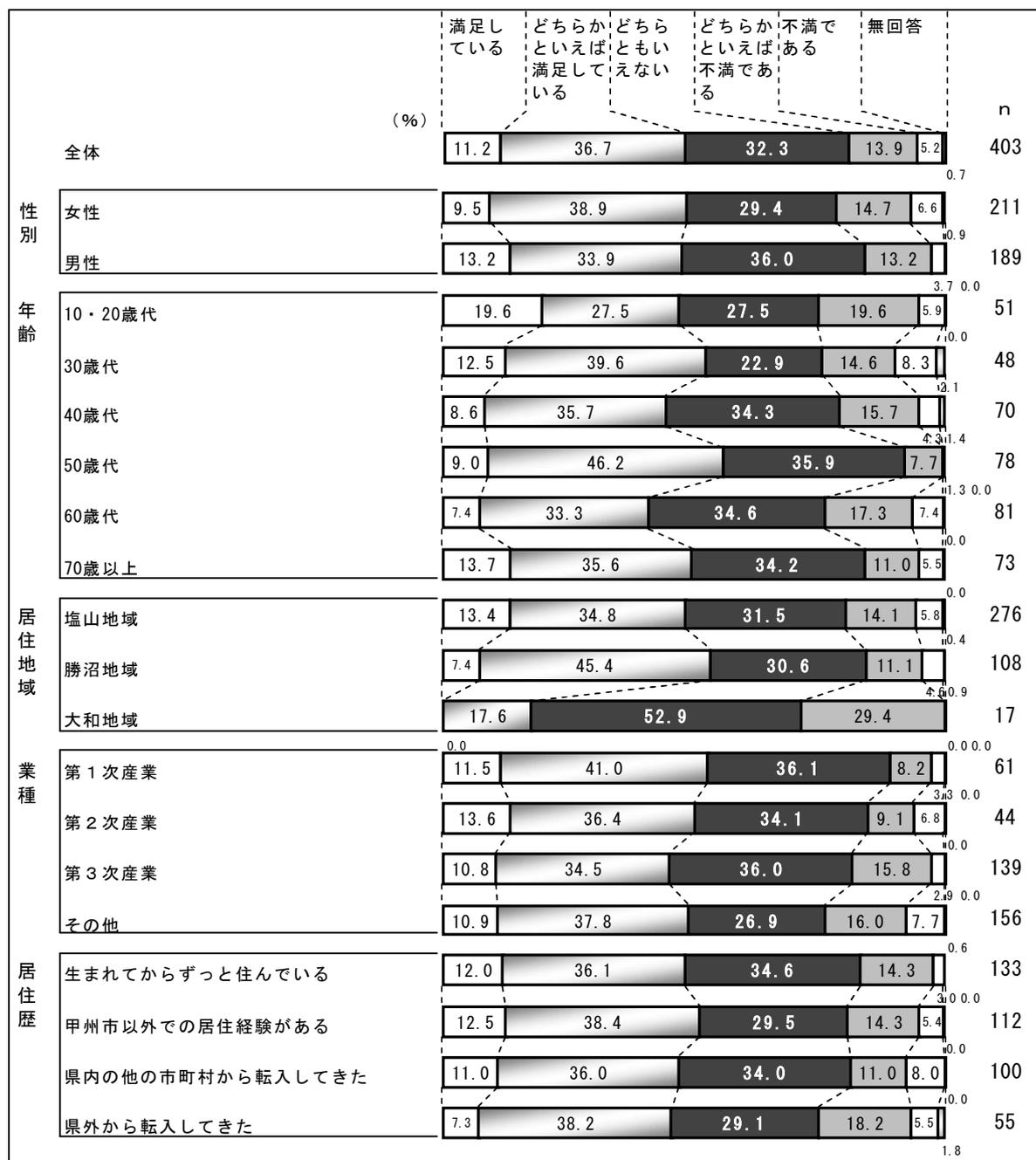
年齢別で“満足している”率をみると、50歳代で55.2%と最も高く、次いで30歳代(52.1%)、70歳以上(49.3%)、10・20歳代(47.1%)、40歳代(44.3%)、60歳代(40.7%)の順となっている。一方、“不満である”という回答をみると10・20歳代(25.5%)で最も多くなっている。

居住地域別で“満足している”率をみると、塩山地域では48.2%、勝沼地域では52.8%と50%前後を示しているのに対し、大和地域では17.6%と他の地域に比べて“満足している”率が低い傾向がみられる。

業種別で“満足している”率をみると、第1次産業従事者で52.5%と半数を超える一方で、第3次産業従事者で45.3%と最も低くなっている。

居住歴別で“満足している”率をみると、甲州市以外での居住経験がある(50.9%)で最も高く、県外から転入してきた人(45.5%)で最も低い傾向がみられた。[図表1参照]

図表1 甲州市の暮らしやすさについて（全体、性別、年齢別、居住地域別、業種別、居住歴別）



(2) 今後の定住意向について

問3 あなたは、これからも甲州市に住み続けたいと思いますか。

問3付問 その主な理由はなんですか。【“住みたくない”と回答した人のみ／複数回答】



- “住み続けたい”が47.4%。一方、“住みたくない”は16.4%。
- 住みたくない主な理由は「日常の買物が不便」が第1位。
- 前回の調査では、“住み続けたい”が81.4%。一方、“住みたくない”は17.1%。住みたくない主な理由の第1位は「日常の買物が不便」。

市民の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかというに住み続けたい」、「どちらかというに住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「住み続けたい」が47.4%と半数近くを占め、これに「どちらかというに住み続けたい」(35.0%)をあわせた82.4%の人が“住み続けたい”という意向を示している。一方、「どちらかというに住みたくない」(13.4%)及び「住みたくない」(3.0%)と答えた“住みたくない”という人の合計は16.4%にとどまり、定住意向が非常に強いといえる。

性別で“住み続けたい”率をみると、男性では82.5%、女性では81.5%となっており、大きな差はみられなかった。

年齢別でみると、「住み続けたい」と回答した割合で大きな差がみられ、最も低い10・20歳代(35.3%)と最も高い70歳以上(63.0%)では約28ポイントの差がみられる。

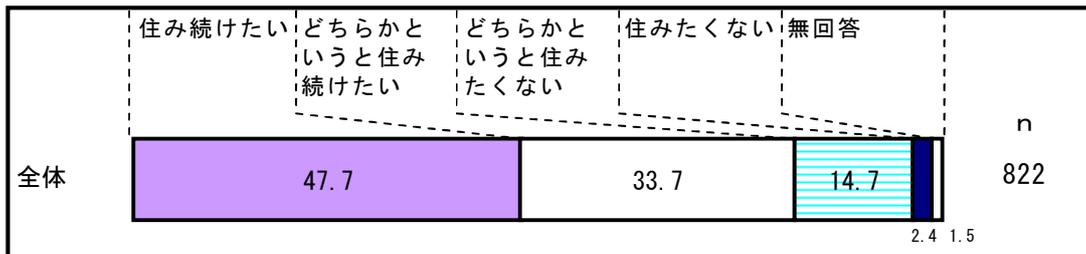
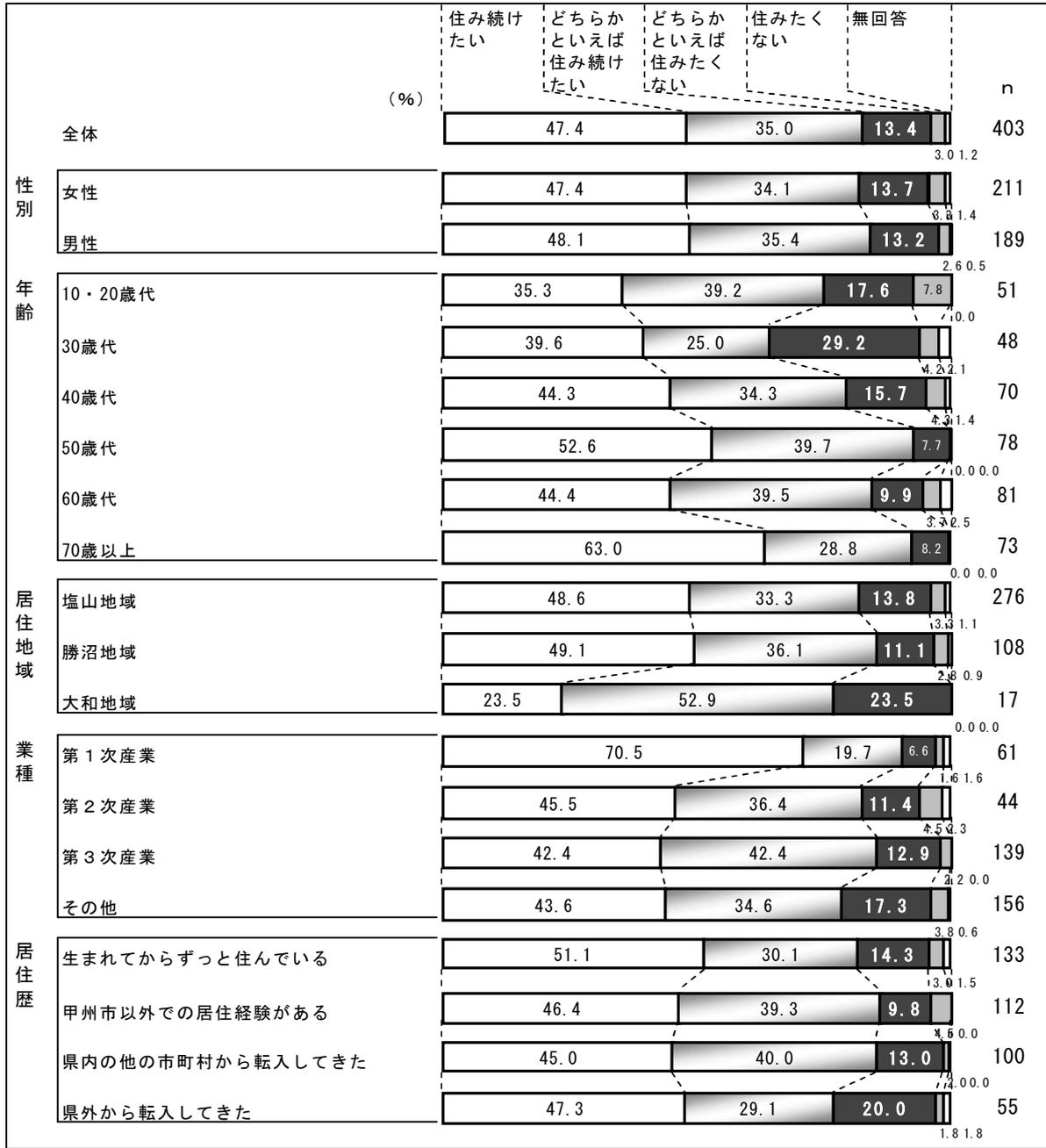
居住地域別でも「住み続けたい」率をみると、塩山地域(48.6%)と勝沼地域(49.1%)では5割弱となっているのに対し、大和地域では23.54%にとどまっている。

業種別、居住歴別で“住み続けたい”率をみると、第1次産業従事者(90.2%)で非常に定住意向が強い傾向がみられた。[図表2参照]

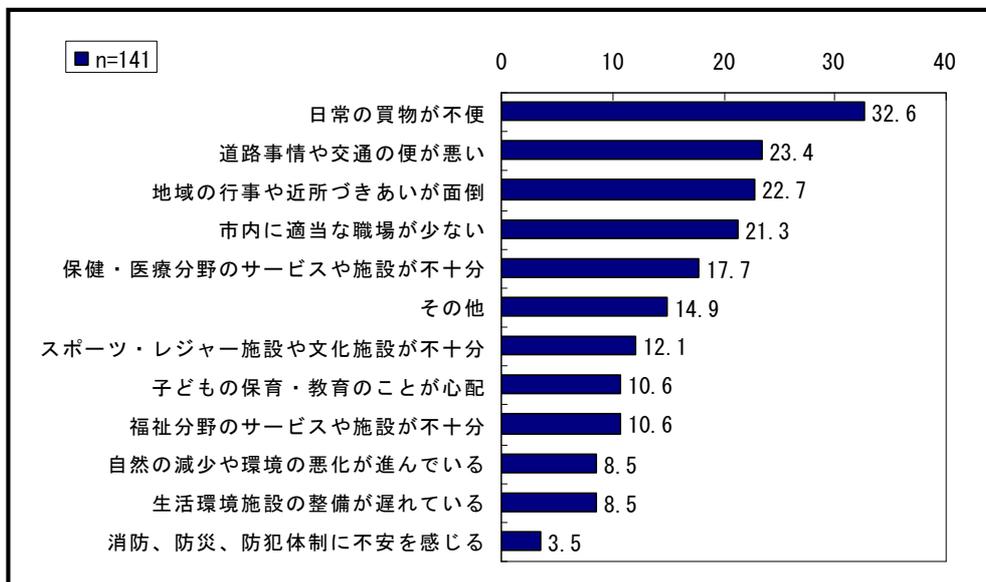
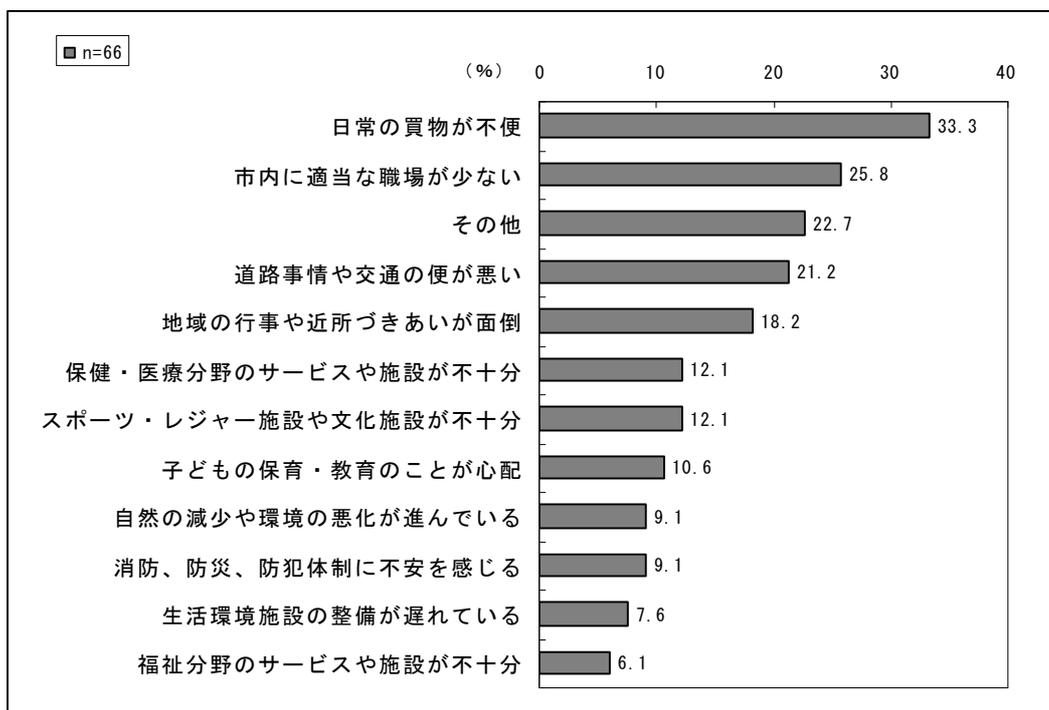
また、“住みたくない”と回答した人(全体の16.4%・66人)に、住みたくない主な理由をたずねたところ、「日常の買物が不便」(33.3%)、「市内に適切な職場が少ない」(25.8%)、「道路事情や交通の便が悪い」(21.2%)、「地域の行事や近所づきあいが面倒」(18.2%)、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」(12.1%)、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分」(12.1%)、「子どもの保育・教育のことが心配」(10.6%)、「自然の減少や環境の悪化が進んでいる」(9.1%)、「消防、防災、防犯体制に不安を感じる」(9.1%)、「生活環境施設の整備が遅れている」(7.6%)、「福祉分野のサービスや施設が不十分」(6.1%)の順であった。

[図表3参照]

図表2 今後の定住意向について（全体、性別、年齢別、居住地域別、業種別、居住歴別）



図表3 住みたくない主な理由について（“住みたくない”と回答した人のみ・全体／複数回答）



(3) 市の各環境に対する現状評価

問4 甲州市のまちづくりに関する(1)～(41)の各項目についておたずねします。

- ① あなたは各項目について、どの程度納得していますか。
- ② あなたは各項目について、どの程度重視していますか。

① 納得度

- 納得度の最も高い項目は「ワイン産業の振興」。次いで「健康診断や健康づくりへの支援」及び「ごみ収集や処理対策」、「資源のリサイクル対策」の順。
- 納得度の最も低い項目は「雇用・勤労者福祉施策」。次いで「商工業の振興」、「バス等の利便性の向上」の順。
- 前回調査では、満足度の最も高い項目は「健康診断の実施や健康づくりへの支援」。次いで「消防・防災体制の充実」、「資源のリサイクル対策」の順。
- 前回調査では、満足度の最も低い項目は「企業支援や就業・雇用の場の整備」。次いで「商工業の振興」、「鉄道やバスの利便性」の順。

甲州市の各環境について、どの程度納得しているかを把握するため、産業、福祉・保健・医療、基盤、安全・防災、環境、教育・文化、行政など各分野にわたる41項目を設定し、項目ごとに「納得している」、「どちらかというとなんげしている」、「どちらともいえない」、「どちらかというとなんげである」、「なんげである」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点(納得度：最高点2点、中間点0点、最低点-2点)を算出した。

これによる全体での納得度評価は、「ワイン産業の振興」(0.61点)が最も高く、次いで「健康診断や健康づくりへの支援」及び「ごみ収集や処理対策」(同点0.48点)、「資源のリサイクル対策」(0.44点)、「果樹・農林業の振興」(0.37点)、「簡易水道、上水道の整備」(0.36点)、「交通安全への取り組み」(0.32点)、「消防・防災体制の充実」及び「犯罪のないまちへの取り組み」(同点0.30点)、「幼稚園・学校教育の充実」(0.29点)などの順となっている。一方、納得度評価の低い方からみると、「雇用・勤労者福祉施策」(-0.43点)が最も低く、次いで「商工業の振興」(-0.33点)、「バス等の利便性の向上」(-0.32点)、「土地利用や市街地・公園の整備」(-0.30点)、「行財政改革の推進」(-0.10点)、「自然エネルギーの活用」(-0.08点)、「市政の情報提供や情報公開」(-0.05点)と続いている。総合すると、納得度がプラス評価の項目が30項目、マイナス評価の項目が11項目となっている。

また、居住地域別に納得度の上位項目と下位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられる。〔図表4～6参照〕

塩山地域

納得度の上位3項目は第1位が「ワイン産業の振興」(0.65点)、第2位が「ごみ収集や処理対策」、「健康診断や健康づくりへの支援」、「資源のリサイクル対策」(同点0.48点)の順。一方、下位3項目は第1位が「雇用・勤労者福祉施策」(-0.38点)、第2位が「バス等の利便性の向上」、「商工業の振興」(同点-0.36点)の順。

設定した41項目のうちプラス評価の項目は28項目、中間点は4項目で、マイナス評価の項目は9項目であった。

勝沼地域

納得度の上位3項目は第1位が「ワイン産業の振興」(0.52点)、第2位が「健康診断や健康づくりへの支援」(0.48点)、第3位が「ごみ収集や処理対策」(0.44点)の順。一方、下位3項目は第1位が「雇用・勤労者福祉施策」(-0.55点)、第2位が「商工業の振興」(-0.30点)、第3位が「バス等の利便性の向上」(-0.29点)の順。

設定した41項目のうちプラス評価の項目は28項目、中間点は2項目で、マイナス評価の項目は11項目であった。

大和地域

納得度の上位3項目は第1位が「資源のリサイクル対策」(0.82点)、第2位が「ごみ収集や処理対策」(0.81点)、第3位が「健康診断や健康づくりへの支援」及び「生活排水処理施設の整備」(同点0.76点)の順。一方、下位3項目は第1位が「土地利用や市街地・公園の整備」(-0.38点)、第2位が「公営住宅や良好な宅地の確保」及び「雇用・勤労者福祉施策」(同点-0.31点)の順。

設定した41項目のうちプラス評価の項目は30項目、中間点は1項目で、マイナス評価の項目は10項目であった。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「納得している」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらかというとな納得している」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらかというとな不満である」の回答者数} \times -1 \text{点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -2 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「納得している」、「どちらかという} \\ \text{とな納得している」、「どちらともい} \\ \text{えない」、「どちらかというとな不満であ} \\ \text{る」、「不満である」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(納得度)は2点～-2点の間に分布し、中間点の0点を境に、2点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-2点に近くなるほど評価が低くなる。

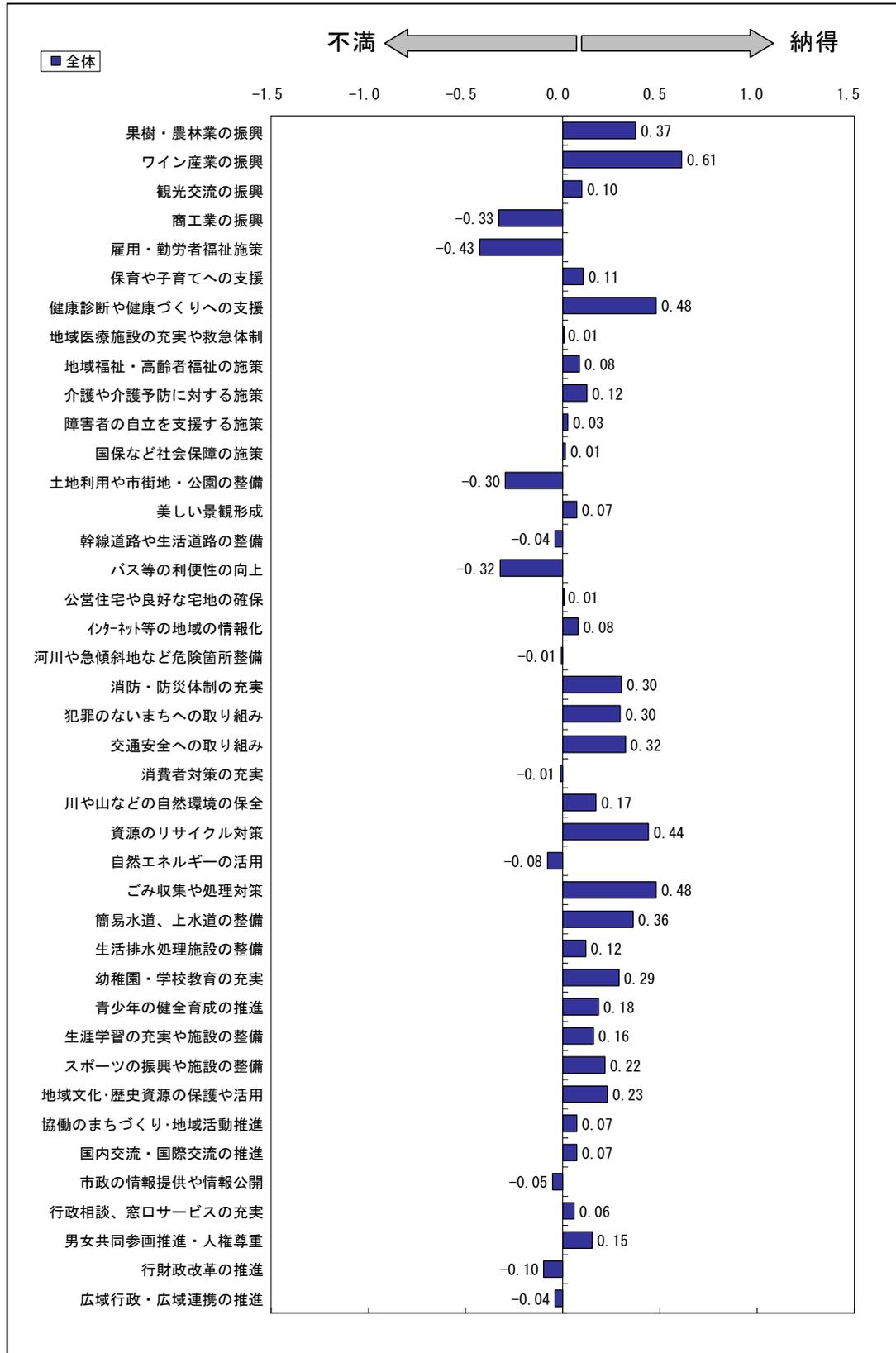
図表4 市の各環境に対する現状評価（全体、居住地域別／納得度）

（単位：評価点）

項目	納得度	全体	全体 前回調査	地区別		
				塩山地域	勝沼地域	大和地域
(1) 果樹・農林業の振興		0.37	-0.07	0.45	0.15	0.50
(2) ワイン産業の振興		0.61		0.65	0.52	0.75
(3) 観光交流の振興		0.10	-0.03	0.06	0.20	0.19
(4) 商工業の振興		-0.33	-0.29	-0.36	-0.30	-0.06
(5) 雇用・勤労者福祉施策		-0.43	-0.43	-0.38	-0.55	-0.31
(6) 保育や子育てへの支援		0.11	0.03	0.15	0.04	-0.06
(7) 健康診断や健康づくりへの支援		0.48	0.70	0.48	0.48	0.76
(8) 地域医療施設の充実や救急体制		0.01	0.21	0.00	0.03	0.12
(9) 地域福祉・高齢者福祉の施策		0.08	0.21	0.10	0.04	0.20
(10) 介護や介護予防に対する施策		0.12	0.15	0.13	0.08	0.41
(11) 障害者の自立を支援する施策		0.03	0.02	0.00	0.07	0.24
(12) 国保など社会保障の施策		0.01		-0.01	0.03	0.31
(13) 土地利用や市街地・公園の整備		-0.30		-0.34	-0.19	-0.38
(14) 美しい景観形成		0.07	-0.07	0.02	0.23	-0.13
(15) 幹線道路や生活道路の整備		-0.04	0.06	-0.05	0.01	-0.25
(16) バス等の利便性の向上		-0.32	-0.26	-0.36	-0.29	0.06
(17) 公営住宅や良好な宅地の確保		0.01		0.00	0.09	-0.31
(18) インターネット等の地域の情報化		0.08	0.14	0.04	0.22	-0.19
(19) 河川や急傾斜地など危険箇所整備		-0.01	-0.01	0.02	-0.09	0.13
(20) 消防・防災体制の充実		0.30	0.50	0.27	0.36	0.53
(21) 犯罪のないまちへの取り組み		0.30	0.21	0.24	0.40	0.53
(22) 交通安全への取り組み		0.32	0.32	0.30	0.32	0.71
(23) 消費者対策の充実		-0.01		0.01	-0.03	-0.18
(24) 川や山などの自然環境の保全		0.17	0.03	0.25	0.00	0.13
(25) 資源のリサイクル対策		0.44	0.36	0.48	0.31	0.82
(26) 自然エネルギーの活用		-0.08		-0.10	-0.13	0.47
(27) ごみ収集や処理対策		0.48	0.17	0.48	0.44	0.81
(28) 簡易水道、上水道の整備		0.36	0.31	0.35	0.33	0.69
(29) 生活排水処理施設の整備		0.12	0.06	0.13	-0.02	0.76
(30) 幼稚園・学校教育の充実		0.29	0.28	0.34	0.21	0.13
(31) 青少年の健全育成の推進		0.18		0.18	0.18	0.19
(32) 生涯学習の充実や施設の整備		0.16	0.17	0.16	0.16	0.06
(33) スポーツの振興や施設の整備		0.22	0.22	0.25	0.15	0.18
(34) 地域文化・歴史資源の保護や活用		0.23	0.33	0.25	0.18	0.35
(35) 協働のまちづくり・地域活動推進		0.07	-0.09	0.06	0.10	0.18
(36) 国内交流・国際交流の推進		0.07	0.09	0.09	0.03	0.18
(37) 市政の情報提供や情報公開		-0.05	-0.03	-0.08	-0.05	0.24
(38) 行政相談、窓口サービスの充実		0.06	-0.05	0.09	0.00	-0.06
(39) 男女共同参画推進・人権尊重		0.15	0.05	0.16	0.14	0.06
(40) 行財政改革の推進		-0.10	-0.22	-0.08	-0.17	0.00
(41) 広域行政・広域連携の推進		-0.04	-0.08	0.00	-0.15	0.06

図表5 市の各環境に対する現状評価（全体／納得度）

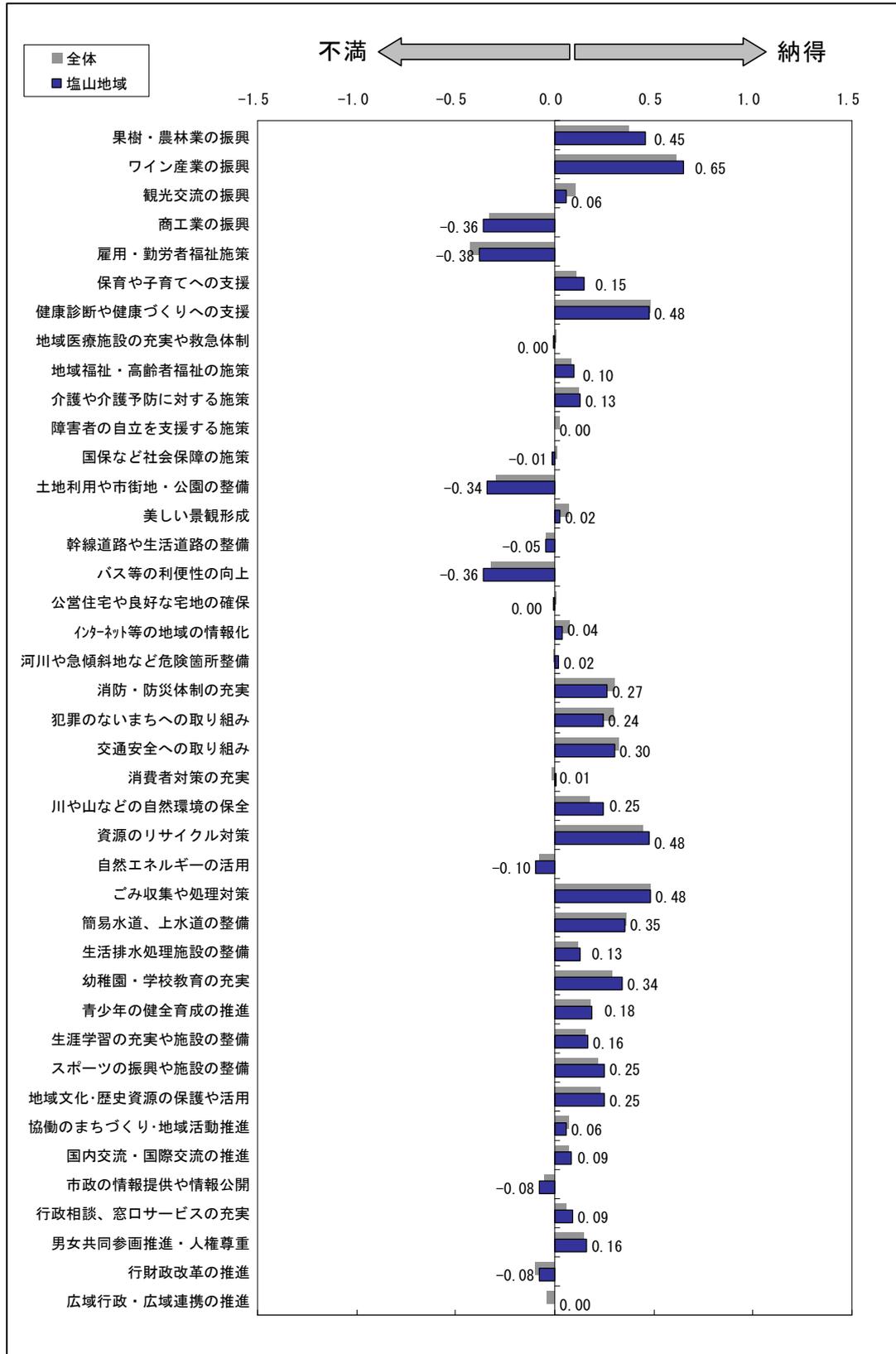
（単位：評価点）



図表6 市の各環境に対する現状評価（居住地域別／納得度）

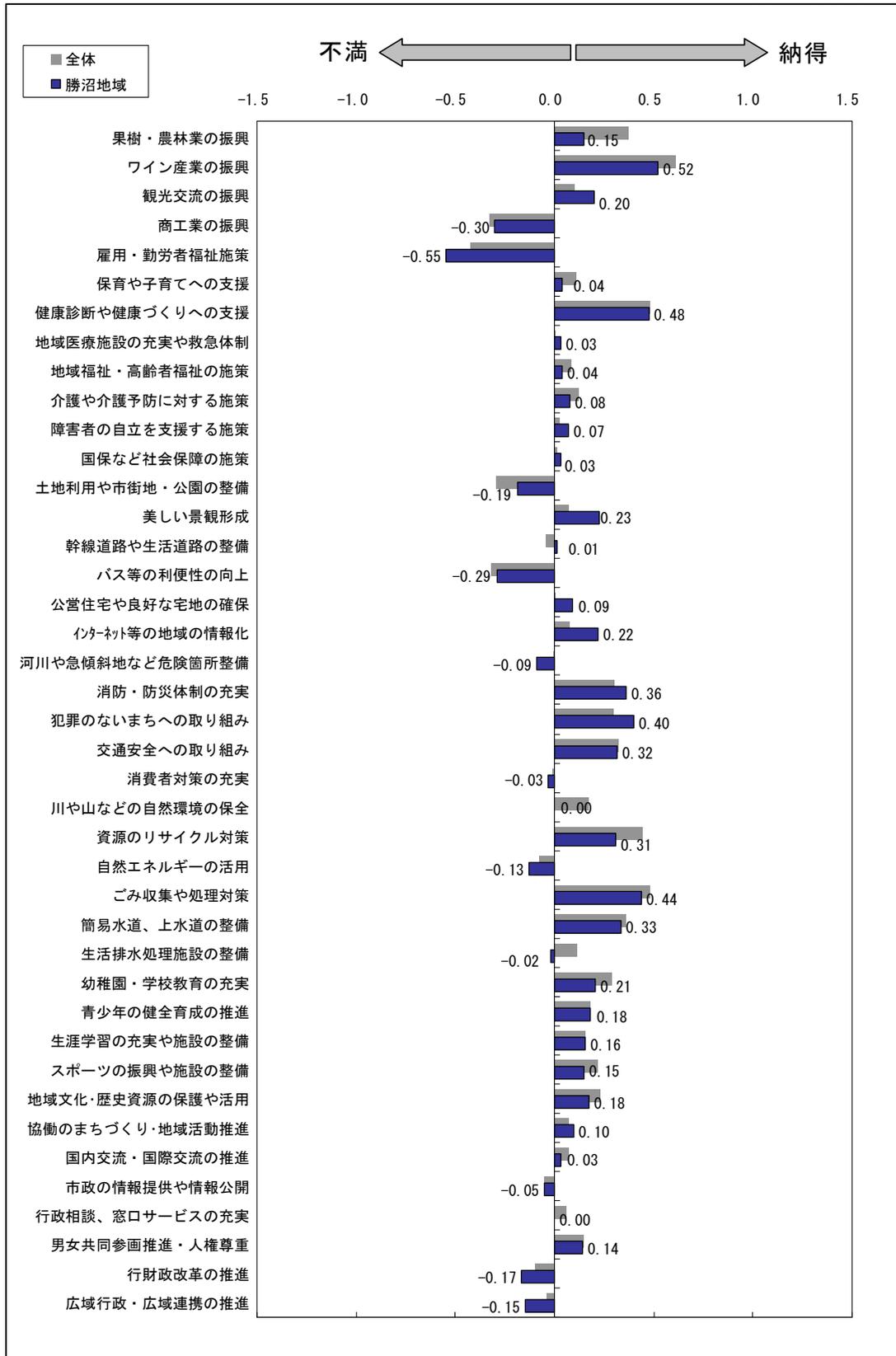
塩山地域

（単位：評価点）



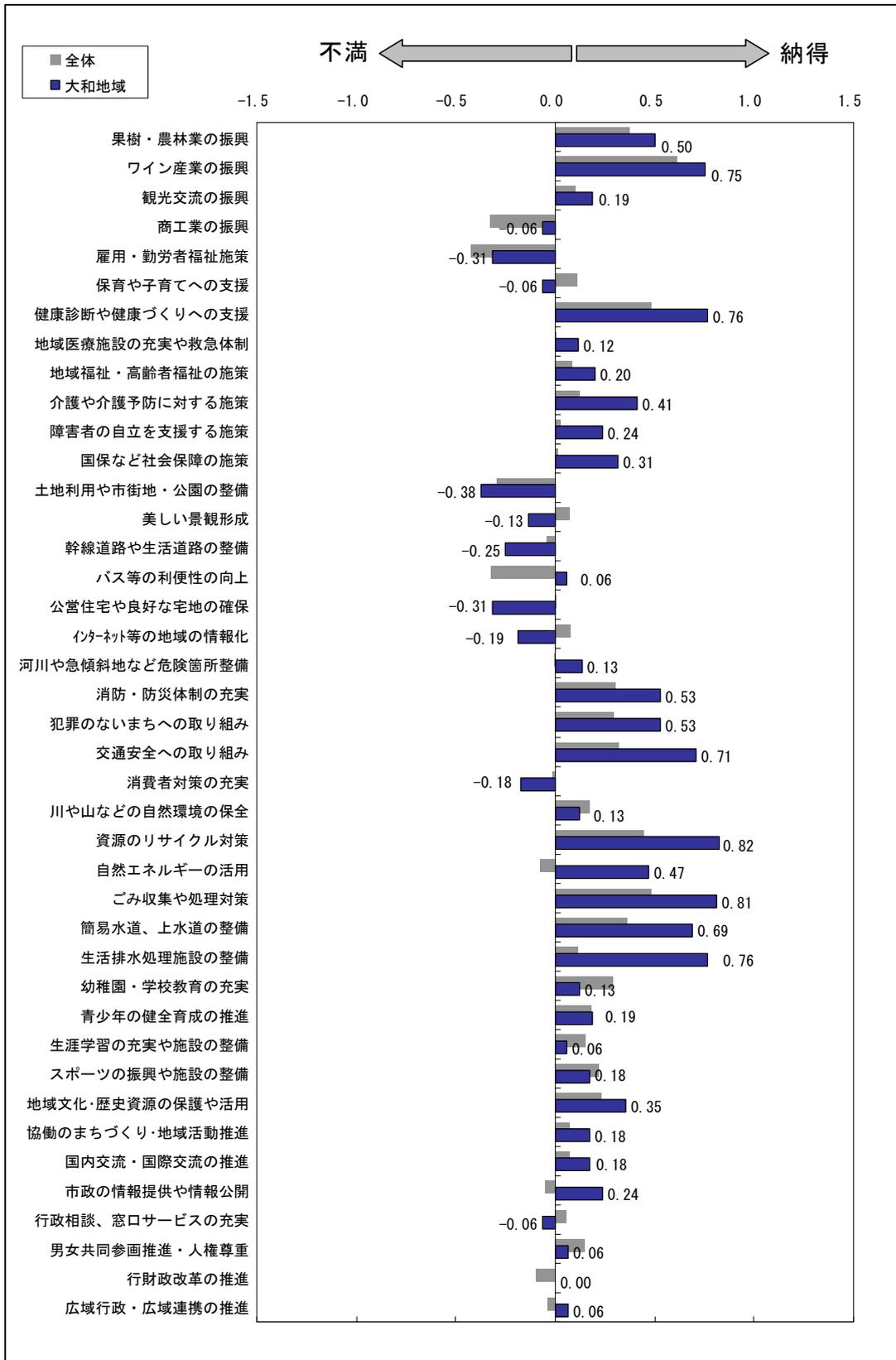
勝沼地域

(単位：評価点)



大和地域

(単位：評価点)



②重要度

- 重要度の最も高い項目は「地域医療施設の充実や救急体制」。次いで「保育や子育てへの支援」及び「果樹・農林業の振興」、「雇用・勤労者福祉施策」、「犯罪のないまちへの取り組み」の順。
- 前回調査では、重要度の最も高い項目は「地域医療施設の充実や救急体制」。次いで「ごみ収集や処理対策」、「保育や子育てへの支援」、「犯罪のないまちへの取り組み」、「健康診断の実施や健康づくりへの支援」の順。

甲州市の各環境について、どの程度重視しているかを把握するため、産業、福祉・保健・医療、基盤、安全・防災、環境、教育・文化、行政など各分野にわたる 41 項目を設定し、項目ごとに「重要である」、「どちらともいえない」、「重要でない」の 3 段階で評価してもらい、その結果を加重平均値 [後述参照] による数量化で評価点（重要度：最高点 1 点、中間点 0 点、最低点 -1 点）を算出した。

これによる全体での重要度評価は、「地域医療施設の充実や救急体制」（0.70 点）が最も高く、次いで「保育や子育てへの支援」及び「果樹・農林業の振興」（同点 0.60 点）、「雇用・勤労者福祉施策」（0.59 点）、「犯罪のないまちへの取り組み」（0.58 点）、「健康診断や健康づくりへの支援」、「ワイン産業の振興」、「幼稚園・学校教育の充実」（同点 0.56 点）と続き、以下、「ごみ収集や処理対策」（0.54 点）などの順となっている。

また、居住地域別に重要度の上位項目をみていくと、以下のとおりまとめられる。[図表 7～9 参照]

塩山地域

重要度の上位項目は第 1 位が「地域医療施設の充実や救急体制」（0.69 点）、第 2 位が「雇用・勤労者福祉施策」（0.62 点）、第 3 位が「保育や子育てへの支援」（0.60 点）と続き、以下、「果樹・農林業の振興」（0.58 点）、「犯罪のないまちへの取り組み」及び「幼稚園・学校教育の充実」（同点 0.58 点）などの順となっている。

勝沼地域

重要度の上位項目は第 1 位が「地域医療施設の充実や救急体制」（0.72 点）、第 2 位が「果樹・農林業の振興」、「保育や子育てへの支援」、「ワイン産業の振興」（同点 0.62 点）、以下、「健康診断や健康づくりへの支援」（0.61 点）、「犯罪のないまちへの取り組み」（0.58 点）などの順となっている。

大和地域

重要度の上位項目は第 1 位が「河川や急傾斜地など危険箇所整備」及び「資源の

リサイクル対策」(同点 0.73 点)、第 3 位が「ごみ収集や処理対策」(0.71 点)と続き、以下、「果樹・農林業の振興」及び「犯罪のないまちへの取り組み」(同点 0.67 点)、「雇用・勤労者福祉施策」、「地域医療施設の充実や救急体制」、「地域福祉・高齢者福祉の施策」、「介護や介護予防に対する施策」(いずれも同点 0.64 点)などの順となっている。

※加重平均値の算出方法

3段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \left[\begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 1 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -1 \text{ 点} \end{array} \right] \quad \begin{array}{l} \text{「重要である」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「重要でない」の回答者数} \end{array}$$

この算出方法により、評価点(重要度)は1点～-1点の間に分布し、中間点の0点を境に、1点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-1点に近くなるほど評価が低くなる(今回の調査では全体では重要度がマイナス評価となる項目はみられなかった)。

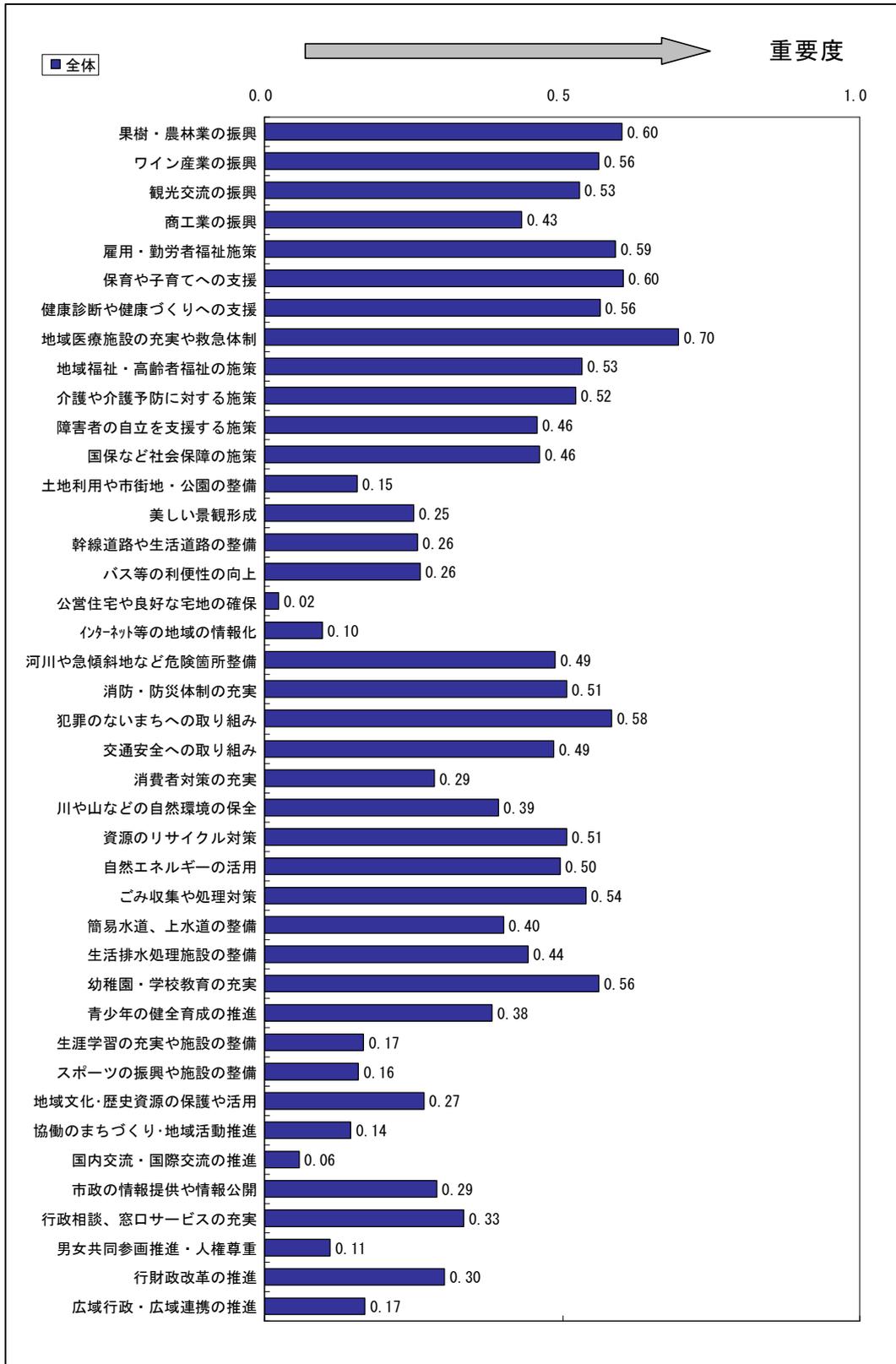
図表7 市の各環境に対する現状評価（全体、居住地域別／重要度）

（単位：評価点）

項目	重要度	全体	地区別			
			前回調査	塩山地域	勝沼地域	大和地域
(1) 果樹・農林業の振興		0.60	0.34	0.59	0.62	0.67
(2) ワイン産業の振興		0.56		0.54	0.62	0.60
(3) 観光交流の振興		0.53	0.38	0.51	0.57	0.53
(4) 商工業の振興		0.43	0.35	0.46	0.35	0.57
(5) 雇用・勤労者福祉施策		0.59	0.50	0.62	0.52	0.64
(6) 保育や子育てへの支援		0.60	0.70	0.60	0.62	0.50
(7) 健康診断や健康づくりへの支援		0.56	0.66	0.54	0.61	0.53
(8) 地域医療施設の充実や救急体制		0.70	0.75	0.69	0.72	0.64
(9) 地域福祉・高齢者福祉の施策		0.53	0.55	0.53	0.53	0.64
(10) 介護や介護予防に対する施策		0.52	0.58	0.52	0.51	0.64
(11) 障害者の自立を支援する施策		0.46	0.46	0.47	0.40	0.60
(12) 国保など社会保障の施策		0.46		0.48	0.41	0.57
(13) 土地利用や市街地・公園の整備		0.15		0.15	0.16	0.15
(14) 美しい景観形成		0.25	0.28	0.18	0.40	0.36
(15) 幹線道路や生活道路の整備		0.26	0.27	0.24	0.25	0.54
(16) バス等の利便性の向上		0.26	0.41	0.29	0.15	0.57
(17) 公営住宅や良好な宅地の確保		0.02		0.01	0.04	0.08
(18) インターネット等の地域の情報化		0.10	0.24	0.10	0.07	0.23
(19) 河川や急傾斜地など危険箇所整備		0.49	0.50	0.46	0.52	0.73
(20) 消防・防災体制の充実		0.51	0.57	0.49	0.54	0.60
(21) 犯罪のないまちへの取り組み		0.58	0.67	0.58	0.58	0.67
(22) 交通安全への取り組み		0.49	0.50	0.47	0.50	0.60
(23) 消費者対策の充実		0.29		0.30	0.21	0.50
(24) 川や山などの自然環境の保全		0.39	0.55	0.40	0.36	0.57
(25) 資源のリサイクル対策		0.51	0.61	0.50	0.49	0.73
(26) 自然エネルギーの活用		0.50		0.51	0.45	0.57
(27) ごみ収集や処理対策		0.54	0.71	0.53	0.54	0.71
(28) 簡易水道、上水道の整備		0.40	0.48	0.41	0.39	0.50
(29) 生活排水処理施設の整備		0.44	0.52	0.45	0.41	0.60
(30) 幼稚園・学校教育の充実		0.56	0.65	0.58	0.51	0.62
(31) 青少年の健全育成の推進		0.38		0.41	0.32	0.38
(32) 生涯学習の充実や施設の整備		0.17	0.28	0.19	0.14	0.00
(33) スポーツの振興や施設の整備		0.16	0.19	0.18	0.11	0.07
(34) 地域文化・歴史資源の保護や活用		0.27	0.28	0.30	0.20	0.29
(35) 協働のまちづくり・地域活動推進		0.14	0.36	0.18	0.08	0.00
(36) 国内交流・国際交流の推進		0.06	0.02	0.07	0.06	-0.21
(37) 市政の情報提供や情報公開		0.29	0.42	0.31	0.29	0.00
(38) 行政相談、窓口サービスの充実		0.33	0.37	0.38	0.25	0.29
(39) 男女共同参画推進・人権尊重		0.11	0.12	0.15	0.05	-0.07
(40) 行財政改革の推進		0.30	0.43	0.32	0.29	0.14
(41) 広域行政・広域連携の推進		0.17	0.25	0.17	0.16	0.14

図表8 市の各環境に対する現状評価（全体／重要度）

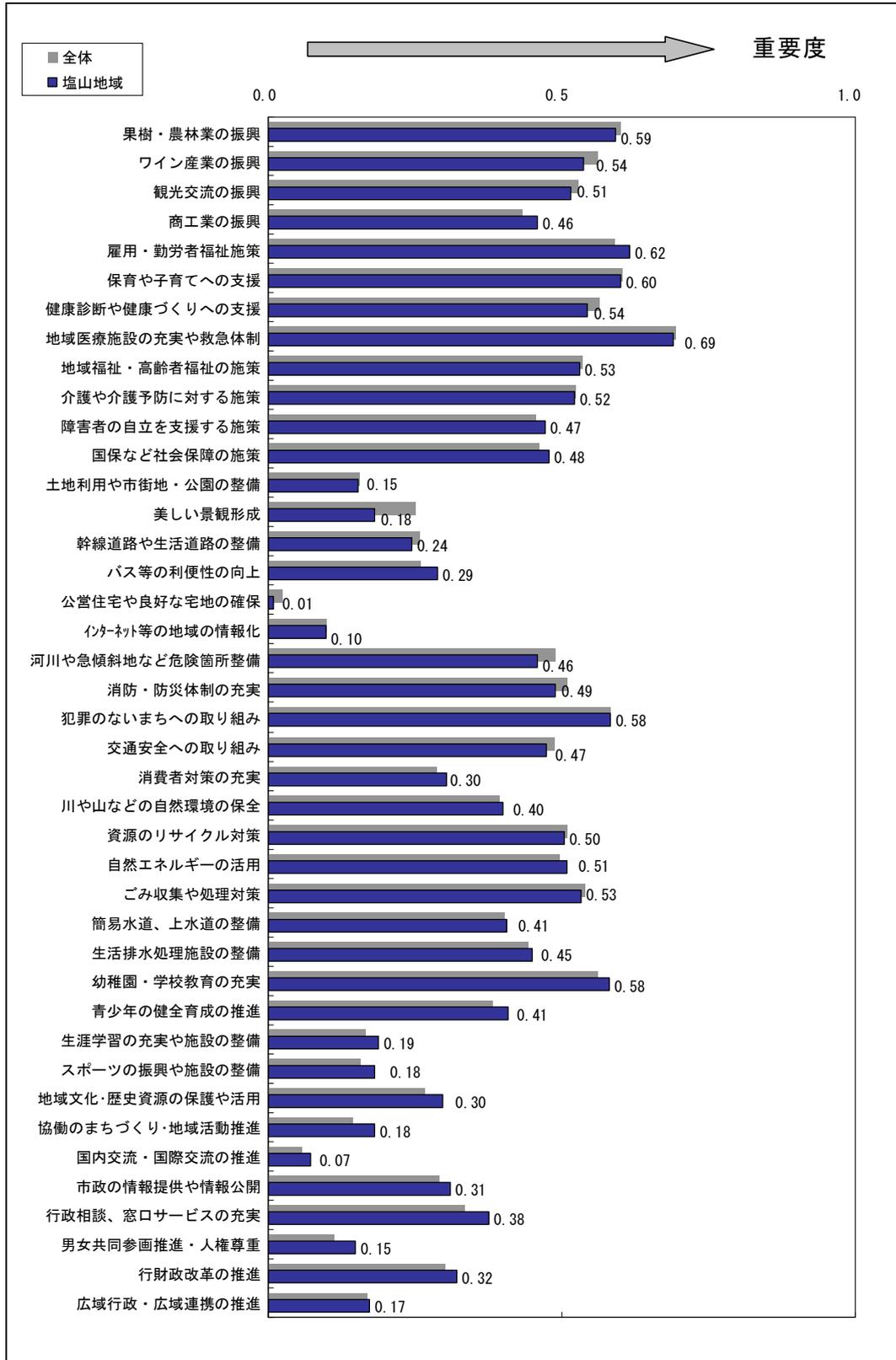
（単位：評価点）



図表9 市の各環境に対する現状評価（居住地域別／重要度）

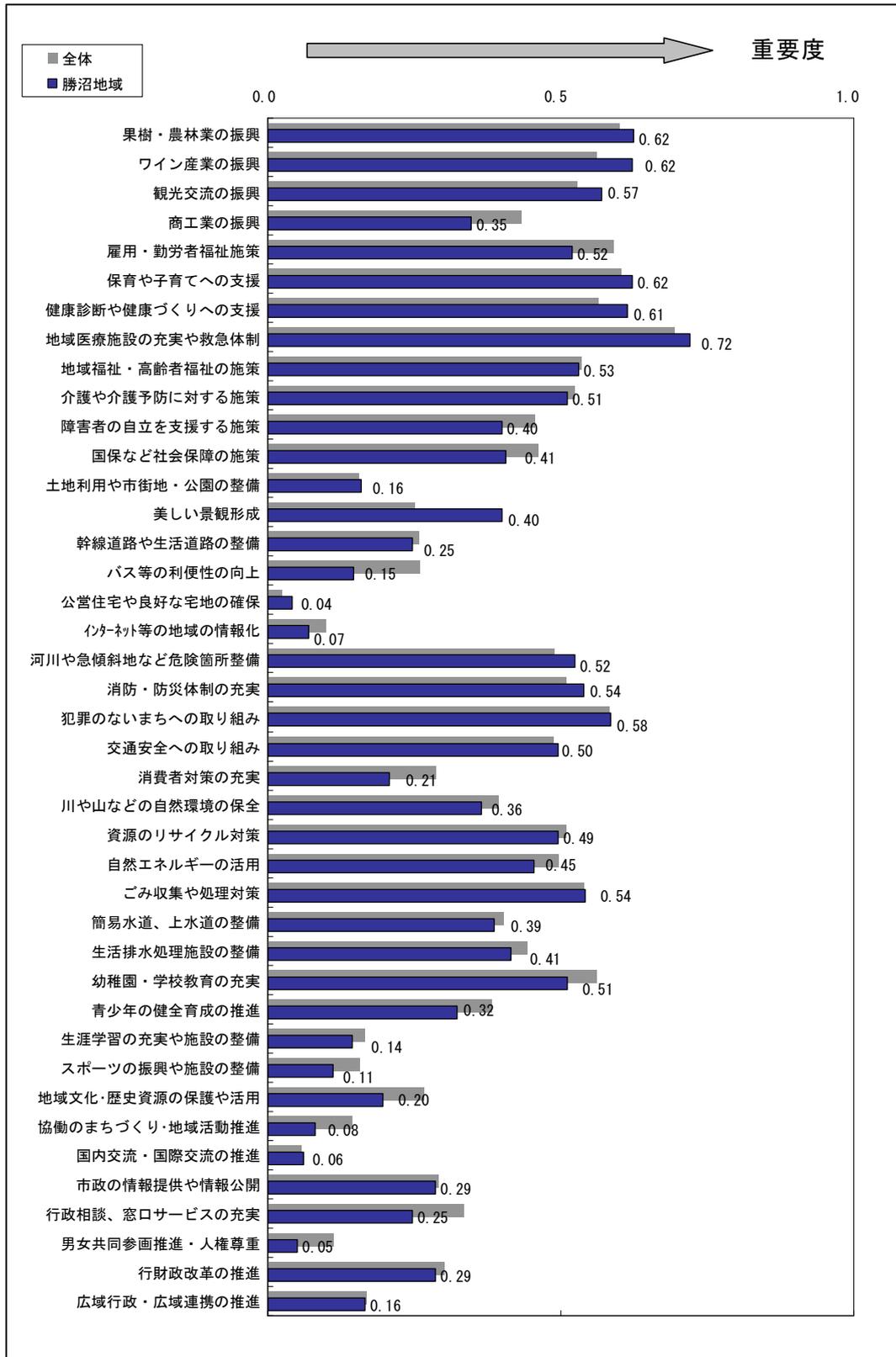
塩山地域

（単位：評価点）



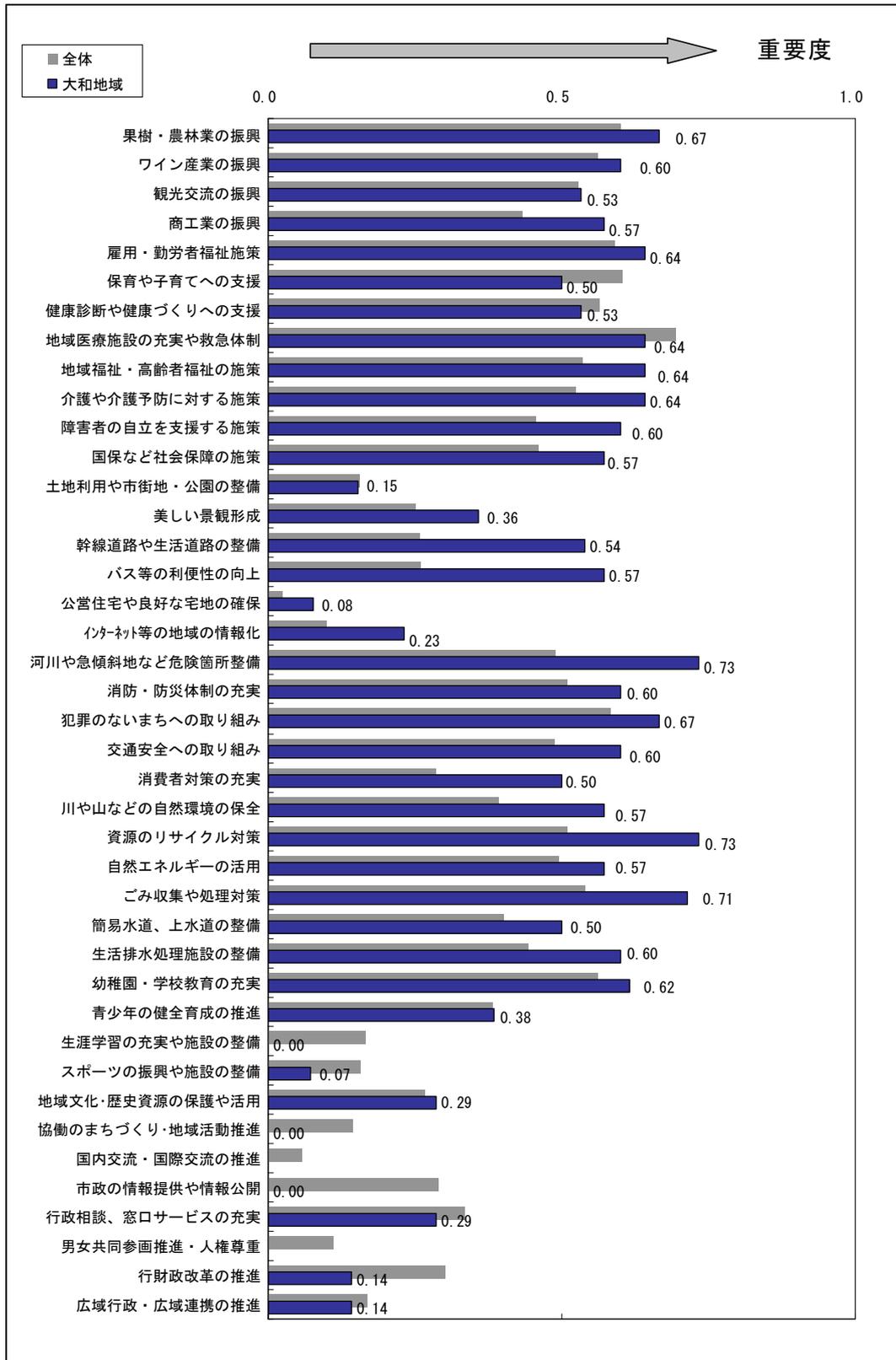
勝沼地域

(単位：評価点)



大和地域

(単位：評価点)



③納得度と重要度の相関

- 優先度が最も高い項目は「雇用・勤労者福祉施策」。次いで「地域医療施設の充実や救急体制」、「商工業の振興」の順。
- 前回調査では、優先度が最も高い項目は「企業支援や就業・雇用の場の整備」。次いで「保育や子育てへの支援」、「行財政改革の推進」の順。

これまでみてきた納得度と重要度から、さらに市の現状評価や行政ニーズを把握するため、納得度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成した。このグラフでは左上隅の「納得度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「納得度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。この散布図からの数量化[後述参照]による分析で優先度(評価点:最高点42.43点、中間点0点、最低点-42.43点)を算出した。

この結果をみると優先度は、「雇用・勤労者福祉施策」(20.76点)が最も高く、次いで「地域医療施設の充実や救急体制」(11.79点)、「商工業の振興」(11.57点)が続き、以下、「自然エネルギーの活用」(9.54点)、「河川や急傾斜地など危険箇所整備」(7.38点)、「保育や子育てへの支援」(6.08点)、「国保など社会保障の施策」(5.99点)などの順となっており、評価点が高い項目ほど優先的、重点的な対応が求められる項目であると考えられる。[図表10～14参照]

居住地域別に優先度の上位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられる。

塩山地域

優先度の上位項目は第1位が「雇用・勤労者福祉施策」(21.10点)、第2位が「商工業の振興」(12.80点)、第3位が「地域医療施設の充実や救急体制」(12.08点)と続き、以下、「自然エネルギーの活用」(10.37点)、「国保など社会保障の施策」(7.27点)などの順となっている。

勝沼地域

優先度の上位項目は第1位が「雇用・勤労者福祉施策」(20.03点)、第2位が「河川や急傾斜地など危険箇所整備」(11.21点)、第3位が「地域医療施設の充実や救急体制」(10.80点)と続き、以下、「自然エネルギーの活用」(8.40点)、「商工業の振興」(8.12点)などの順となっている。

大和地域

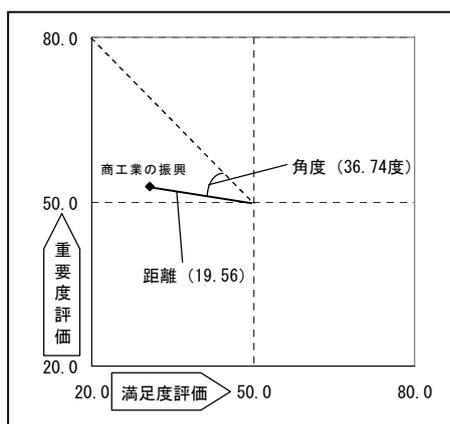
優先度の上位項目は第1位が「雇用・勤労者福祉施策」(14.43点)、第2位が「幹線道路や生活道路の整備」(10.06点)、第3位が「商工業の振興」(8.76点)と続き、以下、「消費者対策の充実」(7.83点)、「河川や急傾斜地など危険箇所整備」(7.59

点)などの順となっている。

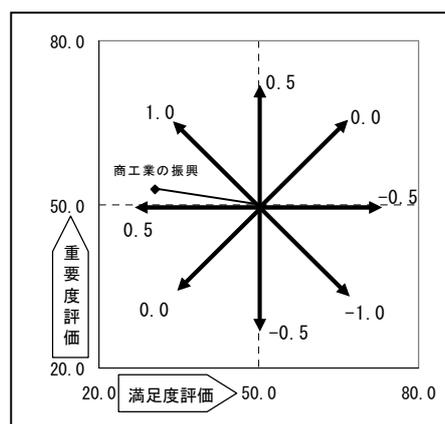
※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため納得度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「商工業の振興」→納得度偏差値 30.64、重要度偏差値 52.81
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「商工業の振興」→ $19.56\dots = \sqrt{(-19.35)^2 + (2.81)^2}$
- ③ 平均（中心）から「納得度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「商工業の振興」→36.74度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「納得度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
例：「商工業の振興」→ $0.5917\dots = (90-36.74) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「商工業の振興」→ $11.57 = 19.56\dots \times 0.5917\dots$

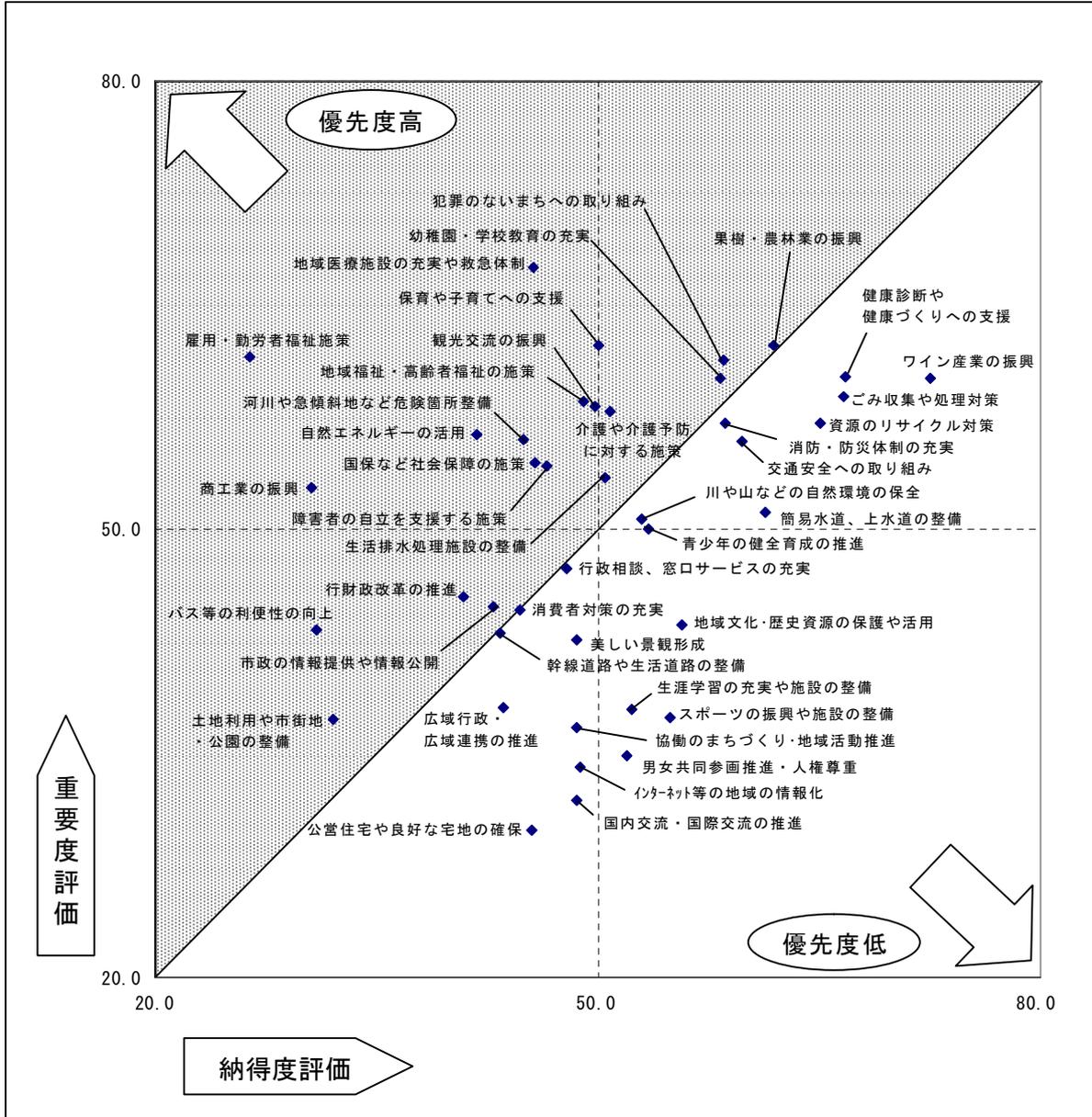
距離・角度



指数の設定



図表 10 市の各環境に対する現状評価（納得度と重要度の相関、全体）

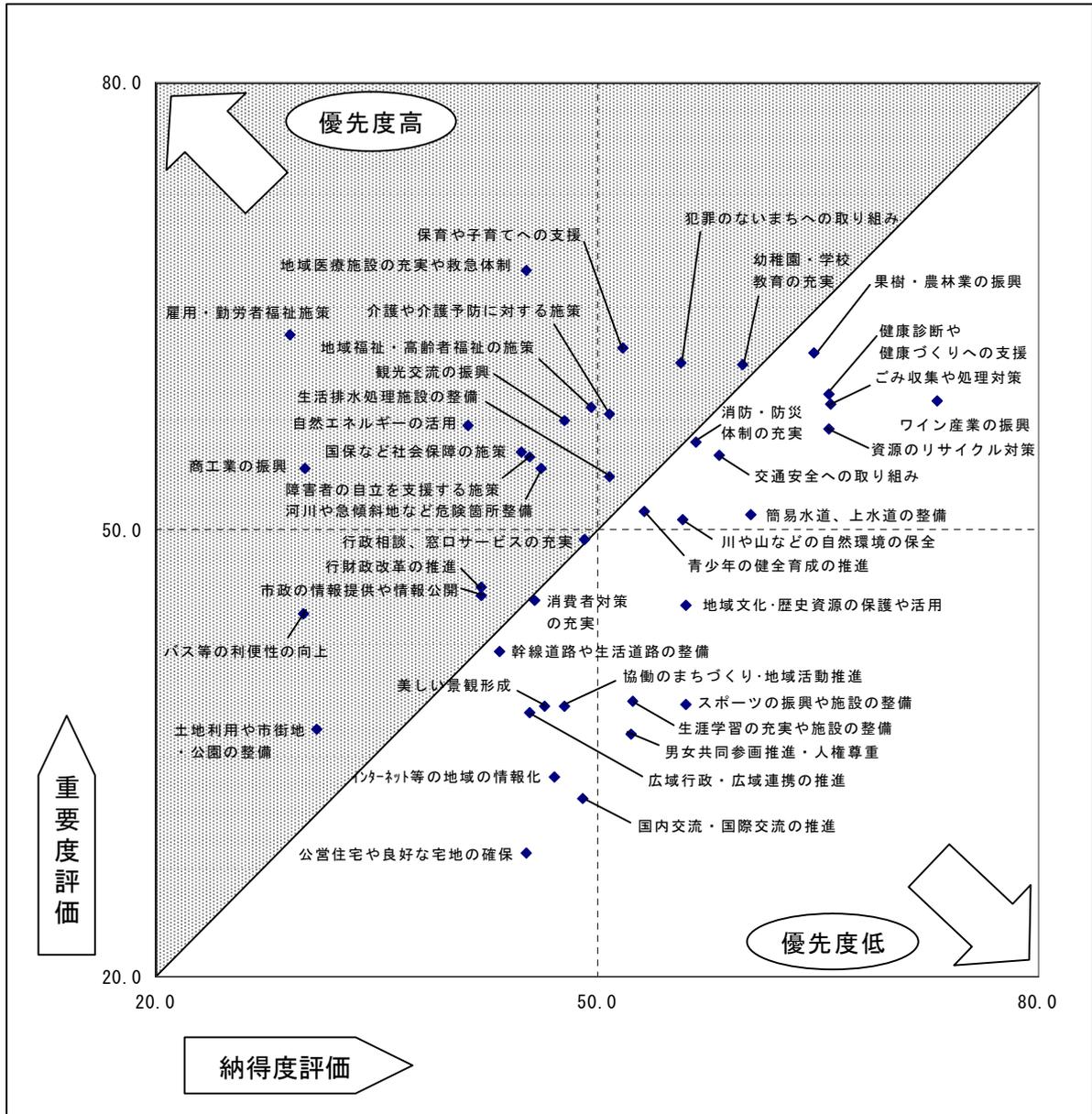


※納得度、重要度の評価点のばらつきを標準化するため偏差値化を行い、グラフを作成した。ここでは最小値を20.0、最大値を80.0に設定している。

※このグラフでは左上隅の「納得度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「納得度評価最高、重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。

図表 11 市の各環境に対する現状評価（納得度と重要度の相関、居住地域別）

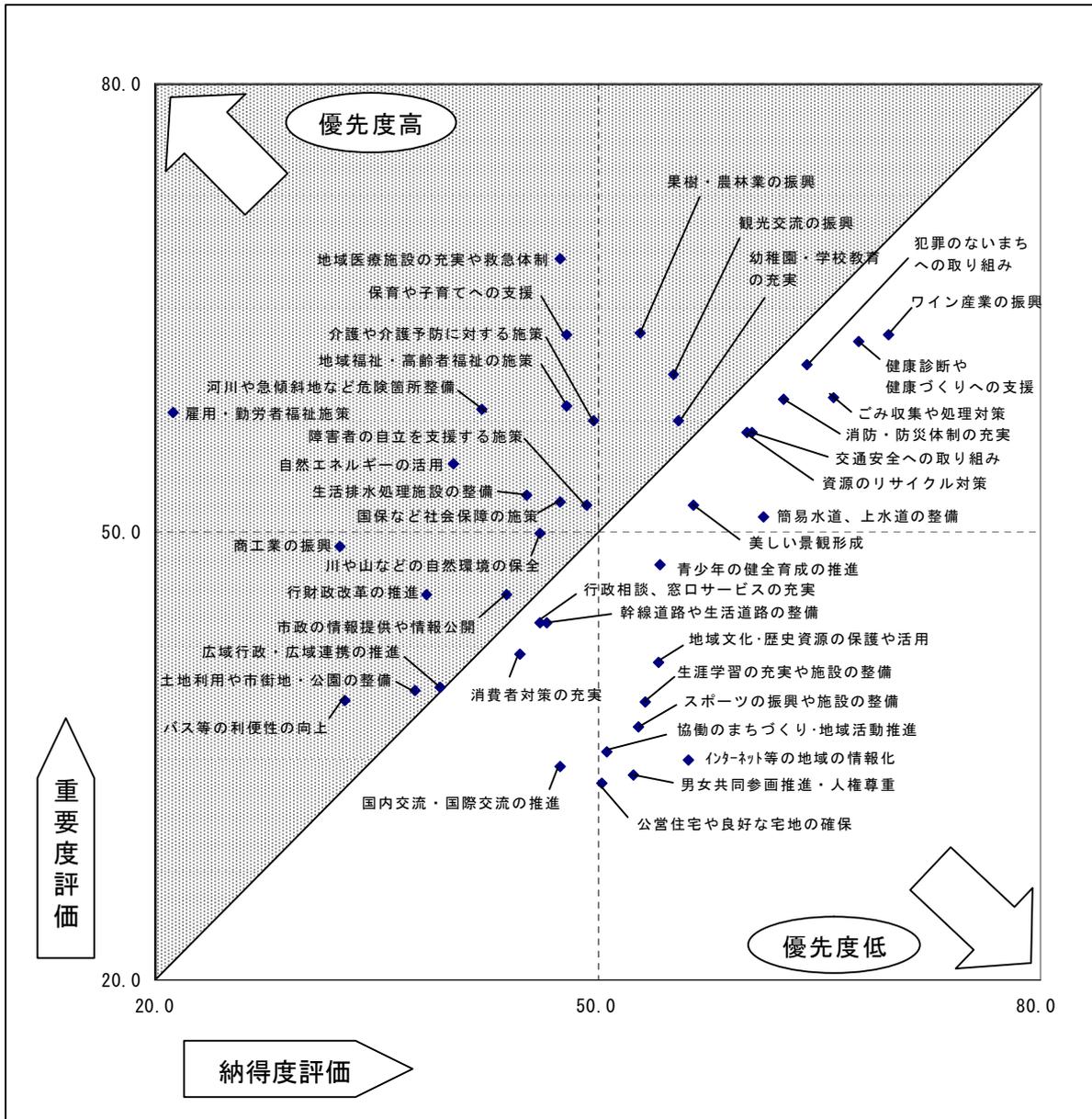
塩山地域



※納得度、重要度の評価点のばらつきを標準化するため偏差値化を行い、グラフを作成した。ここでは最小値を 20.0、最大値を 80.0 に設定している。

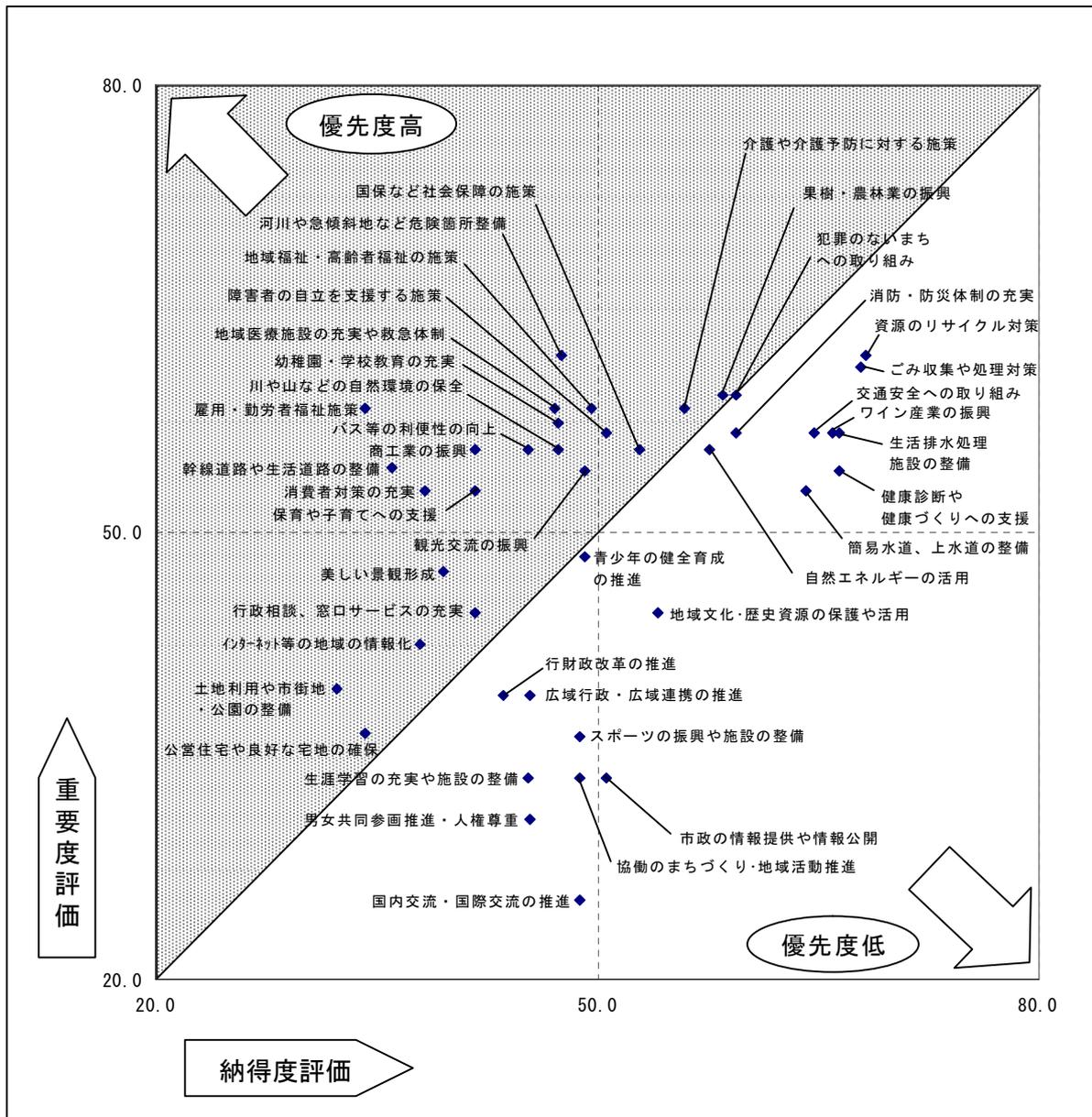
※このグラフでは左上隅の「納得度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「納得度評価最高、重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。

勝沼地域



※納得度、重要度の評価点のばらつきを標準化するため偏差値化を行い、グラフを作成した。ここでは最小値を20.0、最大値を80.0に設定している。
 ※このグラフでは左上隅の「納得度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「納得度評価最高、重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。

大和地域



※納得度、重要度の評価点のばらつきを標準化するため偏差値化を行い、グラフを作成した。ここでは最小値を 20.0、最大値を 80.0 に設定している。

※このグラフでは左上隅の「納得度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「納得度評価最高、重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。

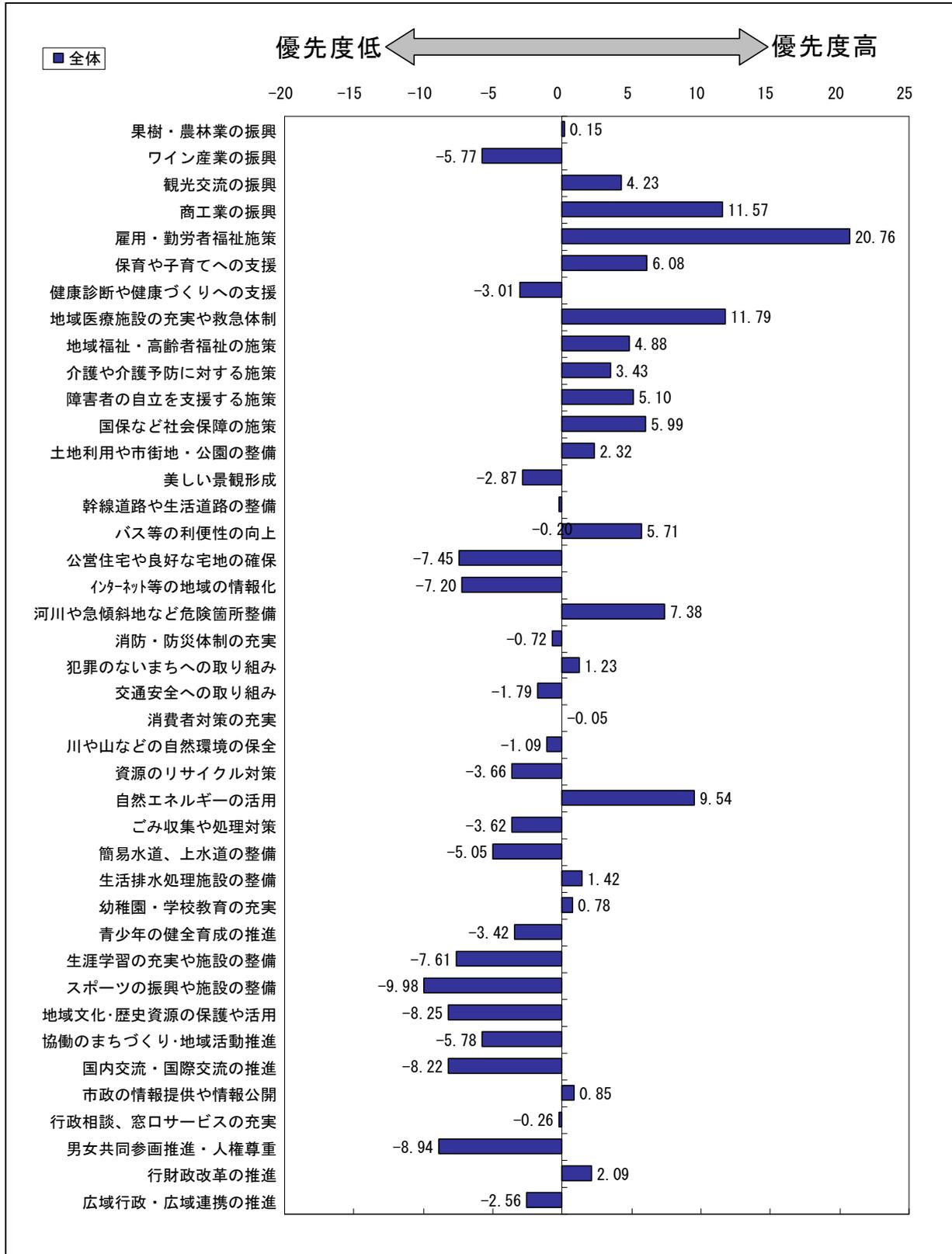
図表 12 市の各環境に対する現状評価（全体、居住地域別／優先度）

（単位：評価点）

項目	優先度	全体	全体 前回調査	地区別		
				塩山地域	勝沼地域	大和地域
(1) 果樹・農林業の振興		0.15	0.51	-1.33	4.95	0.31
(2) ワイン産業の振興		-5.77		-6.71	-2.97	-4.32
(3) 観光交流の振興		4.23	0.79	5.27	2.47	2.61
(4) 商工業の振興		11.57	5.36	12.80	8.12	8.76
(5) 雇用・勤労者福祉施策		20.76	13.46	21.10	20.03	14.43
(6) 保育や子育てへの支援		6.08	8.97	5.03	7.98	6.20
(7) 健康診断や健康づくりへの支援		-3.01	-6.60	-3.06	-2.23	-5.85
(8) 地域医療施設の充実や救急体制		11.79	5.52	12.08	10.80	6.29
(9) 地域福祉・高齢者福祉の施策		4.88	0.45	4.35	5.66	4.45
(10) 介護や介護予防に対する施策		3.43	2.45	3.34	3.91	1.10
(11) 障害者の自立を支援する施策		5.10	2.44	6.58	1.39	2.95
(12) 国保など社会保障の施策		5.99		7.27	3.03	1.21
(13) 土地利用や市街地・公園の整備		2.32		2.54	0.80	3.24
(14) 美しい景観形成		-2.87	-1.02	-3.88	-2.23	3.64
(15) 幹線道路や生活道路の整備		-0.20	-3.94	-0.74	-1.23	10.06
(16) バス等の利便性の向上		5.71	6.52	6.74	2.62	6.86
(17) 公営住宅や良好な宅地の確保		-7.45		-8.07	-8.58	1.03
(18) インターネット等の地域の情報化		-7.20	-7.17	-6.59	-12.19	2.03
(19) 河川や急傾斜地など危険箇所整備		7.38	5.49	5.38	11.21	7.59
(20) 消防・防災体制の充実		-0.72	-4.81	-0.36	-1.66	-1.25
(21) 犯罪のないまちへの取り組み		1.23	3.33	2.52	-1.33	-0.08
(22) 交通安全への取り組み		-1.79	-3.19	-1.50	-1.75	-3.70
(23) 消費者対策の充実		-0.05		-0.25	-1.31	7.83
(24) 川や山などの自然環境の保全		-1.09	4.67	-2.51	1.85	4.86
(25) 資源のリサイクル対策		-3.66	-0.88	-4.15	-1.57	-2.91
(26) 自然エネルギーの活用		9.54		10.37	8.40	-0.95
(27) ごみ収集や処理対策		-3.62	5.40	-3.44	-3.17	-3.10
(28) 簡易水道、上水道の整備		-5.05	-3.50	-4.62	-5.02	-5.41
(29) 生活排水処理施設の整備		1.42	2.94	1.28	4.31	-4.53
(30) 幼稚園・学校教育の充実		0.78	1.54	0.54	0.88	5.62
(31) 青少年の健全育成の推進		-3.42		-0.94	-3.36	-0.38
(32) 生涯学習の充実や施設の整備		-7.61	-7.35	-7.41	-8.04	-5.55
(33) スポーツの振興や施設の整備		-9.98	-11.76	-10.56	-8.49	-6.15
(34) 地域文化・歴史資源の保護や活用		-8.25	-7.98	-4.37	-7.57	-6.25
(35) 協働のまちづくり・地域活動推進		-5.78	1.32	-4.60	-7.71	-7.53
(36) 国内交流・国際交流の推進		-8.22	-11.97	-8.42	-6.35	-11.65
(37) 市政の情報提供や情報公開		0.85	1.84	1.56	0.89	-8.64
(38) 行政相談、窓口サービスの充実		-0.26	0.92	0.09	-1.02	1.29
(39) 男女共同参画推進・人権尊重		-8.94	-8.10	-8.44	-9.76	-6.95
(40) 行財政改革の推進		2.09	6.58	1.86	3.46	-2.06
(41) 広域行政・広域連携の推進		-2.56	-1.52	-3.59	0.14	-2.96

図表 13 市の各環境に対する現状評価（全体／優先度）

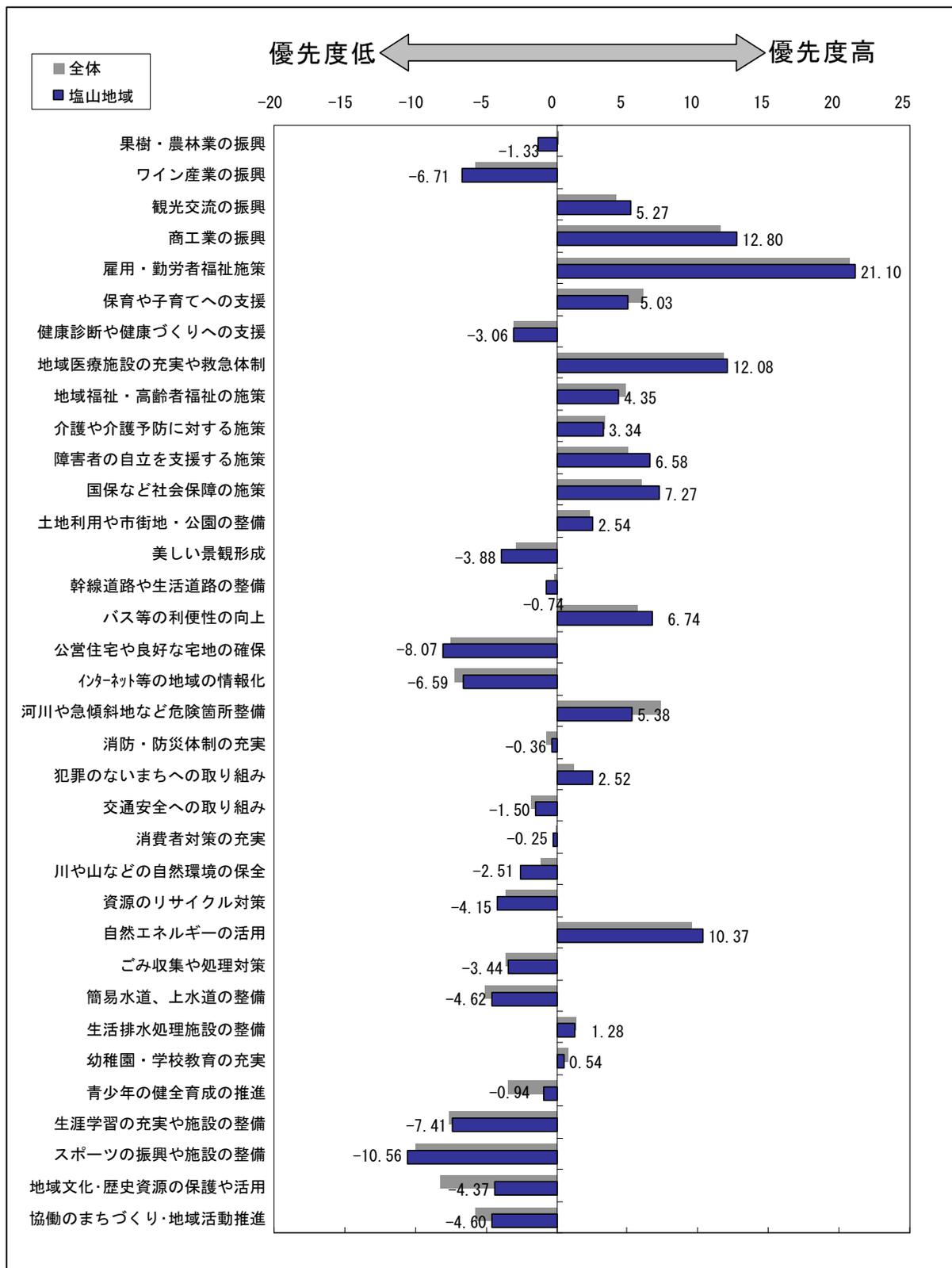
（単位：評価点）



図表 14 市の各環境に対する現状評価（居住地域別／優先度）

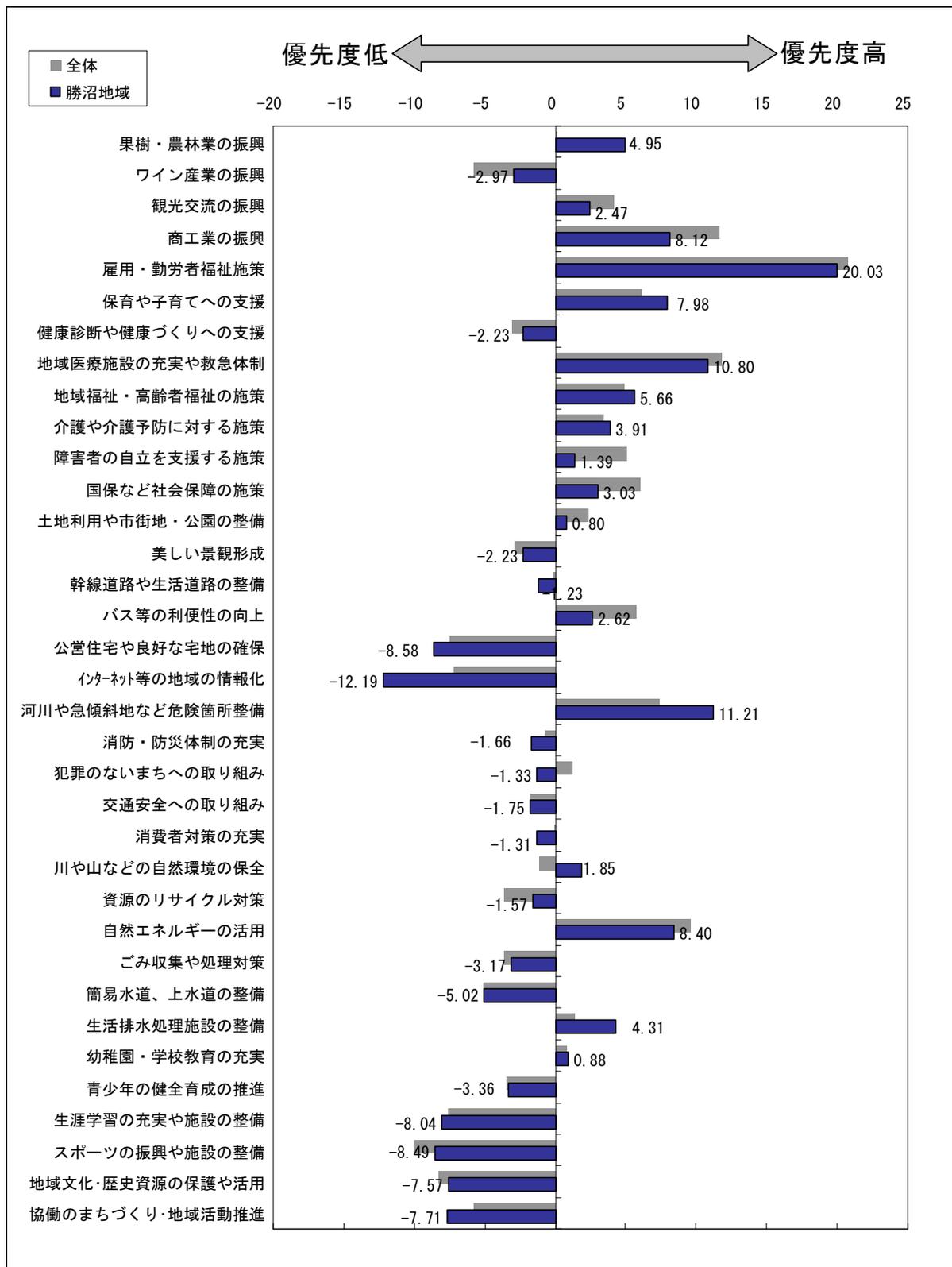
塩山地域

（単位：評価点）



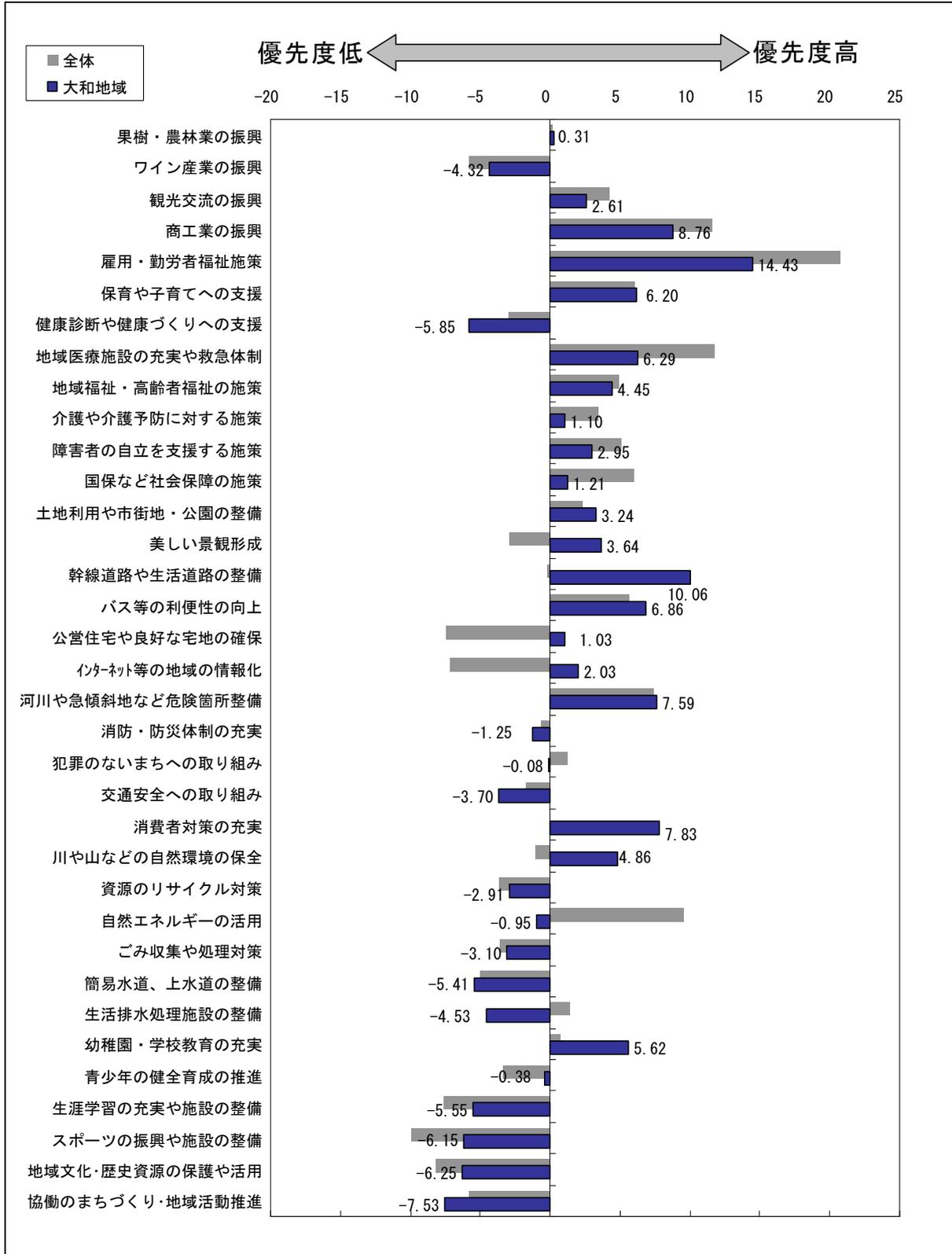
勝沼地域

(単位：評価点)



大和地域

(単位：評価点)



(4) まちづくりで重視する項目

- ③ 前記(1)～(35)の項目のうち、あなたが、特に他の分野より優先した方がよい(重要度が高い)と思う項目を、重要だと思われるものから順番に3つまで選んで番号を記入してください。



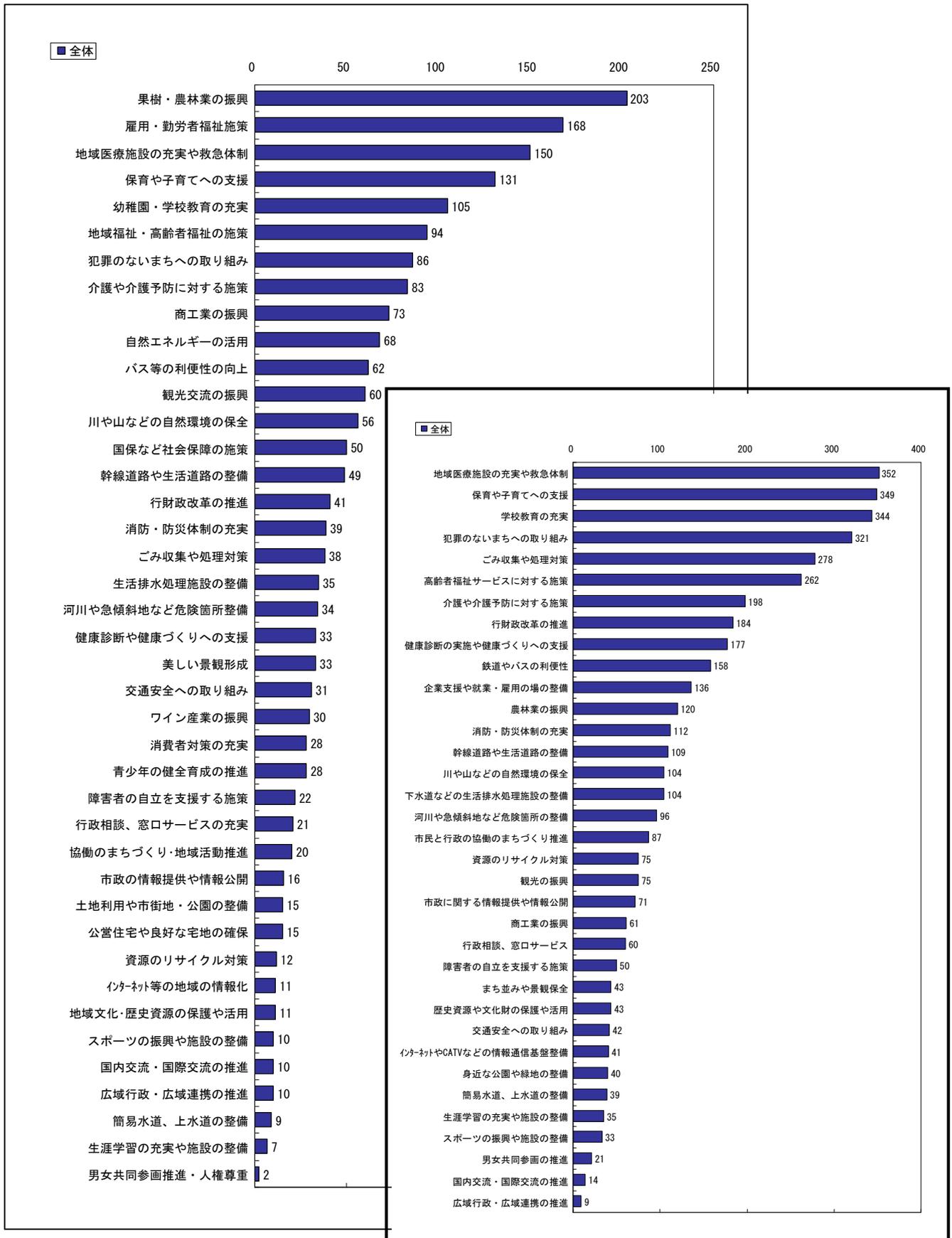
- 「果樹・農林業の振興」が第1位。次いで「雇用・勤労者福祉施策」、「地域医療施設の充実や救急体制」、「保育や子育てへの支援」、「幼稚園・学校教育の充実」の順。
- 前回調査では、「地域医療施設の充実や救急体制」が第1位。次いで「保育や子育てへの支援」、「学校教育の充実」、「犯罪のないまちへの取り組み」、「ごみ収集や処理対策」の順。

重点施策について把握するため、福祉・保健・医療、環境、産業、基盤、教育・文化、安全・防災、行政など各分野にわたる35項目を設定し、その中から第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ選んでもらった。

この結果をポイント(第1位に3点、第2位に2点、第3位に1点を与え、それぞれの回答者数に乗じたもの)でみていくと、最もポイントの高い項目は「果樹・農林業の振興」(203ポイント)、次いで第2位が「雇用・勤労者福祉施策」(168ポイント)、第3位が「地域医療施設の充実や救急体制」(150ポイント)と続き、以下、「保育や子育てへの支援」(131ポイント)、「幼稚園・学校教育の充実」(105ポイント)、「地域福祉・高齢者福祉の施策」(94ポイント)、「犯罪のないまちへの取り組み」(86ポイント)、「介護や介護予防に対する施策」(83ポイント)、「商工業の振興」(73ポイント)、「自然エネルギーの活用」(68ポイント)などの順となっている。[図表15参照]

図表 15 まちづくりで最も重視する項目（全体）

（単位：ポイント）



2 保健・医療・福祉について

(1) 健康づくり施策について

問5 あなたは、健康づくり施策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

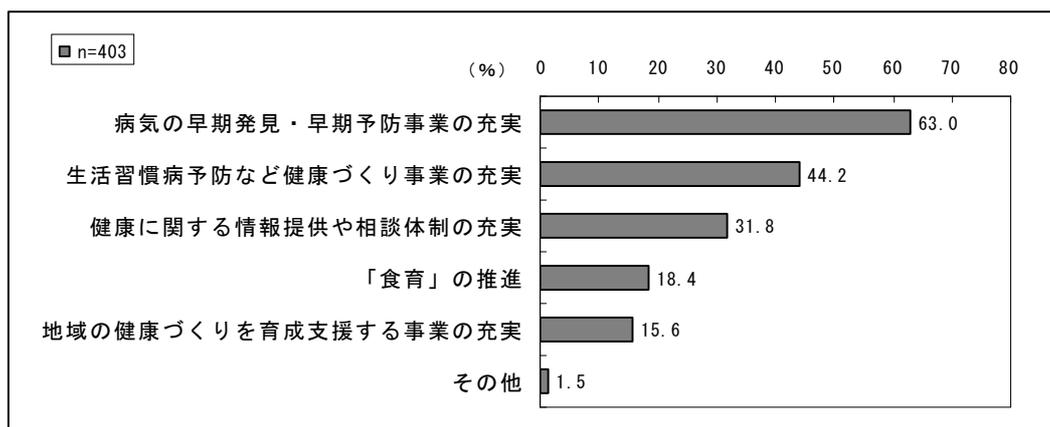
- 「病気の早期発見・早期予防事業の充実」が他を大きく引き離して第1位。次いで「生活習慣病予防など健康づくり事業の充実」が続く。
- 前回調査では、「総合検診など早期発見・予防事業の充実」が他を大きく引き離して第1位。次いで「生活習慣病予防など健康づくり事業の充実」が続く。

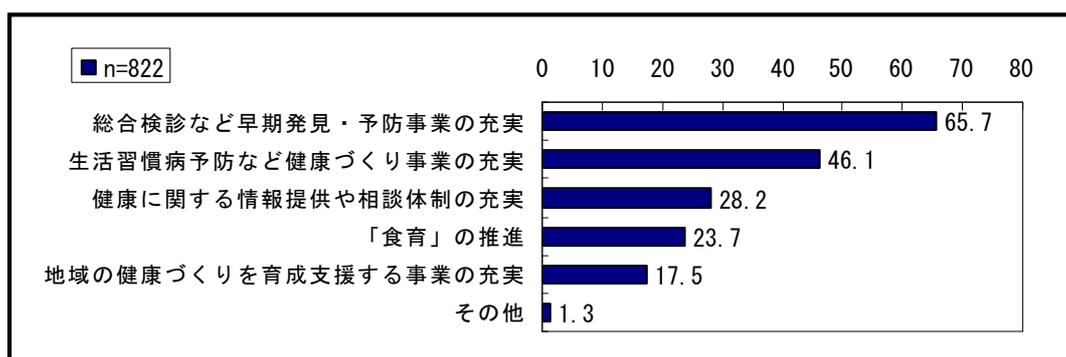
健康づくり施策で重視すべきことをたずねたところ、「病気の早期発見・早期予防事業の充実」(63.0%)、「生活習慣病予防など健康づくり事業の充実」(44.2%)、「健康に関する情報提供や相談体制の充実」(31.8%)、「食育」の推進(18.4%)、「地域の健康づくりを育成支援する事業の充実」(15.6%)の順となっている。

[図表 16 参照]

属性別にみても、すべての層で「病気の早期発見・早期予防事業の充実」が第1位となっている。[図表 17 参照]

図表 16 健康づくり施策について（全体／複数回答）





図表 17 健康づくり施策について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位 3 位）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		病気の早期発見・早期 予防事業の充実 63.0	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 44.2	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 31.8
性別	女性	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 64.0	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 40.3	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 30.8
	男性	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 61.9	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 48.1	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 32.8
年齢別	10・20歳代	生活習慣病予防など健康づくり事業の充実/ 病気の早期発見・早期予防事業の充実 56.9	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 47.1	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 47.1
	30歳代	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 64.6	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 35.4	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 27.1
	40歳代	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 72.9	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 37.1	「食育」の推進 27.1
	50歳代	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 57.7	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 44.9	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 38.5
	60歳代	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 58.0	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 40.7	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 30.9
	70歳以上	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 68.5	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 50.7	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 26.0
居住地域別	塩山地域	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 61.2	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 44.9	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 34.8
	勝沼地域	病気の早期発見・早期 予防事業の充実 68.5	生活習慣病予防など健 康づくり事業の充実 41.7	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 25.9
	大和地域	生活習慣病予防など健康づくり事業の充実/ 病気の早期発見・早期予防事業の充実 52.9	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 23.5	健康に関する情報提供 や相談体制の充実 23.5

(2) 保健・医療対策について

問6 あなたは、保健・医療対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

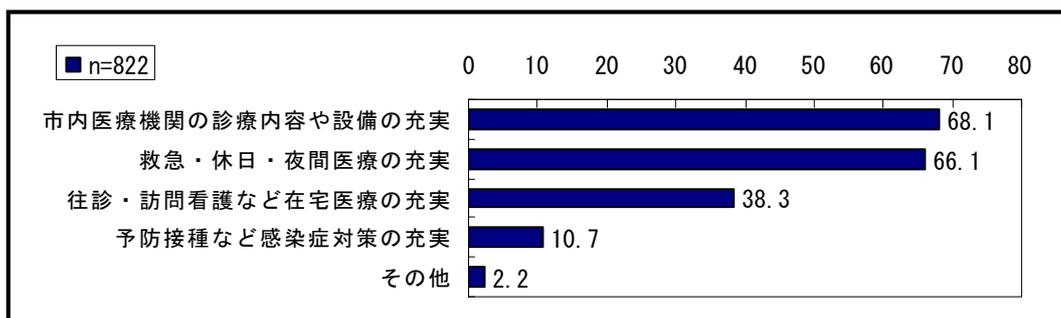
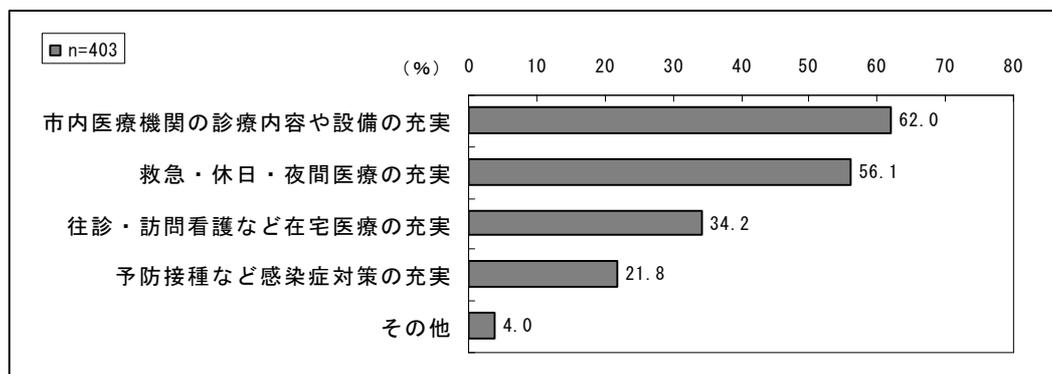
- 「市内医療機関の診療内容や設備の充実」及び「救急・休日・夜間医療の充実」が2大要望。
- 前回調査でも、「市内医療機関の診療内容や設備の充実」及び「救急・休日・夜間医療の充実」が2大要望。

保健・医療対策について望むことをたずねたところ、「市内医療機関の診療内容や設備の充実」(62.0%)、「救急・休日・夜間医療の充実」(56.1%)、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(34.2%)、「予防接種など感染症対策の充実」(21.8%)の順となっている。

[図表 18 参照]

これを性別、年齢別、居住地域別でみると、すべての層で「市内医療機関の診療内容や設備の充実」及び「救急・休日・夜間医療の充実」の2大要望が上位を占める。また、年齢別の70歳以上では「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(53.4%)と回答する率が高い傾向がみられた。[図表 19 参照]

図表 18 保健・医療対策について（全体／複数回答）



図表 19 健・医療対策について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		市内医療機関の診療内容や設備の充実 62.0	救急・休日・夜間医療の充実 56.1	往診・訪問看護など在宅医療の充実 34.2
性別	女性	市内医療機関の診療内容や設備の充実 60.7	救急・休日・夜間医療の充実 55.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実 32.2
	男性	市内医療機関の診療内容や設備の充実 63.5	救急・休日・夜間医療の充実 57.7	往診・訪問看護など在宅医療の充実 36.0
年齢別	10・20歳代	救急・休日・夜間医療の充実 62.7	市内医療機関の診療内容や設備の充実 60.8	予防接種など感染症対策の充実 33.3
	30歳代	市内医療機関の診療内容や設備の充実/救急・休日・夜間医療の充実 62.5		予防接種など感染症対策の充実 25.0
	40歳代	市内医療機関の診療内容や設備の充実 68.6	救急・休日・夜間医療の充実 55.7	往診・訪問看護など在宅医療の充実/予防接種など感染症対策の充実 20.0
	50歳代	市内医療機関の診療内容や設備の充実 59.0	救急・休日・夜間医療の充実 55.1	往診・訪問看護など在宅医療の充実 42.3
	60歳代	市内医療機関の診療内容や設備の充実 66.7	救急・休日・夜間医療の充実 53.1	往診・訪問看護など在宅医療の充実 38.3
	70歳以上	市内医療機関の診療内容や設備の充実 54.8	往診・訪問看護など在宅医療の充実 53.4	救急・休日・夜間医療の充実 50.7
居住地域別	塩山地域	市内医療機関の診療内容や設備の充実 62.3	救急・休日・夜間医療の充実 56.5	往診・訪問看護など在宅医療の充実 33.0
	勝沼地域	市内医療機関の診療内容や設備の充実 62.0	救急・休日・夜間医療の充実 53.7	往診・訪問看護など在宅医療の充実 38.0
	大和地域	救急・休日・夜間医療の充実 58.8	市内医療機関の診療内容や設備の充実 52.9	往診・訪問看護など在宅医療の充実 35.3

(3) 高齢者が安心して暮らせる社会について

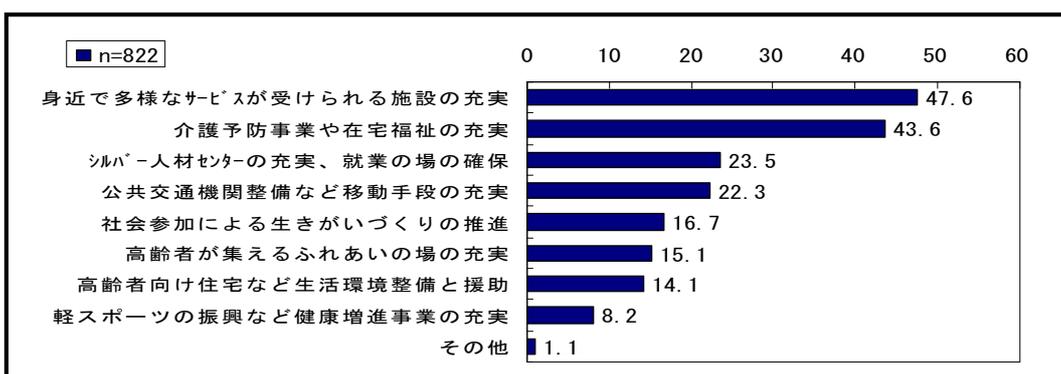
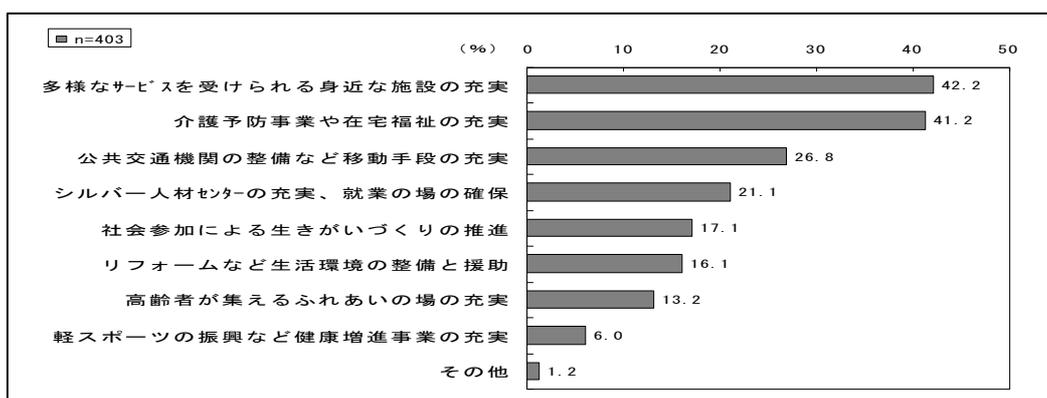
問7 あなたは、高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

- 「身近で多様なサービスが受けられる施設の充実」及び「介護予防事業や在宅福祉の充実」が2大要望。
- 前回調査でも、「身近で多様なサービスが受けられる施設の充実」及び「介護予防事業や在宅福祉の充実」が2大要望。

高齢社会に対応するために重視すべきことは、「多様なサービスを受けられる身近な施設の充実」(42.2%)、「介護予防事業や在宅福祉の充実」(41.2%)、「公共交通機関の整備など移動手段の充実」(26.8%)、「シルバー人材センターの充実、就業の場の確保」(21.1%)、「社会参加による生きがいのづくりの推進」(17.1%)、「リフォームなど生活環境の整備と援助」(16.1%)、「高齢者が集えるふれあいの場の充実」(13.2%)、「軽スポーツの振興など健康増進事業の充実」(6.0%)の順となっている。[図表 20 参照]

性別、年齢別でも、すべての層で「多様なサービスを受けられる身近な施設の充実」及び「介護予防事業や在宅福祉の充実」の2大要望が上位を占める結果となっている。[図表 21 参照]

図表 20 高齢者が安心して暮らせる社会について（全体／複数回答）



図表 21 高齢者が安心して暮らせる社会について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）
（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 42.2	介護予防事業や在宅福祉の充実 41.2	公共交通機関の整備など移動手段の充実 26.8
性別	女性	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 44.5	介護予防事業や在宅福祉の充実 38.9	公共交通機関の整備など移動手段の充実 26.1
	男性	介護予防事業や在宅福祉の充実 43.9	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 39.2	公共交通機関の整備など移動手段の充実 28.0
年齢別	10・20歳代	介護予防事業や在宅福祉の充実 39.2	公共交通機関の整備など移動手段の充実 33.3	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 29.4
	30歳代	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 39.6	介護予防事業や在宅福祉の充実 35.4	公共交通機関の整備など移動手段の充実 31.3
	40歳代	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 41.4	介護予防事業や在宅福祉の充実 40.0	公共交通機関の整備など移動手段の充実 32.9
	50歳代	介護予防事業や在宅福祉の充実 50.0	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 38.5	シルバー人材センターの充実、就業の場の確保 32.1
	60歳代	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 50.6	介護予防事業や在宅福祉の充実 35.8	公共交通機関の整備など移動手段の充実 24.7
	70歳以上	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 46.6	介護予防事業や在宅福祉の充実 45.2	公共交通機関の整備など移動手段の充実 26.0
居住地域別	塩山地域	介護予防事業や在宅福祉の充実 40.2	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 39.5	公共交通機関の整備など移動手段の充実 28.3
	勝沼地域	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 49.1	介護予防事業や在宅福祉の充実 39.8	公共交通機関の整備など移動手段の充実 24.1
	大和地域	介護予防事業や在宅福祉の充実 64.7	多様なサービスを受けられる身近な施設の充実 41.2	シルバー人材センターの充実、就業の場の確保 23.5

(4) 障害者が生き生きと暮らせる社会について

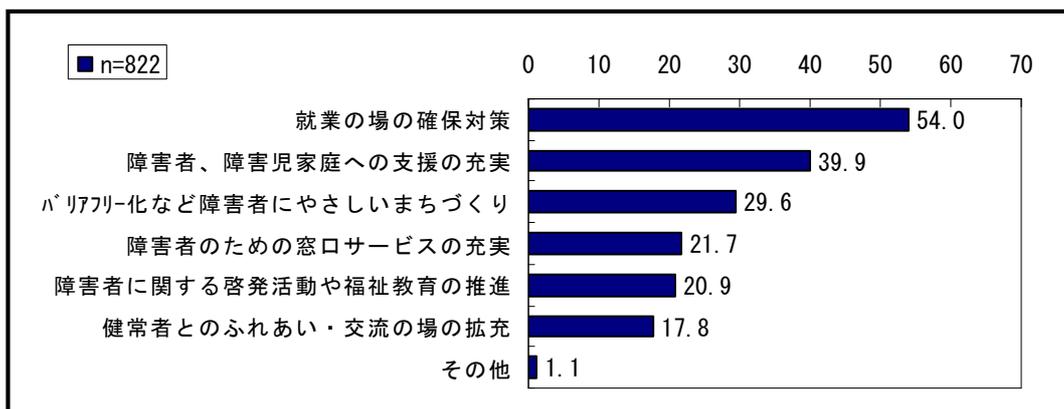
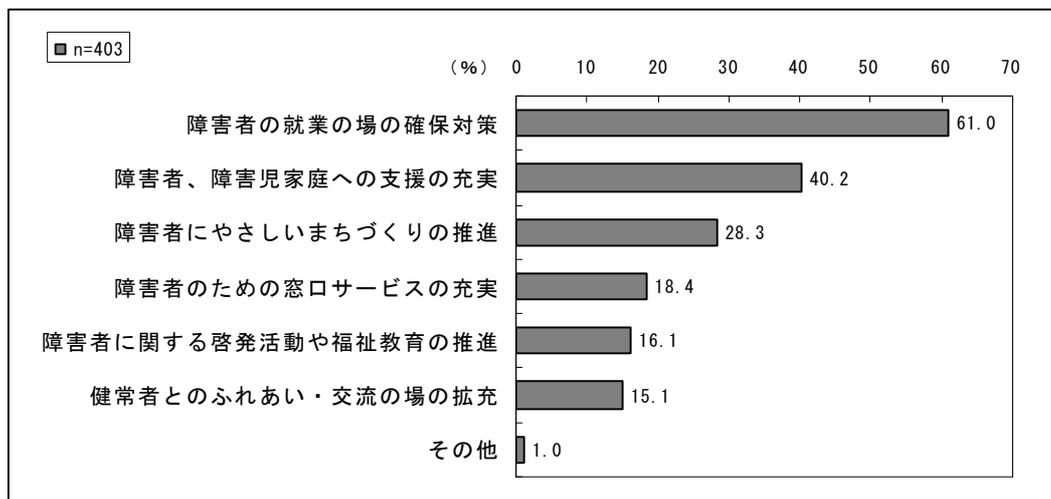
問8 あなたは、障害者が生き生きと暮らせるようにするため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

- 「就業の場の確保対策」が第1位。次いで「障害者、障害児家庭への支援の充実」、「バリアフリー化など障害者にやさしいまちづくり」の順。
- 前回調査では、「就業の場の確保対策」が第1位。次いで「障害者、障害児家庭への支援の充実」、「バリアフリー化など障害者にやさしいまちづくり」の順。

障害者福祉についてたずねたところ、「障害者の就業の場の確保対策」(61.0%)、「障害者、障害児家庭への支援の充実」(40.2%)、「障害者にやさしいまちづくりの推進」(28.3%)、「障害者のための窓口サービスの充実」(18.4%)、「障害者に関する啓発活動や福祉教育の推進」(16.1%)、「健常者とのふれあい・交流の場の拡充」(15.1%)の順となっている。[図表 22 参照]

これを性別、年齢別、居住地域別でも、全体と同様に「障害者の就業の場の確保対策」が第1位に挙げられている。[図表 23 参照]

図表 22 障害者が生き生きと暮らせる社会について (全体／複数回答)



図表 23 障害者が生き生きと暮らせる社会について
(全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		障害者の就業の場の確保対策 61.0	障害者、障害児家庭への支援の充実 40.2	障害者にやさしいまちづくりの推進 28.3
性別	女性	障害者の就業の場の確保対策 61.1	障害者、障害児家庭への支援の充実 39.8	障害者にやさしいまちづくりの推進 29.9
	男性	障害者の就業の場の確保対策 61.4	障害者、障害児家庭への支援の充実 40.2	障害者にやさしいまちづくりの推進 26.5
年齢別	10・20歳代	障害者の就業の場の確保対策 60.8	障害者にやさしいまちづくりの推進 41.2	障害者、障害児家庭への支援の充実 25.5
	30歳代	障害者の就業の場の確保対策 62.5	障害者、障害児家庭への支援の充実 43.8	障害者にやさしいまちづくりの推進 20.8
	40歳代	障害者の就業の場の確保対策 68.6	障害者、障害児家庭への支援の充実 34.3	障害者にやさしいまちづくりの推進 27.1
	50歳代	障害者の就業の場の確保対策 60.3	障害者、障害児家庭への支援の充実 47.4	障害者にやさしいまちづくりの推進 29.5
	60歳代	障害者の就業の場の確保対策 59.3	障害者、障害児家庭への支援の充実 43.2	障害者にやさしいまちづくりの推進 27.2
	70歳以上	障害者の就業の場の確保対策 57.5	障害者、障害児家庭への支援の充実 41.1	障害者にやさしいまちづくりの推進 26.0
居住地域別	塩山地域	障害者の就業の場の確保対策 60.9	障害者、障害児家庭への支援の充実 38.0	障害者にやさしいまちづくりの推進 26.8
	勝沼地域	障害者の就業の場の確保対策 62.0	障害者、障害児家庭への支援の充実 43.5	障害者にやさしいまちづくりの推進 32.4
	大和地域	障害者の就業の場の確保対策 58.8	障害者、障害児家庭への支援の充実 52.9	障害者にやさしいまちづくりの推進 23.5

(5) 子育て支援や少子化対策の充実について

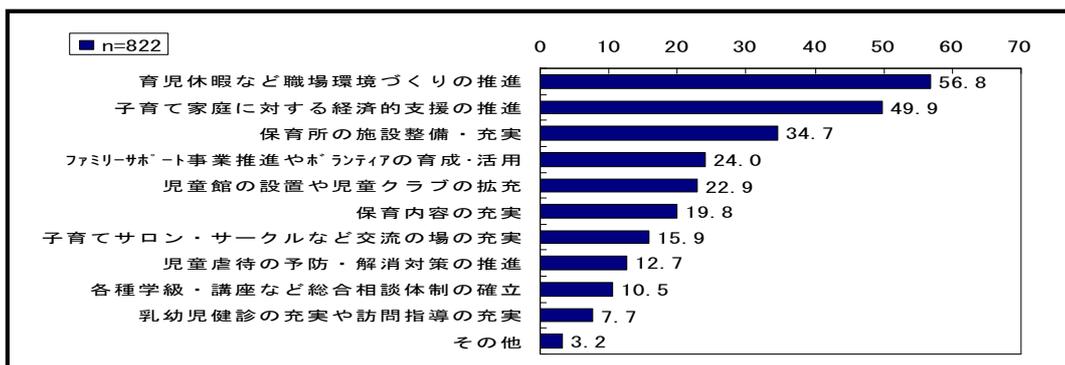
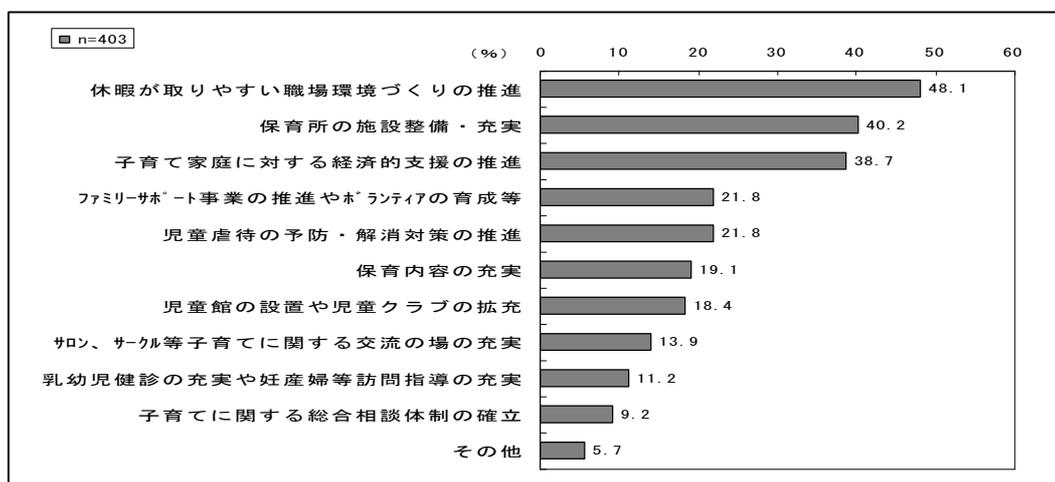
問9 あなたは、保育や子育て支援、少子化対策の施策を充実していくために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

- 「休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」が他をやや引き離して第1位。
- 前回調査では、「育児休暇など職場環境づくりの推進」及び「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が2大要望。

子育て支援や少子化対策についてたずねたところ、「休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」(48.1%)、「保育所の施設整備・充実」(40.2%)、「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(38.7%)、「ファミリーサポート事業の推進やボランティアの育成等」(21.8%)、「児童虐待の予防・解消対策の推進」(21.8%)の順となっている。[図表24参照]

性別、年齢別、居住地域別でみると、「休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」がほとんどの層で第1位となっているが、性別の男性と年齢別の10-20歳代・50歳代では「保育所の施設整備・充実」が第1位となっている。また、40歳代では「子育て家庭に対する経済的支援」が第1位となっている。[図表25参照]

図表24 子育て支援や少子化対策の充実について（全体／複数回答）



図表 25 子育て支援や少子化対策の充実について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）
（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 48.1	保育所の施設整備・充実 40.2	子育て家庭に対する経済的支援の推進 38.7
性別	女性	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 55.0	子育て家庭に対する経済的支援の推進 38.4	保育所の施設整備・充実 32.2
	男性	保育所の施設整備・充実 48.7	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 40.2	子育て家庭に対する経済的支援の推進 39.7
年齢別	10・20歳代	保育所の施設整備・充実 43.1	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 43.1	子育て家庭に対する経済的支援の推進 37.3
	30歳代	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 54.2	子育て家庭に対する経済的支援の推進 54.2	保育所の施設整備・充実 31.3
	40歳代	子育て家庭に対する経済的支援の推進 54.3	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 48.6	保育所の施設整備・充実 30.0
	50歳代	保育所の施設整備・充実 47.4	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 43.6	子育て家庭に対する経済的支援の推進 37.2
	60歳代	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 50.6	保育所の施設整備・充実 40.7	子育て家庭に対する経済的支援の推進 35.8
	70歳以上	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 47.9	保育所の施設整備・充実 43.8	ファミリーサポート事業の推進やボランティアの育成等/児童虐待の予防・解消対策の推進 24.7
居住地域別	塩山地域	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 46.7	保育所の施設整備・充実 40.9	子育て家庭に対する経済的支援の推進 38.0
	勝沼地域	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 50.9	子育て家庭に対する経済的支援の推進 41.7	保育所の施設整備・充実 38.9
	大和地域	休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 47.1	保育内容の充実 35.3	子育て家庭に対する経済的支援の推進 35.3

3 環境対策について

(1) 環境保全対策について

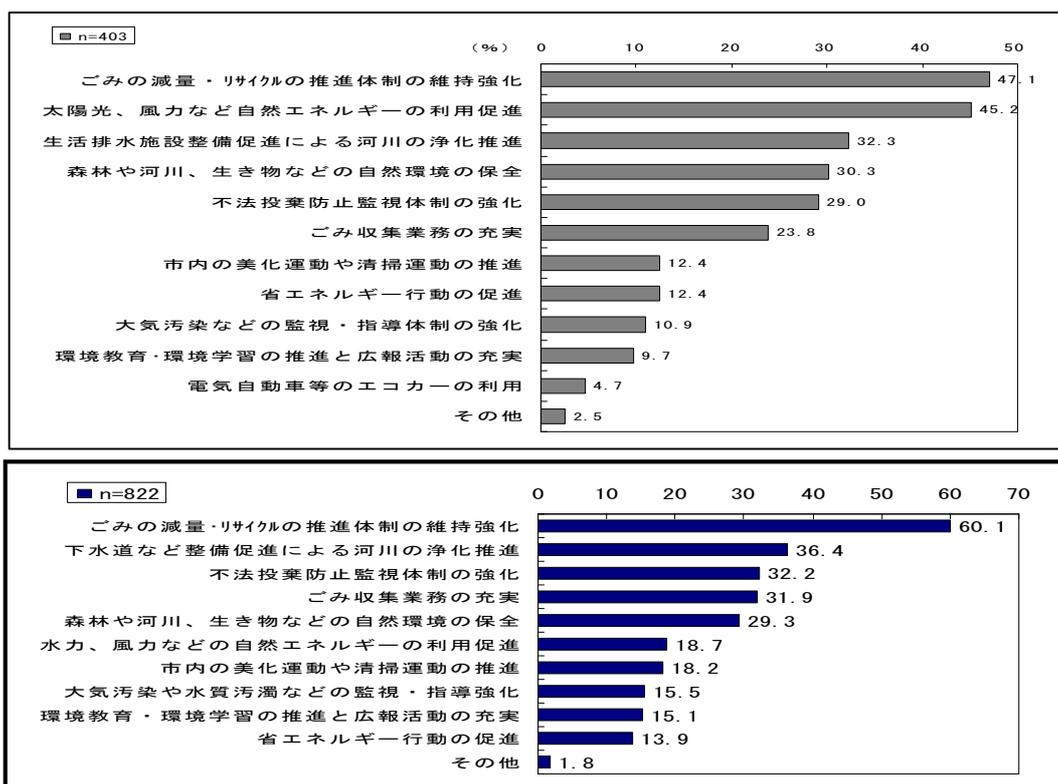
問10 あなたは、環境保全対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

- 「ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化」と「太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進」が僅差で上位2位を占める。
- 前回調査では、「ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化」が他を大きく引き離して第1位。

環境保全のために取り組むべきことは、「ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化」(47.1%)、「太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進」(45.2%)、「生活排水施設整備促進による河川の浄化推進」(32.3%)、「森林や河川、生き物などの自然環境の保全」(30.3%)、「不法投棄防止監視体制の強化」(29.0%)、「ごみ収集業務の充実」(23.8%)などの順であった。[図表 26 参照]

性別、年齢別、居住地域別でみると、性別の男性や年齢別の40歳代までの若年層で「太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進」が第1位となっている。[図表 27 参照]

図表 26 環境保全対策について（全体／複数回答）



図表 27 環境保全対策について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位 3 位）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 47.1	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 45.2	生活排水施設整備促進による河川の浄化推進 32.3
性別	女性	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 52.6	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 44.1	生活排水施設整備促進による河川の浄化推進 33.2
	男性	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 46.6	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 40.7	森林や河川、生き物などの自然環境の保全 35.4
年齢別	10・20歳代	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 39.2	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 37.3	森林や河川、生き物などの自然環境の保全 31.4
	30歳代	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 52.1	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 45.8	不法投棄防止監視体制の強化/森林や河川、生き物などの自然環境の保全 29.2
	40歳代	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 57.1	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 42.9	生活排水施設整備促進による河川の浄化推進 32.9
	50歳代	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 50.0	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 44.9	生活排水施設整備促進による河川の浄化推進 42.3
	60歳代	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 49.4	森林や河川、生き物などの自然環境の保全/太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 45.7	
	70歳以上	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 52.1	不法投棄防止監視体制の強化 38.4	生活排水施設整備促進による河川の浄化推進 35.6
居住地域別	塩山地域	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 47.8	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 43.8	生活排水施設整備促進による河川の浄化推進 33.7
	勝沼地域	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 47.2	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 45.4	生活排水施設整備促進による河川の浄化推進 32.4
	大和地域	不法投棄防止監視体制の強化 58.8	太陽光、風力など自然エネルギーの利用促進 52.9	ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 41.2

4 産業振興について

(1) 農林業の振興について

問11 あなたは、市の農林業を振興するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

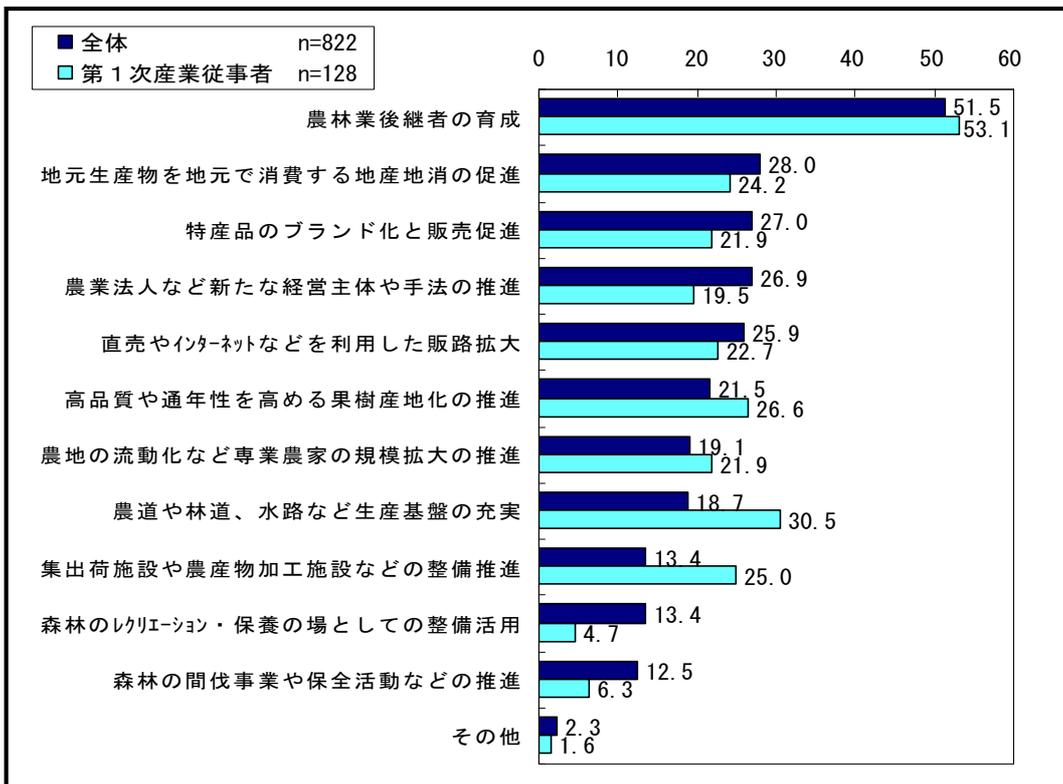
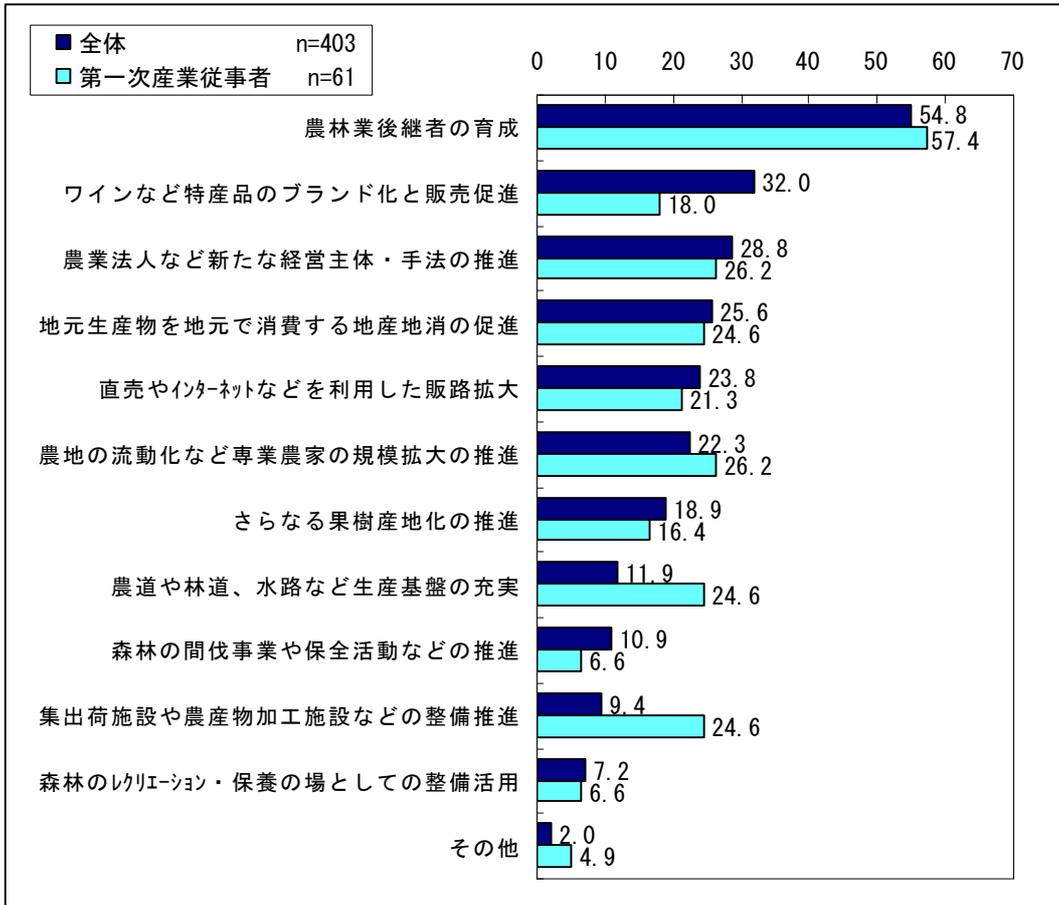


- 「農林業後継者の育成」が他を引き離して第1位。次いで「ワインなど特産品のブランド化と販売促進」の順。
- 前回調査では、「農林業後継者の育成」が他を引き離して第1位。次いで「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」、「特産品のブランド化と販売促進」の順。
- 第1次産業従事者の回答では「農林業後継者の育成」が第1位。次いで「農業法人など新たな経営主体・手法の推進」、「農地の流動化など専業農家の規模拡大の推進」の順。
- 前回調査では、第1次産業従事者の回答では「農林業後継者の育成」が第1位。次いで「農道や林道、水路など生産基盤の充実」、「高品質や通年性を高める果樹産地化の推進」の順。

農林業の振興に必要な取り組みについては、「農林業後継者の育成」(54.8%)、「ワインなど特産品のブランド化と販売促進」(32.0%)、「農業法人など新たな経営主体・手法の推進」(28.8%)、「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」(25.6%)、「直売やインターネットなどを利用した販路拡大」(23.8%)、「農地の流動化など専業農家の規模拡大の推進」(22.3%)、「さらなる果樹産地化の推進」(18.9%)、「農道や林道、水路など生産基盤の充実」(11.9%)、「森林の間伐事業や保全活動などの推進」(10.9%)、「集出荷施設や農産物加工施設などの整備推進」(9.4%)、「森林のレクリエーション・保養の場としての整備活用」(7.2%)の順となっている。

これに対し、業種別の分類による第1次産業従事者(全体の15.1%・61人)の回答をみると、「農林業後継者の育成」(57.4%)、「農業法人など新たな経営主体・手法の推進」、「農地の流動化など専業農家の規模拡大の推進」(同26.2%)、「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」(24.6%)、「農道や林道、水路など生産基盤の充実」(24.6%)、「集出荷施設や農産物加工施設などの整備推進」(24.6%)、「直売やインターネットなどを利用した販路拡大」(21.3%)、「ワインなど特産品のブランド化と販売促進」(18.0%)、「さらなる果樹産地化の推進」(16.4%)、「森林の間伐事業や保全活動などの推進」(6.6%)、「森林のレクリエーション・保養の場としての整備活用」(6.6%)の順となっている。【図表28参照】

図表 28 農林業の振興について（全体、第1次産業従事者／複数回答）



(2) 商工業の振興について

問12 あなたは、市の商工業を振興するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】



- 「既存商店街の活性化」が他を引き離して第1位。次いで「既存商店街のまち並みの再整備」、「優良企業誘致などによる工業の振興」の順。
- 前回調査では、「既存商店街の活性化」が他を引き離して第1位。次いで「地場企業育成や企業誘致による工業の振興」、「大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致」の順。

商工業の振興に必要な取り組みについては、「既存商店街の活性化」(50.6%)、「地場企業育成や企業誘致による工業の振興」(27.0%)、「大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致」(24.8%)、「商業イベントの開催など販売促進対策の充実」(23.1%)、「既存商店街のまち並みの再整備」(22.6%)、「融資制度の充実」(11.9%)、「雇用創出施策の充実」(11.2%)の順となっている。

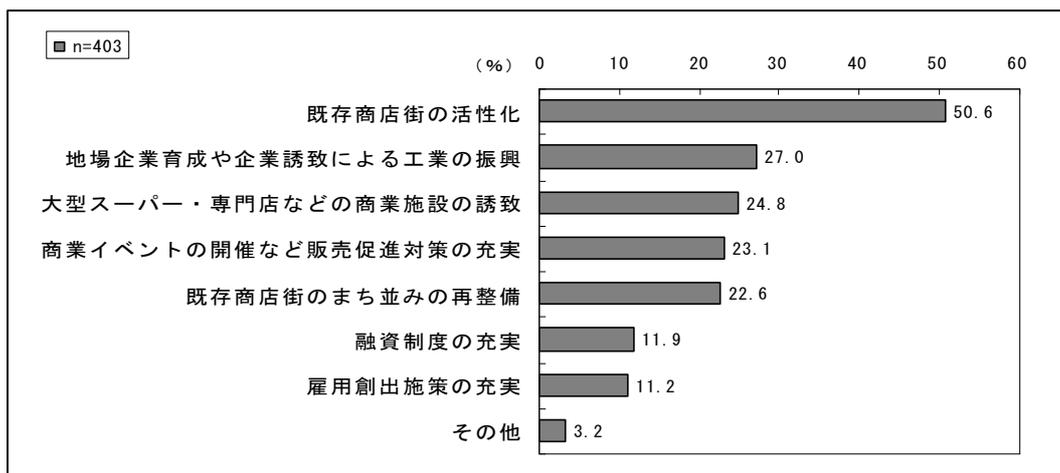
[図表 29 参照]

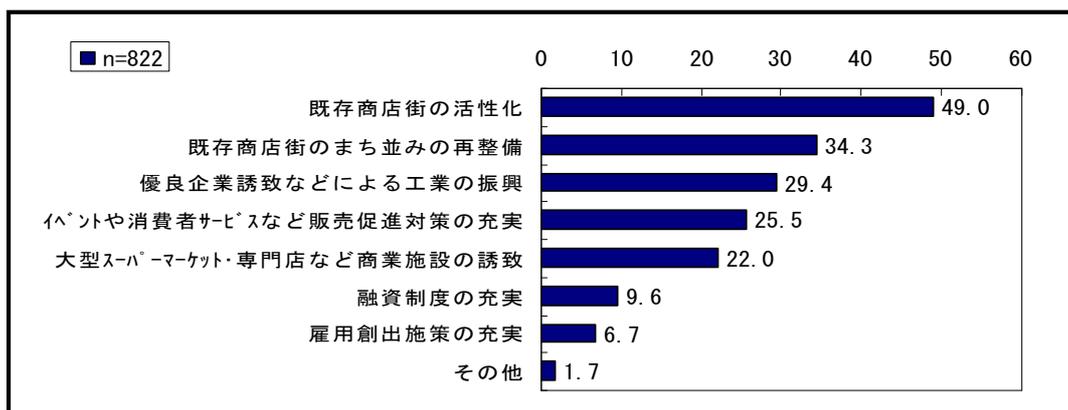
性別で見ると、女性・男性ともに「既存商店街の活性化」(54.5%・47.1%)が第1位となっている。

年齢別で見ても、すべての層で「既存商店街の活性化」が第1位となっている。

[図表 30 参照]

図表 29 商工業の振興について（全体／複数回答）





図表 30 商工業の振興について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位 3 位）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		既存商店街の活性化 50.6	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 27.0	大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 24.8
性別	女性	既存商店街の活性化 54.5	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 26.1	大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 24.2
	男性	既存商店街の活性化 47.1	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 28.0	大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 25.4
年齢別	10・20歳代	既存商店街の活性化/ 大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 43.1		既存商店街のまち並みの再整備 33.3
	30歳代	既存商店街の活性化 56.3	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 27.1	商業イベントの開催など販売促進対策の充実 25.0
	40歳代	既存商店街の活性化 37.1	商業イベントの開催など販売促進対策の充実 34.3	大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 31.4
	50歳代	既存商店街の活性化 57.7	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 30.8	商業イベントの開催など販売促進対策の充実 24.4
	60歳代	既存商店街の活性化 50.6	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 24.7	大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 21.0
	70歳以上	既存商店街の活性化 57.5	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 32.9	既存商店街のまち並みの再整備 27.4
居住地域別	塩山地域	既存商店街の活性化 53.6	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 27.9	商業イベントの開催など販売促進対策の充実 25.7
	勝沼地域	既存商店街の活性化 44.4	大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 28.7	地場企業育成や企業誘致による工業の振興 26.9
	大和地域	既存商店街の活性化 41.2	既存商店街のまち並みの再整備 29.4	大型スーパー・専門店などの商業施設の誘致 23.5

(3) 観光の振興について

問13 あなたは、市の観光振興のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】



- 「歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備」と「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」が僅差で上位2位を占めている。
- 前回調査では、「既存商店街の活性化」が他を引き離して第1位。次いで「既存商店街のまち並みの再整備」、「優良企業誘致などによる工業の振興」の順。

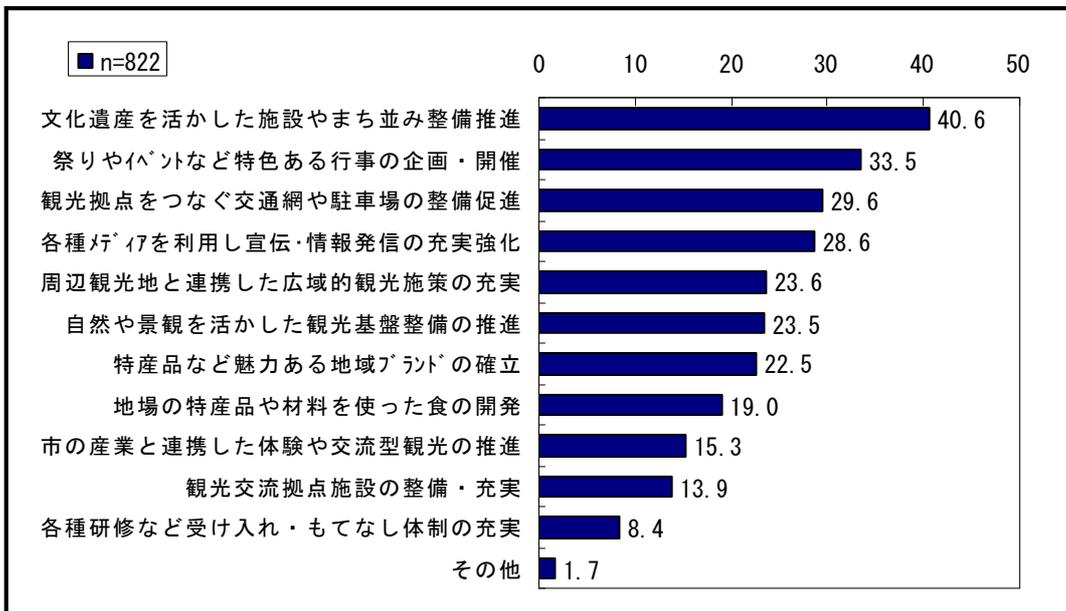
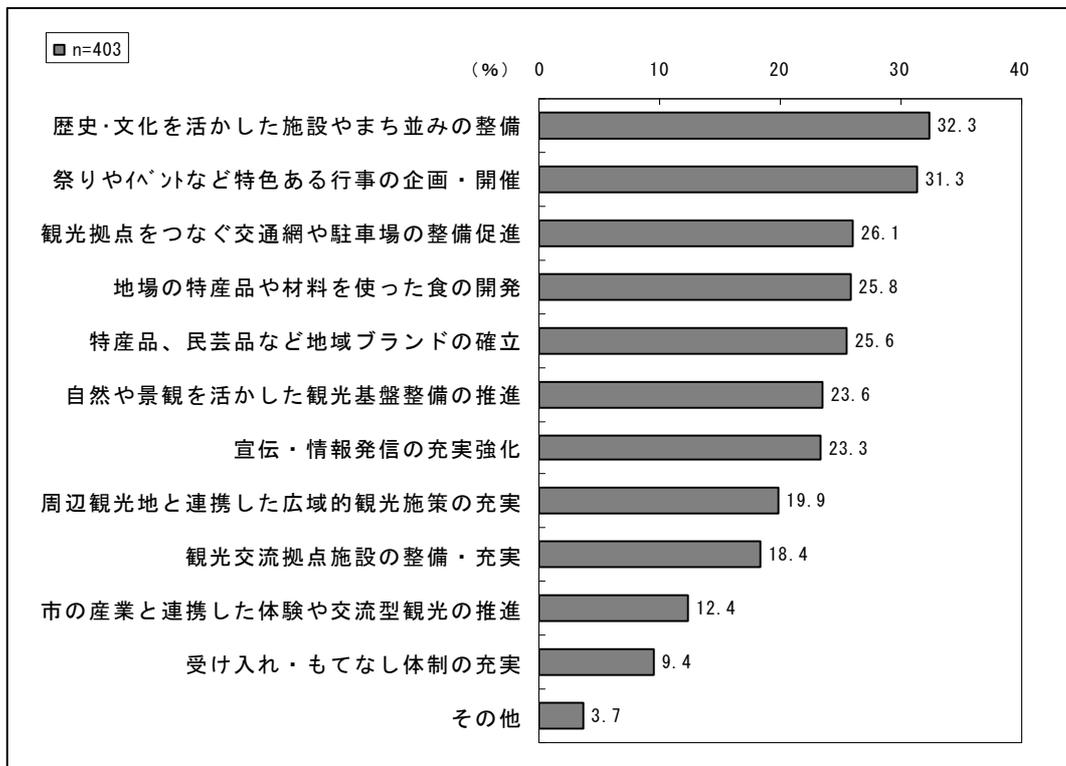
観光の振興に必要な取り組みについては、「歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備」(32.3%)、「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」(31.3%)、「観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進」(26.1%)、「地場の特産品や材料を使った食の開発」(25.8%)、「特産品、民芸品など地域ブランドの確立」(25.6%)、「自然や景観を活かした観光基盤整備の推進」(23.6%)、「宣伝・情報発信の充実強化」(23.3%)、「周辺観光地と連携した広域的観光施策の充実」(19.9%)、「観光交流拠点施設の整備・充実」(18.4%)、「市の産業と連携した体験や交流型観光の推進」(12.4%)、「受け入れ・もてなし体制の充実」(9.4%)の順となっている。

【図表 31 参照】

性別で見ると、男性・女性ともに「歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備」と「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」が上位2位となっている。

年齢別で見ると、10-20歳代では「地場の特産品や材料を使った食の開発」(37.3%)が第1位に挙げられている。また、60歳代と70歳以上では全体で第2位の「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」が上位3位に挙げられていない。【図表 32 参照】

図表 31 観光の振興について（全体／複数回答）



図表 32 観光の振興について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 32.3	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 31.3	観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進 26.1
性別	女性	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 30.3	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 29.9	観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進 27.0
	男性	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 35.4	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 32.3	地場の特産品や材料を使った食の開発/特産品、民芸品など地域ブランドの確立 26.5
年齢別	10・20歳代	地場の特産品や材料を使った食の開発 37.3	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 33.3	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催/観光交流拠点施設の整備・充実 31.4
	30歳代	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 43.8	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備/特産品、民芸品など地域ブランドの確立 27.1	
	40歳代	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 35.7	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催/観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進 32.9	
	50歳代	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 33.3	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備/観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進 32.1	
	60歳代	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 29.6	周辺観光地と連携した広域的観光施策の充実 27.2	観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進 25.9
	70歳以上	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 35.6	自然や景観を活かした観光基盤整備の推進 32.9	特産品、民芸品など地域ブランドの確立 28.8
居住地域別	塩山地域	祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 34.1	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 32.6	特産品、民芸品など地域ブランドの確立 27.5
	勝沼地域	自然や景観を活かした観光基盤整備の推進 34.3	地場の特産品や材料を使った食の開発 31.5	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 30.6
	大和地域	宣伝・情報発信の充実強化 41.2	歴史・文化を活かした施設やまち並みの整備 35.3	観光交流拠点施設の整備・充実 29.4

5 生活環境について

(1) 生活環境の改善のために必要な整備

問14 あなたのまわりの身近な生活環境を改善しようとする場合、どのような施設の整備が必要だと思いますか。【複数回答】



- 「道路や歩道」が他をやや引き離して第1位。次いで「街路灯・防犯灯」の順。
- 前回調査では、「道路や歩道」が第1位。次いで「街路灯・防犯灯」、「子どもの遊び場」、「高齢者福祉施設」の順。

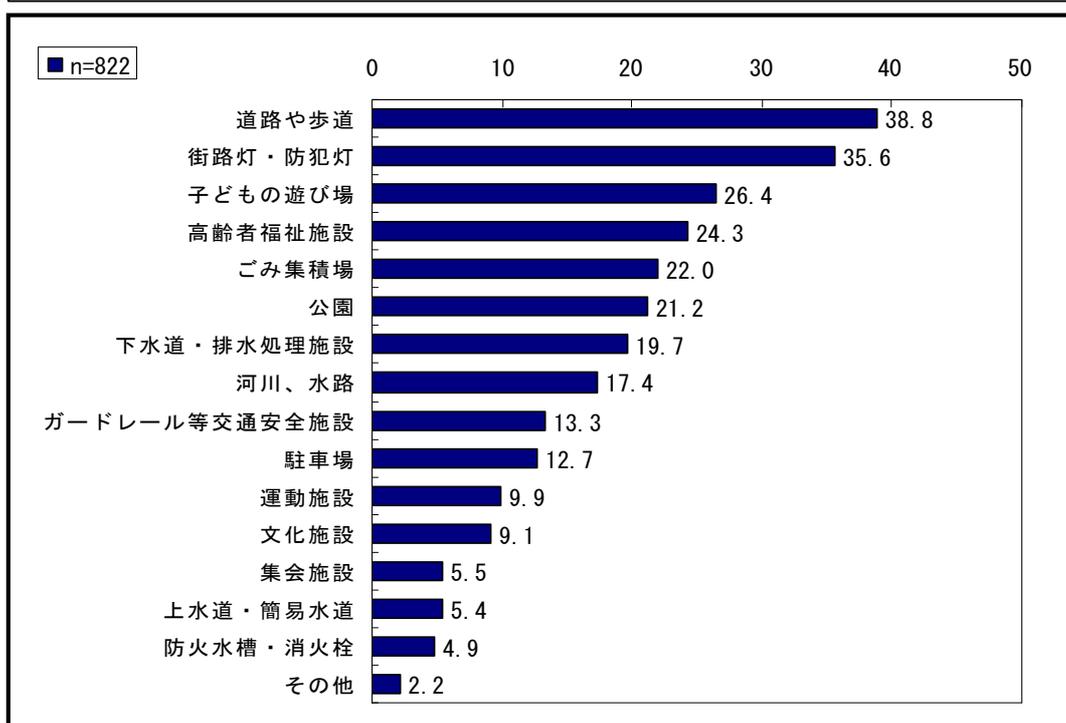
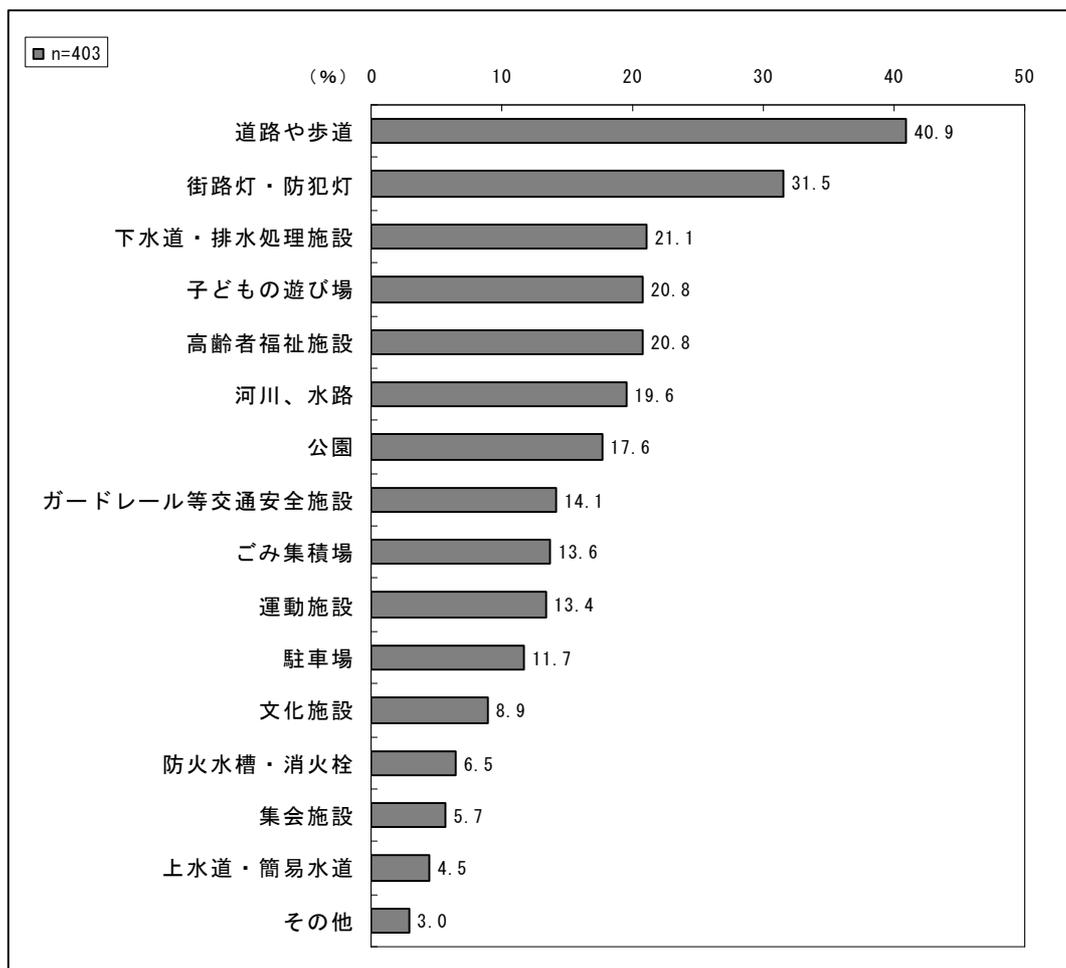
身近な生活環境で必要と思う施設整備についてたずねたところ、「道路や歩道」(40.9%)、「街路灯・防犯灯」(31.5%)、「下水道・排水処理施設」(21.1%)、「子どもの遊び場」(20.8%)、「高齢者福祉施設」(20.8%)、「河川、水路」(19.6%)、「公園」(17.6%)、「ガードレール等交通安全施設」(14.1%)、「ごみ集積場」(13.6%)、「運動施設」(13.4%)、「駐車場」(11.7%)、「文化施設」(8.9%)、「防火水槽・消火栓」(6.5%)、「集会施設」(5.7%)、「上水道・簡易水道」(4.5%)の順となっている。[図表 33 参照]

性別で見ると、女性は「街路灯・防犯灯」が第1位に挙げられているが、男性では「道路や歩道」が第1位となっている。

年齢別で見ると、30歳代では全体で第4位の「子どもの遊び場」が第1位(37.5%)に挙げられているほか、70歳以上では全体で第5位の「高齢者福祉施設」が第1位(38.4%)に挙げられているなど、年代によって必要な整備が異なる傾向がみられる。

居住地域別で見ると、すべての地域で「道路や歩道」が第1位となっており、特に大和地域では64.7%と他の地域に比べてその割合が高くなっている。[図表 34 参照]

図表 33 生活環境の改善のために必要な整備（全体／複数回答）



図表 34 生活環境の改善のために必要な整備（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）
（上位 3 位）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		道路や歩道 40.9	街路灯・防犯灯 31.5	下水道・排水処理施設 21.1
性別	女性	街路灯・防犯灯 37.4	道路や歩道 37.0	子どもの遊び場 23.2
	男性	道路や歩道 45.5	街路灯・防犯灯 24.9	河川、水路 23.3
年齢別	10・20歳代	道路や歩道 51.0	街路灯・防犯灯 39.2	子どもの遊び場/運動施設 27.5
	30歳代	子どもの遊び場 37.5	街路灯・防犯灯 35.4	道路や歩道 27.1
	40歳代	道路や歩道 48.6	街路灯・防犯灯/ごみ集積場 25.7	
	50歳代	道路や歩道 44.9	街路灯・防犯灯 34.6	高齢者福祉施設 26.9
	60歳代	道路や歩道 35.8	街路灯・防犯灯 35.8	河川、水路 27.2
	70歳以上	高齢者福祉施設 38.4	道路や歩道 37.0	下水道・排水処理施設 28.8
居住地域別	塩山地域	道路や歩道 40.9	街路灯・防犯灯 32.6	子どもの遊び場 22.8
	勝沼地域	道路や歩道 37.0	街路灯・防犯灯 28.7	下水道・排水処理施設 24.1
	大和地域	道路や歩道 64.7	河川、水路/ガードレール等交通安全施設/街路灯・防犯灯 29.4	

6 教育・文化・スポーツについて

(1) 学校教育の充実について

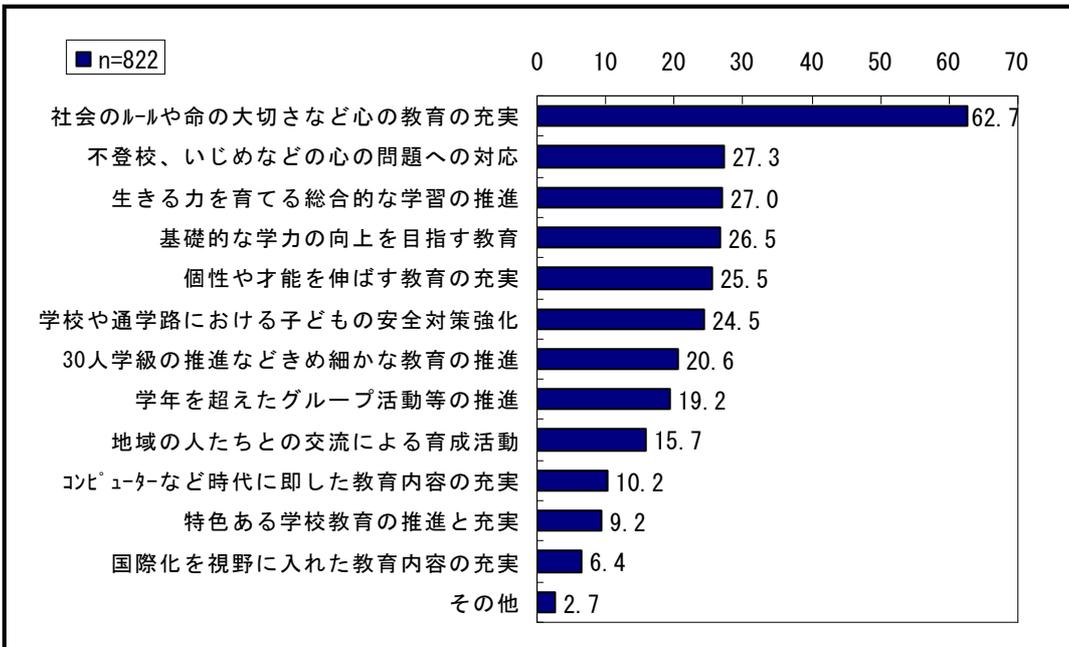
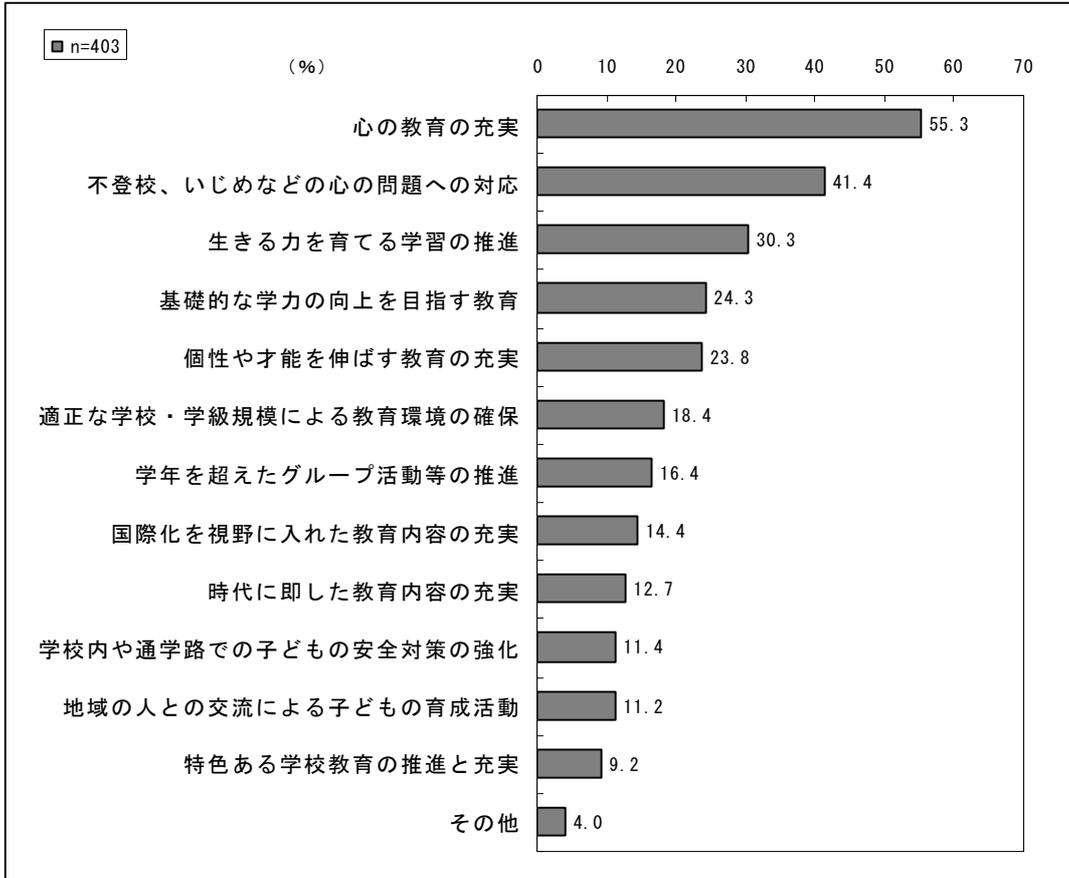
問15 あなたは、学校教育の充実のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

- 「心の教育の充実」が他を引き離して第1位。次いで「不登校、いじめなどの心の問題への対応」、「生きる力を育てる学習の推進」の順。
- 前回調査では、「社会のルールや命の大切さなど心の教育の充実」が他を大きく引き離して第1位。次いで「不登校、いじめなどの心の問題への対応」、「生きる力を育てる総合的な学習の推進」の順。

学校教育の充実のために力を入れるべき施策についてたずねたところ、「心の教育の充実」(55.3%)、「不登校、いじめなどの心の問題への対応」(41.4%)、「生きる力を育てる学習の推進」(30.3%)、「基礎的な学力の向上を目指す教育」(24.3%)、「個性や才能を伸ばす教育の充実」(23.8%)、「適正な学校・学級規模による教育環境の確保」(18.4%)、「学年を超えたグループ活動等の推進」(16.4%)、「国際化を視野に入れた教育内容の充実」(14.4%)、「時代に即した教育内容の充実」(12.7%)、「学校内や通学路での子どもの安全対策の強化」(11.4%)、「地域の人との交流による子どもの育成活動」(11.2%)、「特色ある学校教育の推進と充実」(9.2%)の順となっている。[図表 35 参照]

これを性別、年齢別でも、すべての層で「心の教育の充実」が第1位となっている。[図表 36 参照]

図表 35 学校教育の充実について（全体／複数回答）



図表 36 学校教育の充実について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		心の教育の充実 55.3	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 41.4	生きる力を育てる学習 の推進 30.3
性別	女性	心の教育の充実 56.4	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 42.2	生きる力を育てる学習 の推進 32.7
	男性	心の教育の充実 54.0	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 41.3	生きる力を育てる学習 の推進/個性や才能を 伸ばす教育の充実 28.0
年齢別	10・20歳代	心の教育の充実 47.1	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 43.1	基礎的な学力の向上を 目指す教育 25.5
	30歳代	心の教育の充実 41.7	生きる力を育てる学習の推進/不登校、いじめ などの心の問題への対応 37.5	
	40歳代	心の教育の充実 51.4	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 50.0	生きる力を育てる学習 の推進 38.6
	50歳代	心の教育の充実 57.7	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 42.3	生きる力を育てる学習 の推進 34.6
	60歳代	心の教育の充実 58.0	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 48.1	個性や才能を伸ばす教 育の充実 33.3
	70歳以上	心の教育の充実 67.1	生きる力を育てる学習の推進/適正な学校・学 級規模による教育環境の確保/学年を超えたグ ループ活動等の推進/不登校、いじめなどの心 の問題への対応 26.0	
居住地域別	塩山地域	心の教育の充実 55.1	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 43.8	生きる力を育てる学習 の推進 31.5
	勝沼地域	心の教育の充実 56.5	不登校、いじめなどの 心の問題への対応 37.0	生きる力を育てる学習 の推進 30.6
	大和地域	心の教育の充実 47.1	基礎的な学力の向上を 目指す教育 41.2	時代に即した教育内容 の充実 35.3

(2) 生涯学習活動の活性化に必要なこと

問16 あなたは、生涯学習活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

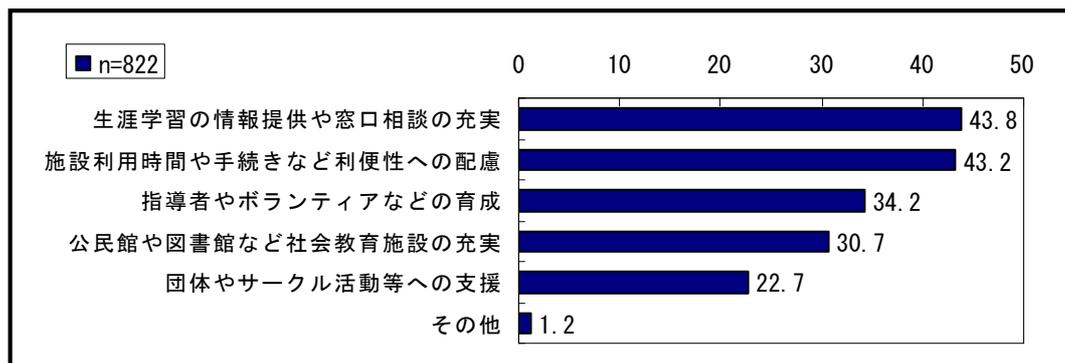
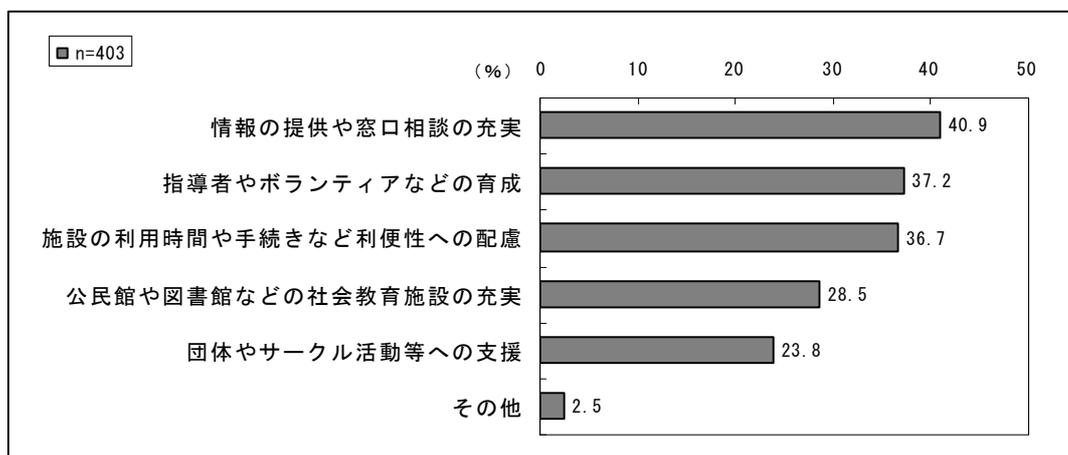
- 「情報の提供や窓口相談の充実」が第1位。次いで「指導者やボランティアなどの育成」、「施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮」の順。
- 前回調査では、「生涯学習の情報提供や窓口相談の充実」及び「施設利用時間や手続きなど利便性への配慮」が上位を占める。

生涯学習活動の活性化策についてたずねたところ、「情報の提供や窓口相談の充実」(40.9%)、「指導者やボランティアなどの育成」(37.2%)、「施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮」(36.7%)、「公民館や図書館などの社会教育施設の充実」(28.5%)、「団体やサークル活動等への支援」(23.8%)の順となっている。

[図表 37 参照]

年齢別で見ると、10-20歳代では全体で第4位の「公民館や図書館などの社会教育施設の充実」が第2位、70歳以上では第5位の「団体やサークル活動等への支援」が第2位に挙げられるなど、年齢によって要望が異なることがうかがえる。[図表 38 参照]

図表 37 生涯学習活動の活性化に必要なこと（全体／複数回答）



図表 38 生涯学習活動の活性化に必要なこと（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）
（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		情報の提供や窓口相談の充実 40.9	指導者やボランティアなどの育成 37.2	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 36.7
性別	女性	情報の提供や窓口相談の充実 39.3	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 36.5	指導者やボランティアなどの育成 35.1
	男性	情報の提供や窓口相談の充実 42.9	指導者やボランティアなどの育成 40.2	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 37.0
年齢別	10・20歳代	情報の提供や窓口相談の充実 41.2	公民館や図書館などの社会教育施設の充実 39.2	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 37.3
	30歳代	指導者やボランティアなどの育成 41.7	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 41.7	情報の提供や窓口相談の充実 31.3
	40歳代	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 38.6	情報の提供や窓口相談の充実 37.1	指導者やボランティアなどの育成/公民館や図書館などの社会教育施設の充実 35.7
	50歳代	情報の提供や窓口相談の充実 53.8	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 39.7	指導者やボランティアなどの育成 35.9
	60歳代	情報の提供や窓口相談の充実 44.4	指導者やボランティアなどの育成 38.3	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 37.0
	70歳以上	指導者やボランティアなどの育成 41.1	団体やサークル活動等への支援 35.6	情報の提供や窓口相談の充実 31.5
居住地域別	塩山地域	情報の提供や窓口相談の充実 39.1	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 38.0	指導者やボランティアなどの育成 36.6
	勝沼地域	情報の提供や窓口相談の充実 44.4	指導者やボランティアなどの育成 39.8	施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮 34.3
	大和地域	情報の提供や窓口相談の充実 47.1	指導者やボランティアなどの育成/公民館や図書館などの社会教育施設の充実/施設の利用時間や手続きなど利便性への配慮	29.4

(3) 生涯スポーツ活動の活性化に必要なこと

問17 あなたは、生涯スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

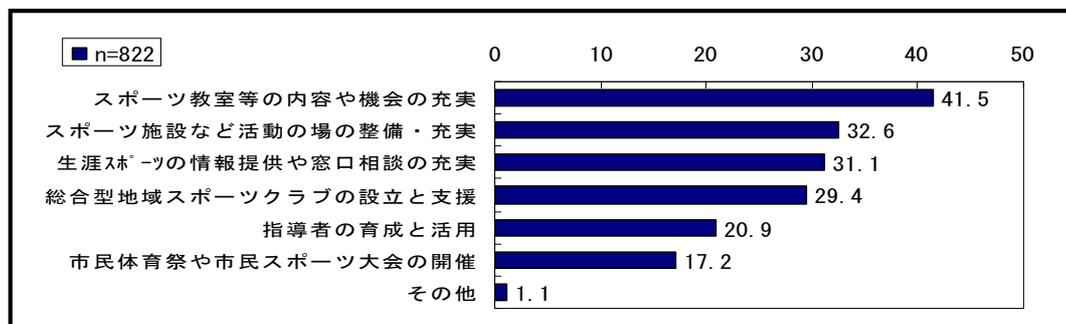
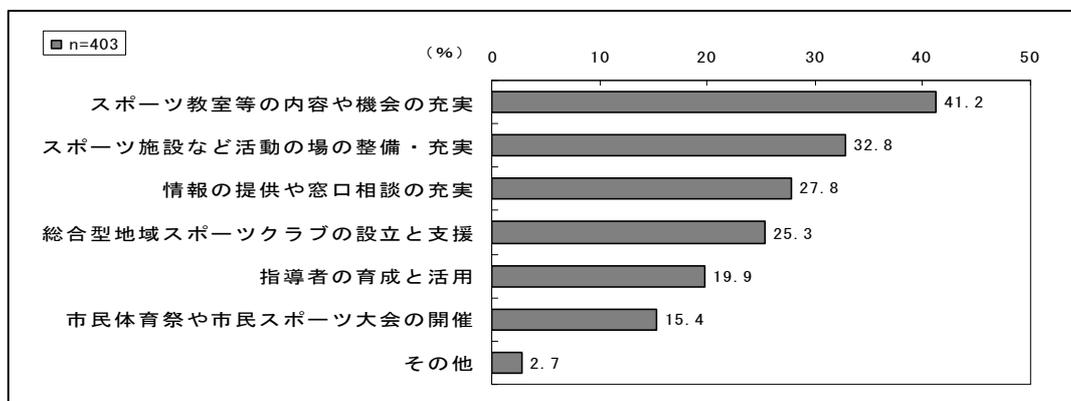


- 「スポーツ教室等の内容や機会の充実」が第1位。次いで「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」、「情報の提供や窓口相談の充実」の順。
- 「スポーツ教室等の内容や機会の充実」が第1位。次いで「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」、「生涯スポーツの情報提供や窓口相談の充実」の順。

生涯スポーツ活動を活性化するために必要なことは、「スポーツ教室等の内容や機会の充実」(41.2%)、「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」(32.8%)、「情報の提供や窓口相談の充実」(27.8%)、「総合型地域スポーツクラブの設立と支援」(25.3%)、「指導者の育成と活用」(19.9%)、「市民体育祭や市民スポーツ大会の開催」(15.4%)の順となっている。[図表 39 参照]

これを属性別でも、ほとんどの層で「スポーツ教室等の内容や機会の充実」が第1位となっているが、年齢別の10-20歳代と60歳代では「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」が第1位となっている。[図表 40 参照]

図表 39 生涯スポーツ活動の活性化に必要なこと（全体／複数回答）



図表 40 生涯スポーツ活動の活性化に必要なこと（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）
（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		スポーツ教室等の内容 や機会の充実 41.2	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 32.8	情報の提供や窓口相談 の充実 27.8
性別	女性	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 42.2	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 29.9	情報の提供や窓口相談 の充実 26.5
	男性	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 39.7	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 36.0	情報の提供や窓口相談 の充実 29.6
年齢別	10・20歳代	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 43.1	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 41.2	情報の提供や窓口相談 の充実 29.4
	30歳代	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 52.1	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 29.2	情報の提供や窓口相談 の充実 25.0
	40歳代	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 47.1	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 37.1	総合型地域スポーツク ラブの設立と支援 31.4
	50歳代	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 48.7	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 37.2	情報の提供や窓口相談 の充実 34.6
	60歳代	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 32.1	情報の提供や窓口相談の充実/スポーツ教室等 の内容や機会の充実 29.6	
	70歳以上	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 31.5	市民体育祭や市民スポ ーツ大会の開催/総合 型地域スポーツクラブ の設立と支援 27.4	
居住地域別	塩山地域	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 41.3	スポーツ施設など活動 の場の整備・充実 35.5	情報の提供や窓口相談 の充実 27.2
	勝沼地域	スポーツ教室等の内容 や機会の充実 41.7	情報の提供や窓口相談の充実/スポーツ施設な ど活動の場の整備・充実 28.7	
	大和地域	情報の提供や窓口相談の充実/スポーツ教室等 の内容や機会の充実 35.3	市民体育祭や市民スポ ーツ大会の開催 29.4	

7 消防・防災対策について

(1) 消防・防災対策について

問18 あなたは、災害に強いまちづくりに向けた消防・防災対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

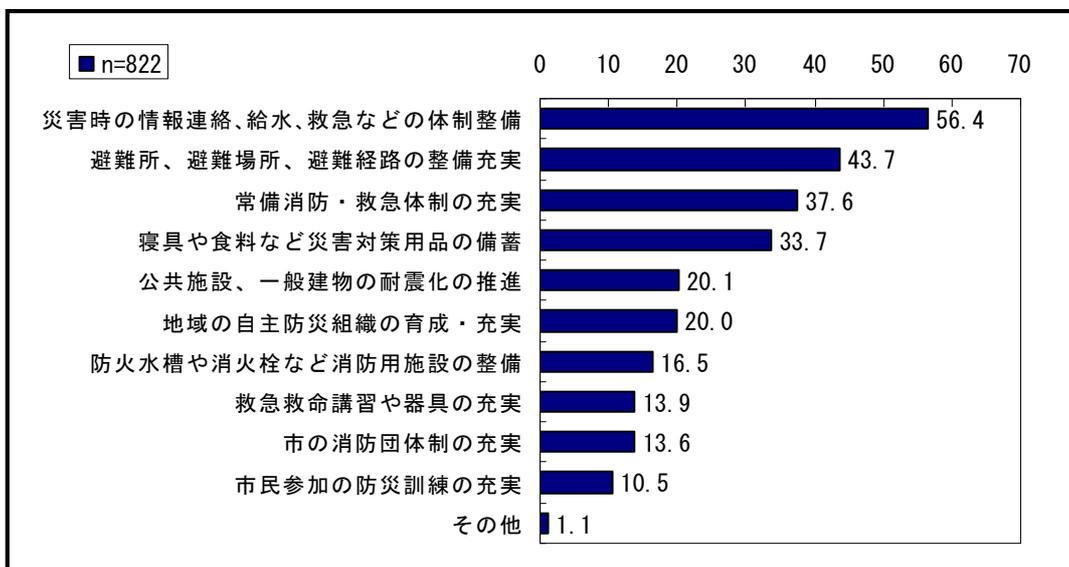
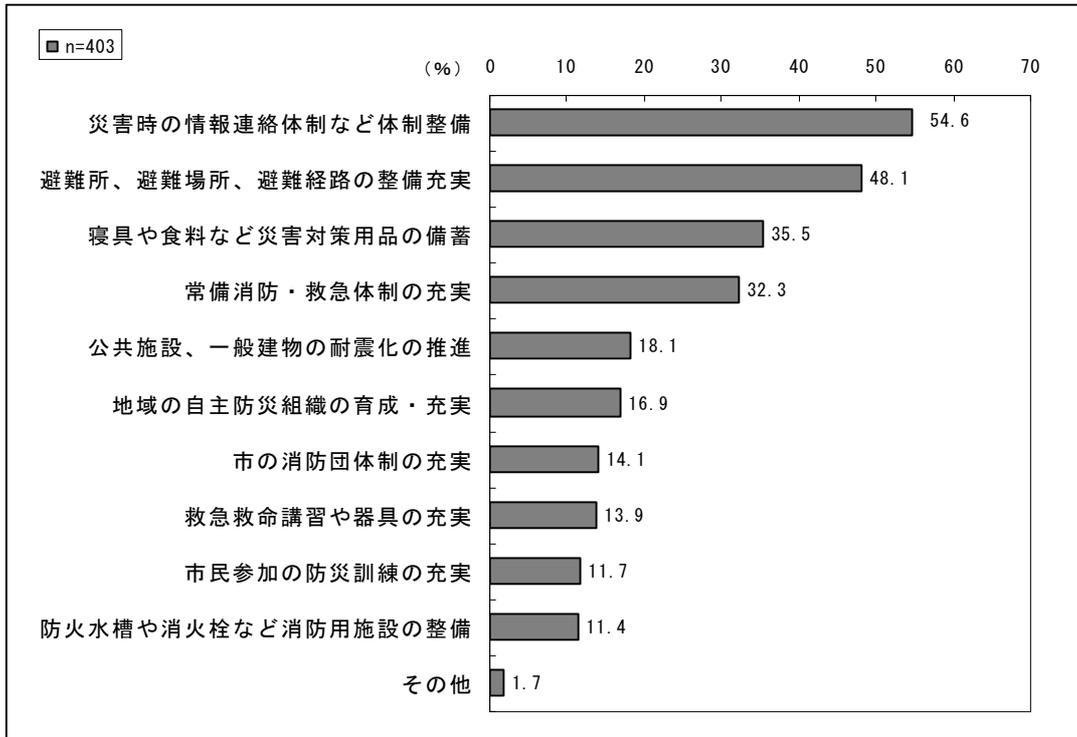
- 「災害時の情報連絡体制など体制整備」が他を引き離して第1位。次いで「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」、「寝具や食料など災害対策用品の備蓄」の順。
- 前回調査では、「災害時の情報連絡、給水、救急などの体制整備」が第1位。次いで「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」の順。

消防・防災体制で重視すべき点をたずねたところ、「災害時の情報連絡体制など体制整備」(54.6%)、「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」(48.1%)、「寝具や食料など災害対策用品の備蓄」(35.5%)、「常備消防・救急体制の充実」(32.3%)、「公共施設、一般建物の耐震化の推進」(18.1%)、「地域の自主防災組織の育成・充実」(16.9%)、「市の消防団体制の充実」(14.1%)、「救急救命講習や器具の充実」(13.9%)、「市民参加の防災訓練の充実」(11.7%)、「防火水槽や消火栓など消防用施設の整備」(11.4%)などの順となっている。[図表 41 参照]

年齢別にみると、ほとんどの層で「災害時の情報連絡体制など体制整備」が第1位に挙げられていますが、10-20歳代・30歳代では「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」が第1位に挙げられており、若年層と中・高齢層で回答の傾向が異なることがうかがえます。

居住地域別でも、塩山地域と勝沼地域では「災害時の情報連絡体制など体制整備」が第1位となっているが、大和地域では「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」が第1位に挙げられている。[図表 42 参照]

図表 41 消防・防災対策について（全体／複数回答）



図表 42 消防・防災対策について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位 3 位）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		災害時の情報連絡体制 など体制整備 54.6	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 48.1	寝具や食料など災害対 策用品の備蓄 35.5
性別	女性	災害時の情報連絡体制 など体制整備 56.9	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 49.8	寝具や食料など災害対 策用品の備蓄 39.3
	男性	災害時の情報連絡体制 など体制整備 52.4	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 46.6	常備消防・救急体制の 充実 38.1
年齢別	10・20歳代	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 49.0	寝具や食料など災害対 策用品の備蓄 45.1	災害時の情報連絡体制 など体制整備 43.1
	30歳代	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 47.9	寝具や食料など災害対 策用品の備蓄 47.9	災害時の情報連絡体制 など体制整備 45.8
	40歳代	災害時の情報連絡体制 など体制整備 57.1	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 47.1	寝具や食料など災害対 策用品の備蓄 38.6
	50歳代	災害時の情報連絡体制 など体制整備 59.0	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 50.0	常備消防・救急体制の 充実 39.7
	60歳代	災害時の情報連絡体制 など体制整備 59.3	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 48.1	常備消防・救急体制の 充実 28.4
	70歳以上	災害時の情報連絡体制 など体制整備 56.2	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 46.6	常備消防・救急体制の 充実 30.1
居住地域別	塩山地域	災害時の情報連絡体制 など体制整備 56.2	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 46.7	寝具や食料など災害対 策用品の備蓄 36.6
	勝沼地域	災害時の情報連絡体制 など体制整備 51.9	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 47.2	常備消防・救急体制の 充実 35.2
	大和地域	避難所、避難場所、避 難経路の整備充実 76.5	災害時の情報連絡体制 など体制整備 52.9	常備消防・救急体制の 充実 29.4

8 土地利用、道路・交通について

(1) 優先的に整備すべき用地について

問19 市の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていくことが必要になりますが、あなたは、今後、優先的に整備していくとしたらどの用地だと思いますか。【複数回答】



- 第1位は「観光・レクリエーション用地」。次いで「農林業育成のための施設用地」、「保健・福祉施設用地」の順。
- 前回調査では、「保健・福祉施設用地」が第1位。次いで「公園・緑地用地」、「住宅用地」の順。

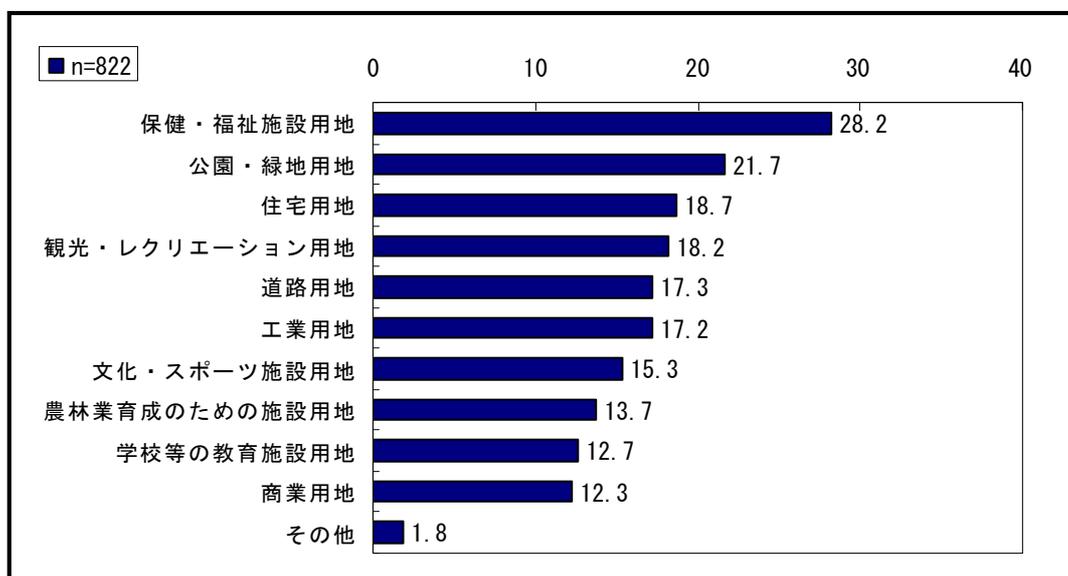
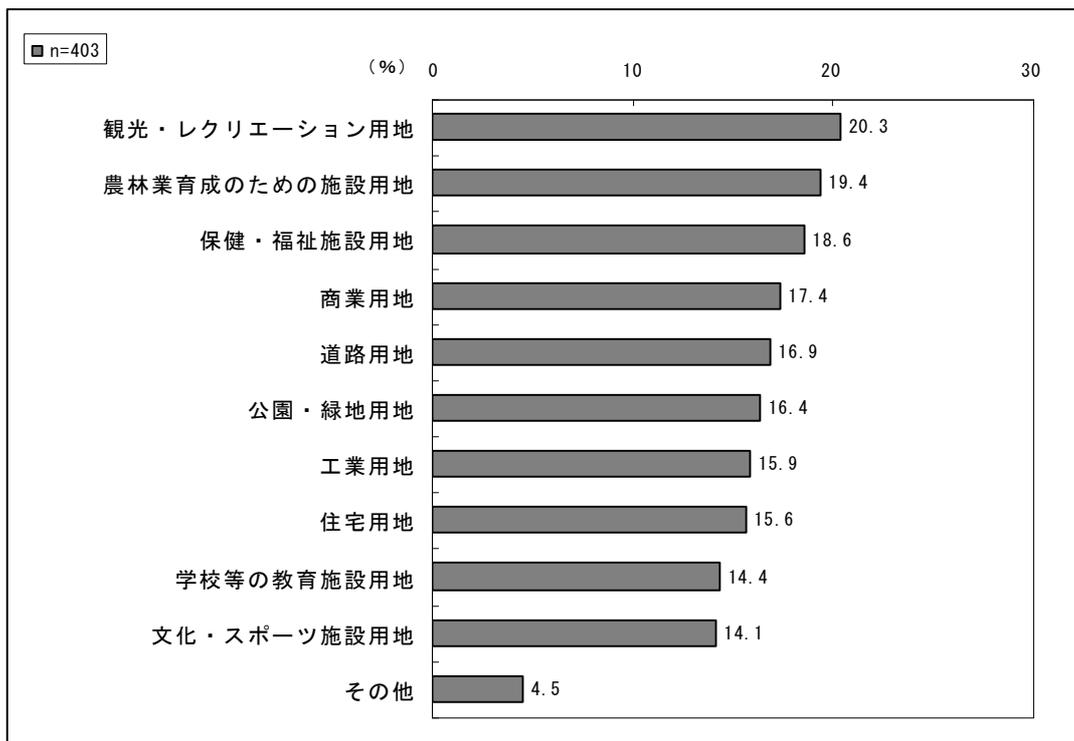
市の発展に向けて、優先的に整備すべき用地をたずねたところ、「観光・レクリエーション用地」(20.3%)、「農林業育成のための施設用地」(19.4%)、「保健・福祉施設用地」(18.6%)、「商業用地」(17.4%)、「道路用地」(16.9%)、「公園・緑地用地」(16.4%)、「工業用地」(15.9%)、「住宅用地」(15.6%)、「学校等の教育施設用地」(14.4%)、「文化・スポーツ施設用地」(14.1%)の順となっている。

[図表 43 参照]

年齢別で見ると、10-20歳代では「文化・スポーツ施設用地」(25.5%)、40歳代では「商業用地」(25.7%)、50歳代・70歳代では「保健・福祉施設用地」(25.6%・23.3%)、60歳代では「農林業育成のための施設用地」(29.6%)がそれぞれ第1位となっている。

居住地域別で見ると、塩山地域では「観光・レクリエーション用地」(29.4%)、勝沼地域では「農林業育成のための施設用地」(28.7%)、大和地域では「住宅用地」(41.2%)が第1位となっている。[図表 44 参照]

図表 43 優先的に整備すべき用地について（全体／複数回答）



図表 44 優先的に整備すべき用地について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		観光・レクリエーション用地 20.3	農林業育成のための施設用地 19.4	保健・福祉施設用地 18.6
性別	女性	保健・福祉施設用地 22.3	観光・レクリエーション用地 18.5	農林業育成のための施設用地 17.5
	男性	観光・レクリエーション用地 22.2	農林業育成のための施設用地 21.7	道路用地 20.1
年齢別	10・20歳代	文化・スポーツ施設用地 25.5	住宅用地 23.5	商業用地/観光・レクリエーション用地/道路用地 19.6
	30歳代	住宅用地/商業用地/観光・レクリエーション用地/公園・緑地用地/学校等の教育施設用地 18.8		
	40歳代	商業用地 25.7	観光・レクリエーション用地 24.3	工業用地/公園・緑地用地/学校等の教育施設用地 18.6
	50歳代	保健・福祉施設用地 25.6	道路用地 20.5	農林業育成のための施設用地 19.2
	60歳代	農林業育成のための施設用地 29.6	観光・レクリエーション用地 23.5	工業用地/道路用地 18.5
	70歳以上	保健・福祉施設用地 23.3	農林業育成のための施設用地/工業用地 21.9	
居住地域別	塩山地域	観光・レクリエーション用地 19.9	商業用地/保健・福祉施設用地 19.2	
	勝沼地域	農林業育成のための施設用地 28.7	観光・レクリエーション用地 21.3	道路用地/保健・福祉施設用地 18.5
	大和地域	住宅用地 41.2	道路用地 29.4	文化・スポーツ施設用地 23.5

(2) 市内及び周辺で必要な道路、交通手段について

問20 あなたは、甲州市及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
【複数回答】

- 「鉄道や路線バスの利便性向上」、「地区内の身近な生活道路の整備充実」、「市内幹線道路の整備充実」が上位3項目。
- 前回調査では、「地区内の身近な生活道路の整備充実」が第1位。次いで「鉄道や路線バスの利便性向上」、「市内幹線道路の整備充実」の順。

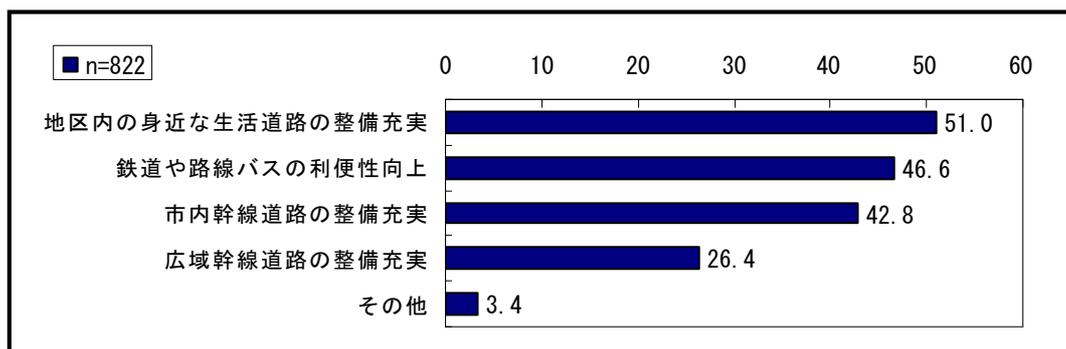
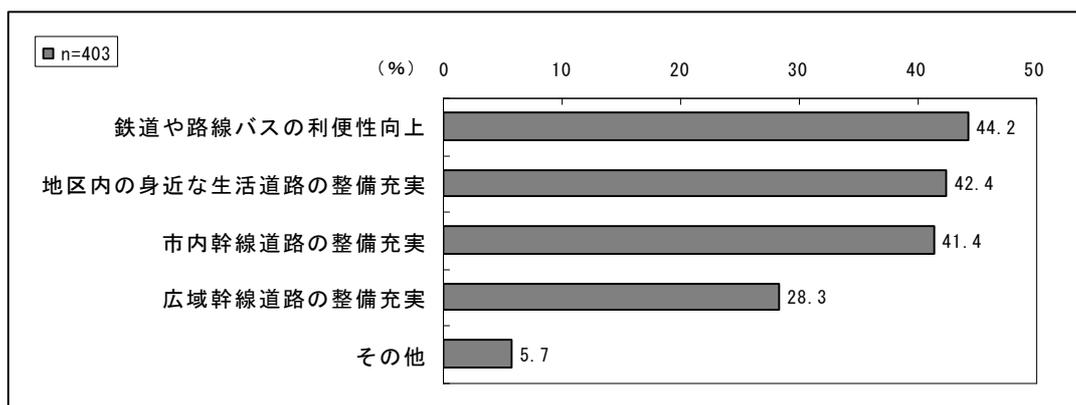
市内及びその周辺で必要な道路・交通手段についてたずねたところ、「鉄道や路線バスの利便性向上」(44.2%)、「地区内の身近な生活道路の整備充実」(42.4%)、「市内幹線道路の整備充実」(41.4%)、「広域幹線道路の整備充実」(28.3%)となっている。[図表 45 参照]

性別でみると、女性では「鉄道や路線バスの利便性向上」(49.3%)、男性では「市内幹線道路の整備充実」(45.0%)が第1位となっている。

年齢別でみると、60歳代・70歳以上では「地区内の身近な生活道路の整備充実」(48.1%・52.1%)が第1位となっている。

居住地域別でみると、大和地域では「広域幹線道路の整備充実」(41.2%)が第1位となっている。[図表 46 参照]

図表 45 市内及び周辺で必要な道路、交通手段について（全体／複数回答）



図表 46 市内及び周辺で必要な道路、交通手段について
 (全体、性別、年齢別、居住地域別/複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		鉄道や路線バスの利便性向上 44.2	地区内の身近な生活道路の整備充実 42.4	市内幹線道路の整備充実 41.4
性別	女性	鉄道や路線バスの利便性向上 49.3	地区内の身近な生活道路の整備充実 41.2	市内幹線道路の整備充実 37.9
	男性	市内幹線道路の整備充実 45.0	地区内の身近な生活道路の整備充実 43.9	鉄道や路線バスの利便性向上 39.2
年齢別	10・20歳代	鉄道や路線バスの利便性向上 54.9	広域幹線道路の整備充実 47.1	市内幹線道路の整備充実 35.3
	30歳代	地区内の身近な生活道路の整備充実 43.8	鉄道や路線バスの利便性向上 37.5	市内幹線道路の整備充実 29.2
	40歳代	鉄道や路線バスの利便性向上 51.4	地区内の身近な生活道路の整備充実 37.1	広域幹線道路の整備充実 34.3
	50歳代	市内幹線道路の整備充実 52.6	鉄道や路線バスの利便性向上 48.7	地区内の身近な生活道路の整備充実 41.0
	60歳代	地区内の身近な生活道路の整備充実 48.1	市内幹線道路の整備充実 44.4	鉄道や路線バスの利便性向上 40.7
	70歳以上	地区内の身近な生活道路の整備充実 52.1	市内幹線道路の整備充実 46.6	鉄道や路線バスの利便性向上 34.2
居住地域別	塩山地域	鉄道や路線バスの利便性向上 48.9	市内幹線道路の整備充実 42.0	地区内の身近な生活道路の整備充実 40.9
	勝沼地域	地区内の身近な生活道路の整備充実 48.1	市内幹線道路の整備充実 39.8	鉄道や路線バスの利便性向上 33.3
	大和地域	広域幹線道路の整備充実 41.2	市内幹線道路の整備充実/地区内の身近な生活道路の整備充実/鉄道や路線バスの利便性向上 35.3	

9 男女共同参画について

(1) 男女共同参画社会の形成について

問21 あなたは、男女共同参画社会を形成するため、どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

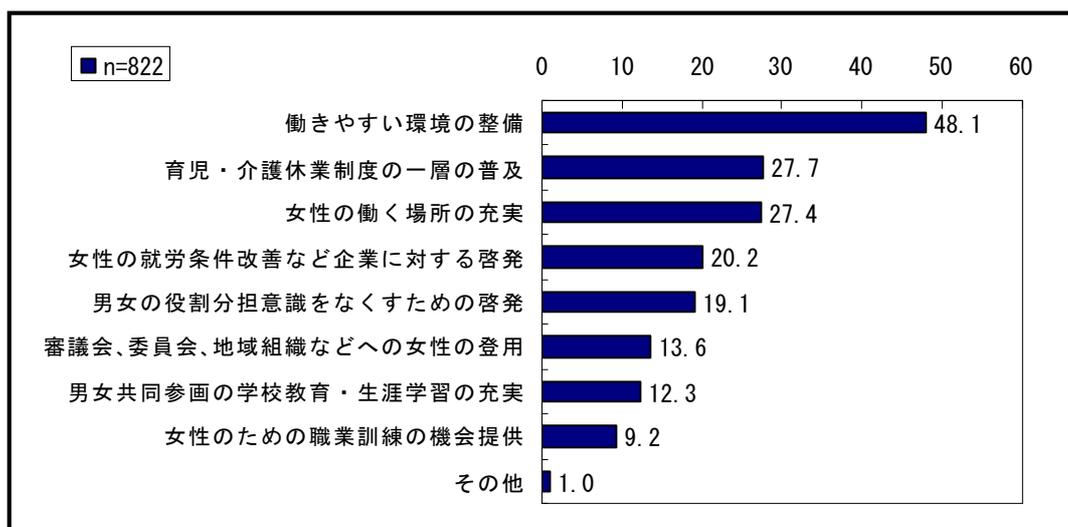
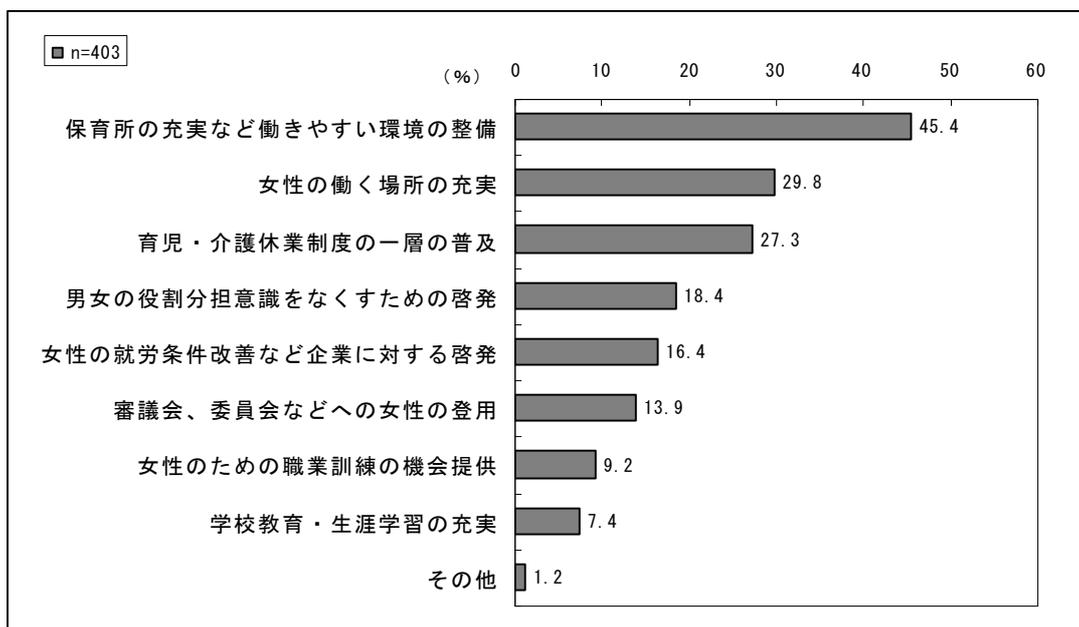
- 「保育所の充実など働きやすい環境の整備」が他を大きく引き離して第1位。次いで「女性の働く場所の充実」の順。
- 前回調査では、「働きやすい環境の整備」が他を大きく引き離して第1位。次いで「育児・介護休業制度の一層の普及」の順。

男女共同参画社会形成のために必要な取り組みについてたずねたところ、「保育所の充実など働きやすい環境の整備」(45.4%)、「女性の働く場所の充実」(29.8%)、「育児・介護休業制度の一層の普及」(27.3%)、「男女の役割分担意識をなくすための啓発」(18.4%)、「女性の就労条件改善など企業に対する啓発」(16.4%)、「審議会、委員会などへの女性の登用」(13.9%)、「女性のための職業訓練の機会提供」(9.2%)、「学校教育・生涯学習の充実」(7.4%)の順となっている。[図表 47 参照]

性別でも、男女とも「保育所の充実など働きやすい環境の整備」第1位となっている。

年齢別で見ると、30歳代・40歳代では「女性の働く場所の充実」が第1位に挙げられている。[図表 48 参照]

図表 47 男女共同参画社会の形成について（全体／複数回答）



図表 48 男女共同参画社会の形成について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		保育所の充実など働きやすい環境の整備 45.4	女性の働く場所の充実 29.8	育児・介護休業制度の一層の普及 27.3
性別	女性	保育所の充実など働きやすい環境の整備 43.1	育児・介護休業制度の一層の普及 28.9	女性の働く場所の充実 27.0
	男性	保育所の充実など働きやすい環境の整備 47.6	女性の働く場所の充実 32.8	育児・介護休業制度の一層の普及 24.9
年齢別	10・20歳代	保育所の充実など働きやすい環境の整備 54.9	育児・介護休業制度の一層の普及 37.3	女性の働く場所の充実/男女の役割分担意識をなくすための啓発 25.5
	30歳代	女性の働く場所の充実/育児・介護休業制度の一層の普及 39.6	保育所の充実など働きやすい環境の整備 37.5	育児・介護休業制度の一層の普及 30.0
	40歳代	女性の働く場所の充実/保育所の充実など働きやすい環境の整備 40.0	育児・介護休業制度の一層の普及 30.0	育児・介護休業制度の一層の普及 25.6
	50歳代	保育所の充実など働きやすい環境の整備 56.4	女性の働く場所の充実 28.2	育児・介護休業制度の一層の普及 25.6
	60歳代	保育所の充実など働きやすい環境の整備 37.0	女性の働く場所の充実 29.6	育児・介護休業制度の一層の普及 21.0
	70歳以上	保育所の充実など働きやすい環境の整備 46.6	男女の役割分担意識をなくすための啓発 21.9	女性の就労条件改善など企業に対する啓発 20.5
居住地域別	塩山地域	保育所の充実など働きやすい環境の整備 42.0	女性の働く場所の充実 31.9	育児・介護休業制度の一層の普及 29.0
	勝沼地域	保育所の充実など働きやすい環境の整備 50.9	女性の働く場所の充実/育児・介護休業制度の一層の普及 25.9	女性の働く場所の充実 17.6
	大和地域	保育所の充実など働きやすい環境の整備 58.8	女性の就労条件改善など企業に対する啓発 35.3	女性の働く場所の充実/女性のための職業訓練の機会提供 17.6

10 地域間交流について

(1) 市内外との地域間交流について

問22 あなたは、市内外との地域間交流について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

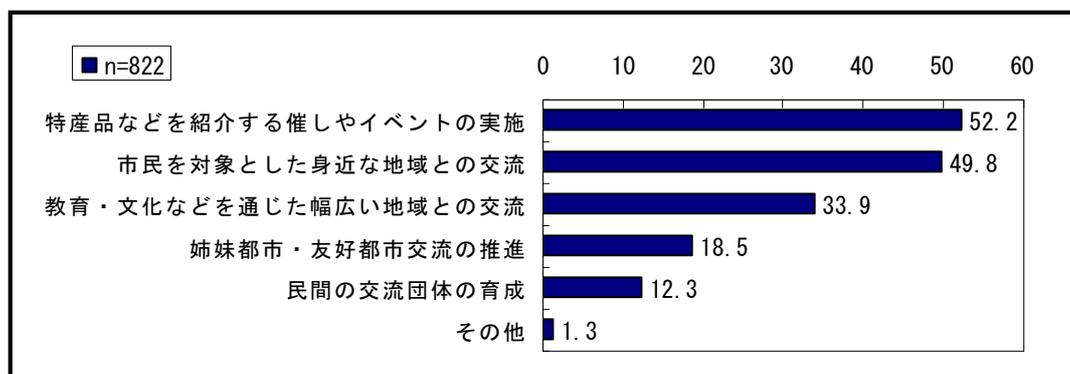
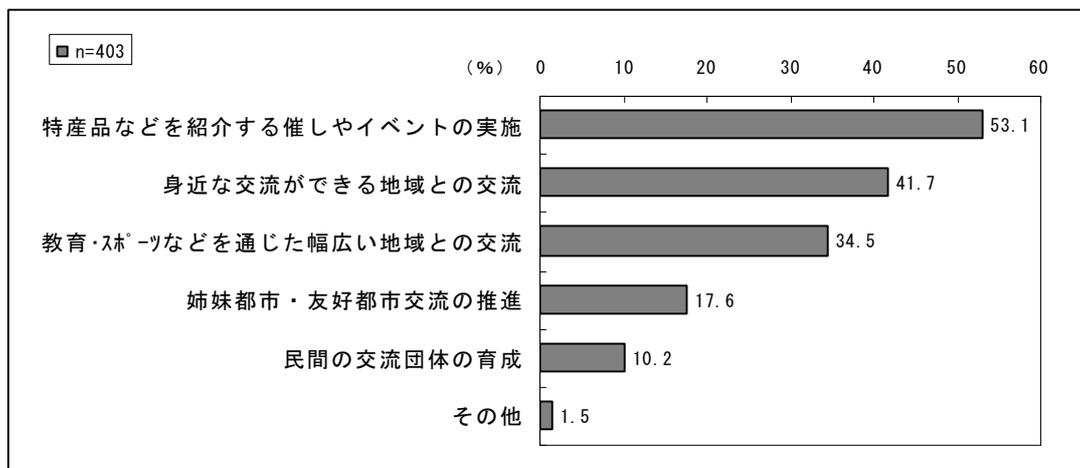
- 「特産品などを紹介する催しやイベントの実施」が他を引き離して第1位。次いで「身近な交流ができる地域との交流」の順。
- 前回調査では、「特産品などを紹介する催しやイベントの実施」及び「市民を対象とした身近な地域との交流」が上位を占める。

地域間交流活動に必要な取り組みについてたずねたところ、「特産品などを紹介する催しやイベントの実施」(53.1%)、「身近な交流ができる地域との交流」(41.7%)、「教育・スポーツなどを通じた幅広い地域との交流」(34.5%)、「姉妹都市・友好都市交流の推進」(17.6%)、「民間の交流団体の育成」(10.2%)の順となっている。[図表 49 参照]

性別でも、男女ともに「特産品などを紹介する催しやイベントの実施」(55.0%・52.1%)となっている。

年齢別で見ると、10-20歳代と40歳代では、全体で第3位の「教育・スポーツなどを通じた幅広い地域との交流」(51.0%・51.4%)が第1位となっている。[図表 50 参照]

図表 49 市内外との地域間交流について（全体／複数回答）



図表 50 市内外との地域間交流について（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 53.1	身近な交流ができる地 域との交流 41.7	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 34.5
性別	女性	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 52.1	身近な交流ができる地 域との交流 39.8	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 36.0
	男性	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 55.0	身近な交流ができる地 域との交流 43.4	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 31.7
年齢別	10・20歳代	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 51.0	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 41.2	姉妹都市・友好都市交 流の推進 35.3
	30歳代	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 45.8	身近な交流ができる地 域との交流 33.3	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 29.2
	40歳代	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 51.4	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 42.9	身近な交流ができる地 域との交流 30.0
	50歳代	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 64.1	身近な交流ができる地 域との交流 50.0	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 26.9
	60歳代	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 56.8	身近な交流ができる地 域との交流 39.5	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 24.7
	70歳以上	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 60.3	身近な交流ができる地 域との交流 57.5	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 28.8
居住地域別	塩山地域	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 54.7	身近な交流ができる地 域との交流 40.6	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 35.5
	勝沼地域	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 51.9	身近な交流ができる地 域との交流 45.4	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 29.6
	大和地域	身近な交流ができる地 域との交流 41.2	教育・スポーツなどを通じ た幅広い地域との交流 41.2	特産品などを紹介する 催しやイベントの実施 35.3

11 広聴・広報、市民参画、情報化などについて

(1) 市政への関心について

問23 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。

- “関心がある”が64.3%、一方、“関心がない”は31.5%。
- 前回調査では、“関心がある”が72.0%、一方、“関心がない”は24.9%。

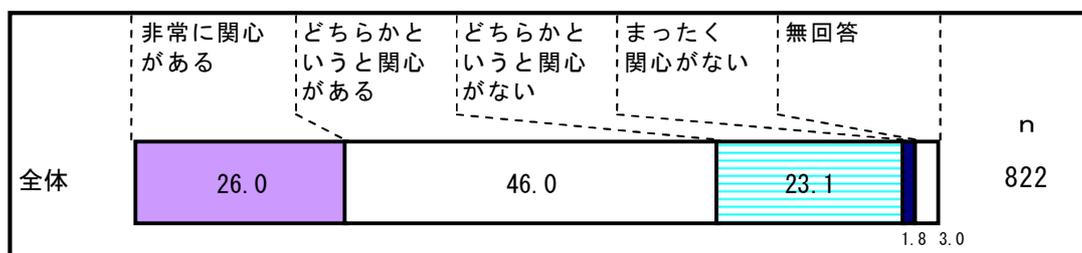
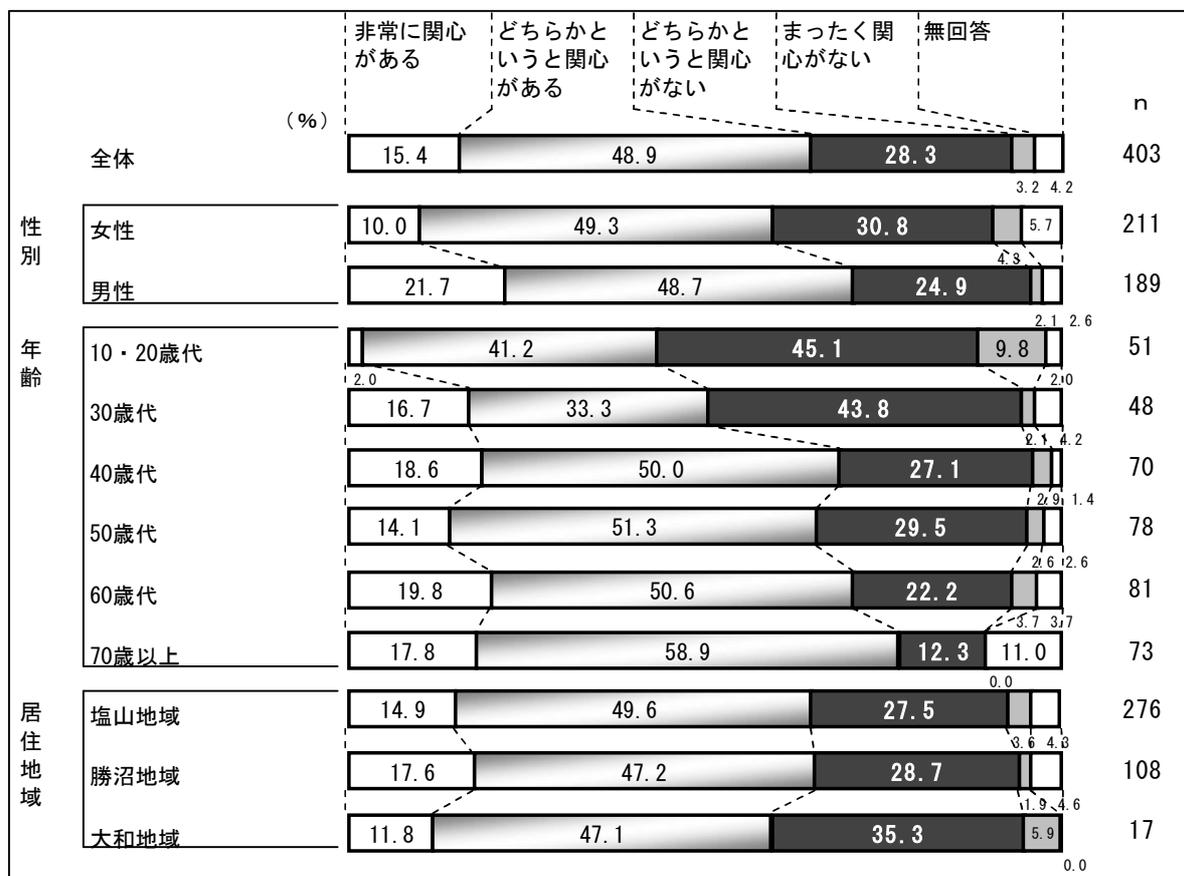
市政への関心について、「非常に関心がある」、「どちらかというに関心がある」、「どちらかというに関心がない」、「まったく関心がない」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらかというに関心がある」が48.9%、これに「非常に関心がある」(15.4%)をあわせた64.3%の人が“関心がある”という意向を示している。一方、「どちらかというに関心がない」(28.3%)及び「まったく関心がない」(3.2%)と答えた“関心がない”という人の合計は31.5%となっている。

性別で“関心がある”率をみると、男性(70.4%)が女性(59.3%)を約11ポイント上回り、特に「非常に関心がある」と回答した率では男性(21.7%)が女性(10.0%)を大きく上回るなど、女性より男性の市政への関心が強い結果となっている。

年齢別でみると、概ね加齢とともに“関心がある”率が上昇し、70歳以上で76.7%と最も高く、次いで60歳代(70.4%)、40歳代(68.6%)の順となっている。

居住地域別で“関心がある”率をみると、塩山地域で64.5%、勝沼地域で64.8%、大和地域で58.9%となっておりとなっている。[図表51参照]

図表 51 市政への関心について（全体、性別、年齢別、居住地別）



(2) 市民の声の行政への反映について

問24 あなたは、市民の声がどの程度行政に反映されていると思いますか。

- “反映されていない”が62.3%。一方、“反映されている”は30.0%。
- 前回調査では、“反映されていない”が64.1%。一方、“反映されている”は29.8%。

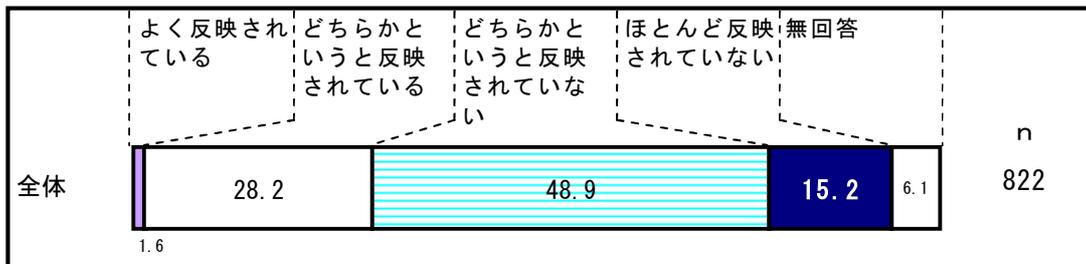
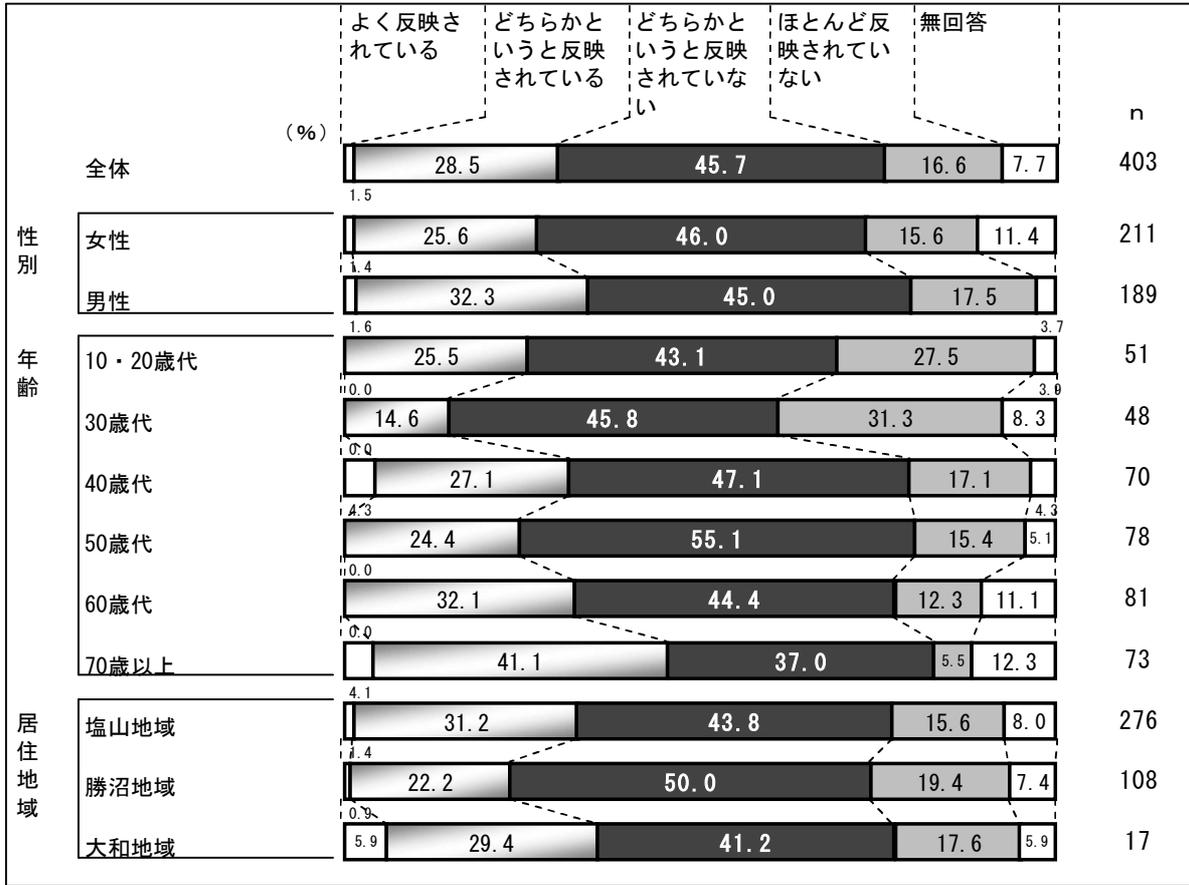
市民の声の行政への反映について、「よく反映されている」、「どちらかというと反映されている」、「どちらかというと反映されていない」、「ほとんど反映されていない」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらかというと反映されていない」(45.7%)と答えた人が最も多く、これに「ほとんど反映されていない」(16.6%)をあわせた62.3%の人が“反映されていない”と感じている。一方、「どちらかというと反映されている」(28.5%)及び「よく反映されている」(1.5%)と答えた“反映されている”と感じる人の合計は30.0%となっている。

性別で見ると、男性・女性ともに“反映されていない”(62.5%・61.6%)が“反映されている”(33.9%・27.0%)を上回り、性別での大きな差はみられなかった。

年齢別で見ると、30歳代で“反映されていない”と回答した割合が最も高く、77.1%となっている。一方、“反映されていない”と回答した割合が最も低いのは70歳以上の42.5%となっている。

居住地域別で見ても、すべての地域で“反映されていない”が“反映されている”を大きく上回る。[図表 52 参照]

図表 52 市民の声の行政への反映について（全体、性別、年齢別、居住地域別）



(3) 市政に意見を言う機会や手段についての満足度

問25 あなたは、市政に意見を言う機会や手段について満足していますか。

- “不満である”が61.3%。一方、“満足している”は29.8%。
- 前回調査では、“不満である”が62.2%。一方、“満足している”は29.1%。

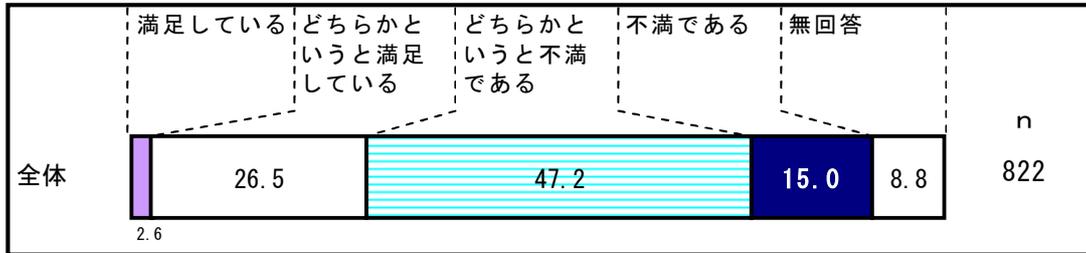
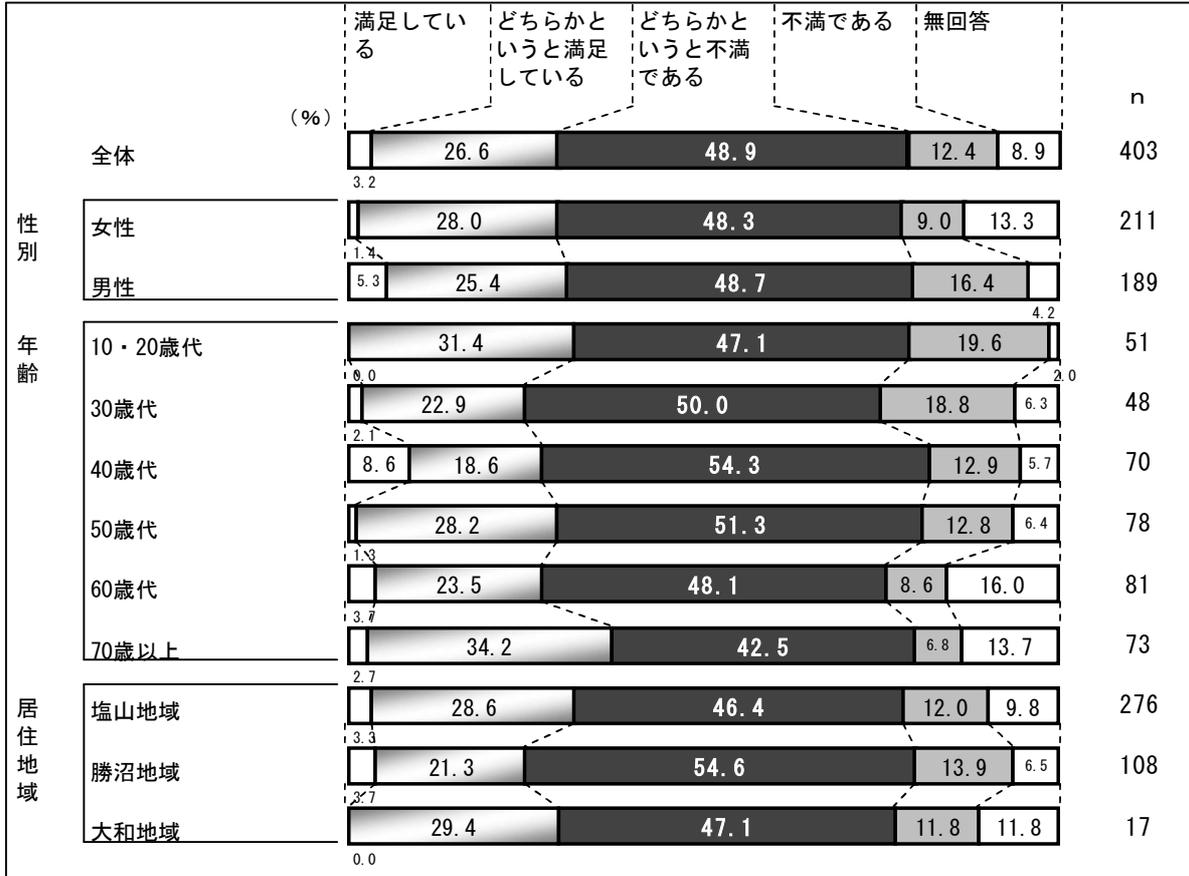
市政に意見を言う機会や手段についての満足度について、「満足している」、「どちらかという満足している」、「どちらかという不満である」、「不満である」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらかという不満である」(48.9%)と答えた人が最も多く、これに「不満である」(12.4%)をあわせた61.3%の人が“不満である”と感じている。一方、「どちらかという満足している」(26.6%)及び「満足している」(3.2%)と答えた“満足している”という人の合計は29.8%となっている。

性別でも、男性・女性ともに“不満である”(65.1%・57.3%)が“満足している”(30.7%・29.4%)を上回り、男性の不満を感じる率が女性を約8ポイント上回る。

年齢別で見ると、概ね年齢が下がるにつれて“不満である”と回答する率が上昇し、最も高い30歳代では68.8%にのぼり、すべての年代で“不満である”が“満足している”を上回る。

居住地域別でも、すべての地域で“不満である”が“満足している”を大きく上回っている。[図表 53 参照]

図表 53 市政に意見を言う機会や手段についての満足度（全体、性別、年齢別、居住地域別）



(4) 地域活動やボランティア活動について

問26 あなたは、自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力・技術などを無償で提供する地域活動やボランティア活動などに、現在参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。



- “参加したい”が52.6%。一方、“参加したくない”は40.4%。
- 前回調査では、“参加したい”が57.8%。一方、“参加したくない”は36.3%。

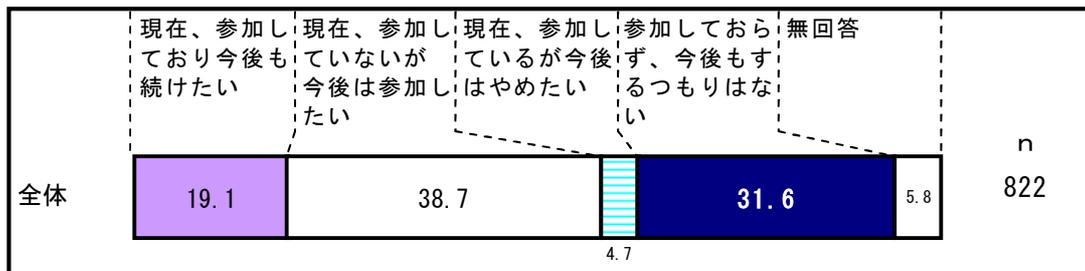
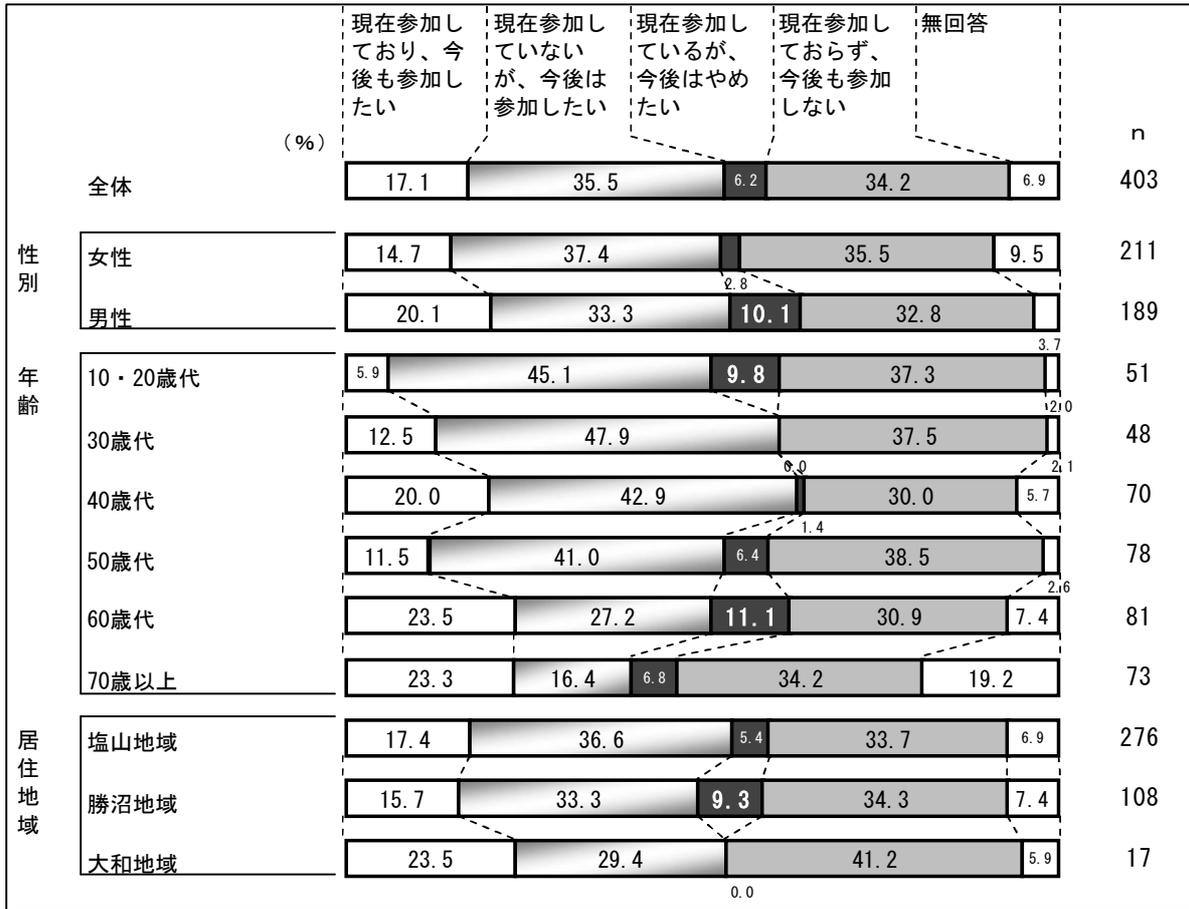
地域活動やボランティア活動への参加意向をたずねたところ、「現在、参加していないが今後は参加したい」が35.5%で最も多く、次いで「現在参加しておらず、今後も参加しない」(34.2%)、「現在参加しており、今後も参加したい」(17.1%)、「現在参加しているが、今後はやめたい」(6.2%)の順となっている。

これを“参加したい”(「現在、参加しており今後も続けたい」及び「現在、参加していないが今後は参加したい」の合計)と“参加したくない”(「現在、参加しているが今後はやめたい」及び「参加しておらず、今後もするつもりはない」の合計)でみると、“参加したい”は52.6%、“参加したくない”は40.4%となっている。性別でみると、男性・女性ともに“参加したい”(53.4%・52.1%)が“参加したくない”(42.9%・38.3%)を上回っている。

年齢別で“参加したい”率をみると、40歳代で62.9%と最も高く、次いで30歳代(60.4%)、50歳代(52.5%)、10-20歳代(51.0%)、60歳代(50.7%)、70歳以上(39.7%)の順となっており、70歳以上を除くすべての世代で“参加したい”が“参加したくない”を上回る。

居住地域別でみると、すべての地域で“参加したい”が“参加したくない”を上回っている。[図表 54 参照]

図表 54 地域活動やボランティア活動について（全体、性別、年齢別、居住地域別）



(5) 参加したい地域活動

問26付問 あなたは、今どのような地域活動に参加していますか。または参加したいと思いますか。【“参加したい”と回答した人のみ／複数回答】



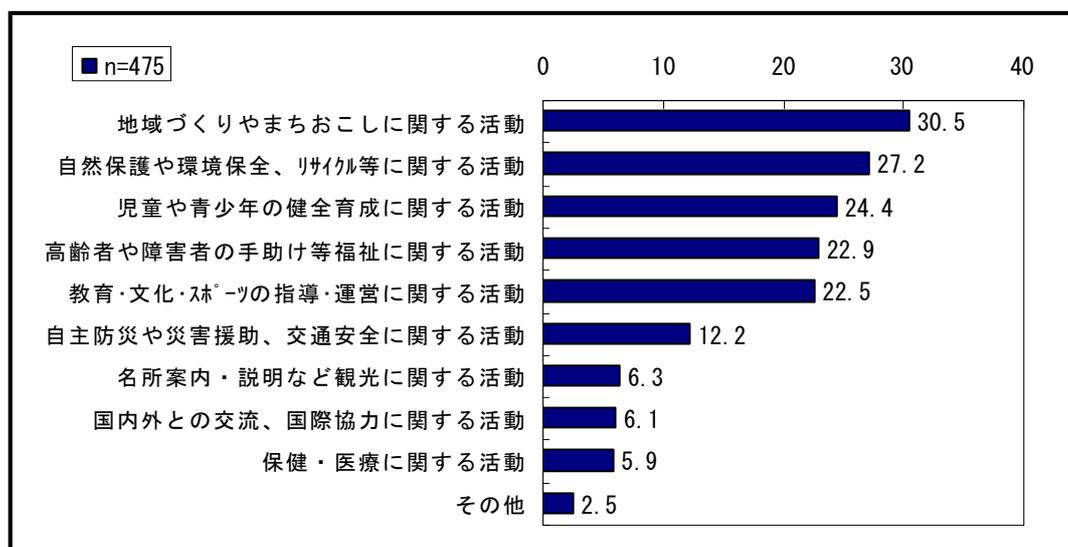
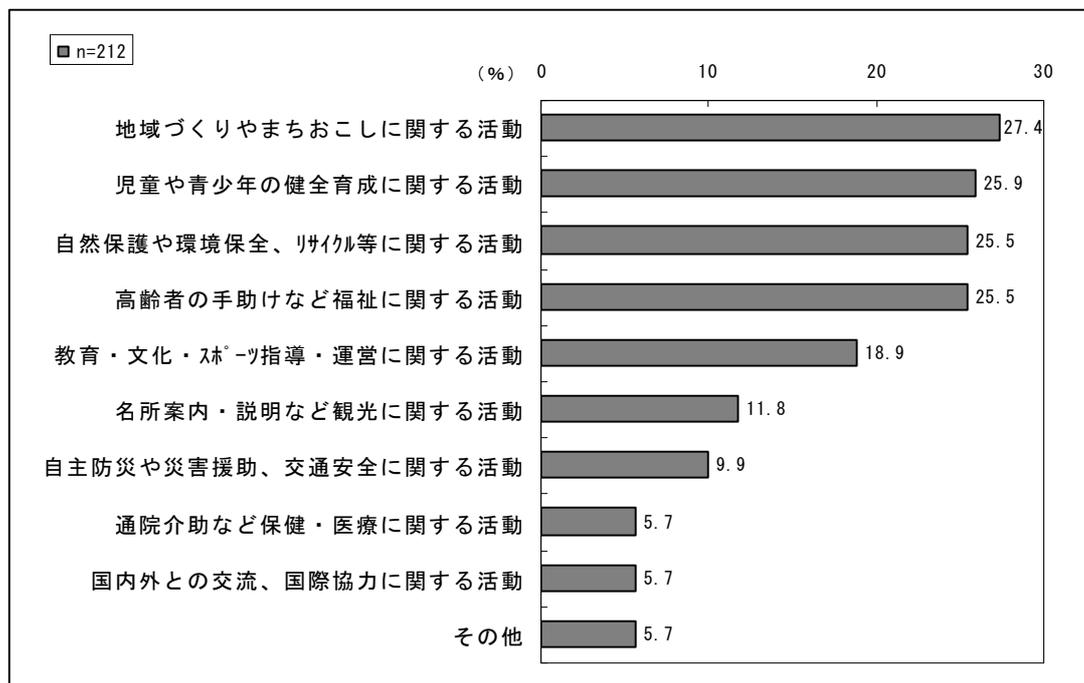
- 「地域づくりやまちおこしに関する活動」が第1位。次いで「児童や青少年の健全育成に関する活動」の順。
- 前回調査では、「地域づくりやまちおこしに関する活動」が第1位。次いで「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」、「児童や青少年の健全育成に関する活動」の順。

問26でボランティア活動に“参加したい”と回答した人（全体の52.6%・212人）に、どのような地域活動に参加したいかをたずねたところ、「地域づくりやまちおこしに関する活動」（27.4%）が第1位に挙げられ、次いで「児童や青少年の健全育成に関する活動」（25.9%）、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」、「高齢者の手助けなど福祉に関する活動」（ともに25.5%）、「教育・文化・スポーツ指導・運営に関する活動」（18.9%）、「名所案内・説明など観光に関する活動」（11.8%）、「自主防災や災害援助、交通安全に関する活動」（9.9%）、「通院介助など保健・医療に関する活動」（5.7%）、「国内外との交流、国際協力に関する活動」（5.7%）の順となっている。[図表55参照]

性別でみると、男性では「地域づくりやまちおこしに関する活動」（30.7%）、女性では「児童や青少年の健全育成に関する活動」（35.5%）が第1位となっている。

年齢別でみると、10-20歳代と50歳代では「高齢者の手助けなど福祉に関する活動」が第1位となっており、60歳代では「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」が第1位となっている。[図表56参照]

図表 55 参加したい地域活動（“参加したい”と回答した人のみ・全体／複数回答）



図表 56 参加したい地域活動

(“参加したい”と回答した人のみ・全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		地域づくりやまちおこしに関する活動 27.4	児童や青少年の健全育成に関する活動 25.9	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動/高齢者の手助けなど福祉に関する活動 25.5
性別	女性	児童や青少年の健全育成に関する活動 35.5	高齢者の手助けなど福祉に関する活動 31.8	地域づくりやまちおこしに関する活動 24.5
	男性	地域づくりやまちおこしに関する活動 30.7	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 27.7	教育・文化・スポーツ指導・運営に関する活動 22.8
年齢別	10・20歳代	高齢者の手助けなど福祉に関する活動 38.5	児童や青少年の健全育成に関する活動 34.6	教育・文化・スポーツ指導・運営に関する活動 30.8
	30歳代	地域づくりやまちおこしに関する活動 31.0	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動/児童や青少年の健全育成に関する活動 24.1	
	40歳代	地域づくりやまちおこしに関する活動 29.5	教育・文化・スポーツ指導・運営に関する活動 27.3	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 22.7
	50歳代	児童や青少年の健全育成に関する活動/高齢者の手助けなど福祉に関する活動 31.7		地域づくりやまちおこしに関する活動 22.0
	60歳代	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 36.6	地域づくりやまちおこしに関する活動 34.1	児童や青少年の健全育成に関する活動 29.3
	70歳以上	地域づくりやまちおこしに関する活動 34.5	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動/高齢者の手助けなど福祉に関する活動 31.0	
居住地域別	塩山地域	地域づくりやまちおこしに関する活動 29.5	児童や青少年の健全育成に関する活動 28.2	高齢者の手助けなど福祉に関する活動 26.8
	勝沼地域	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動/高齢者の手助けなど福祉に関する活動/地域づくりやまちおこしに関する活動 26.4		
	大和地域	自主防災や災害援助、交通安全に関する活動 55.6	教育・文化・スポーツ指導・運営に関する活動 33.3	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動/児童や青少年の健全育成に関する活動 22.2

(6) 情報化社会への対応について

問27 あなたは、情報化が進む社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

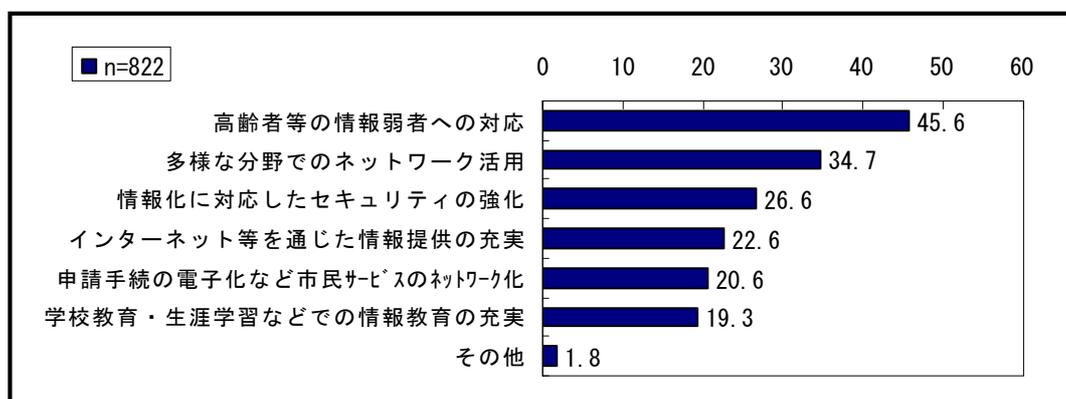
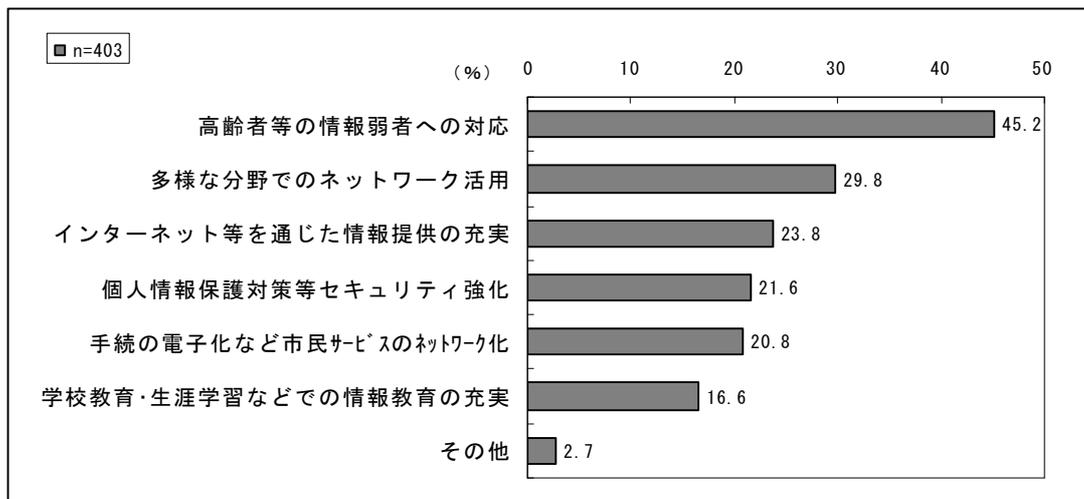
- 「高齢者等の情報弱者への対応」が他を大きく引き離して第1位。
- 前回調査では、「高齢者等の情報弱者への対応」が第1位。次いで「多様な分野でのネットワーク活用」、「情報化に対応したセキュリティの強化」の順。

高度情報化社会に対応するために必要な取り組みについてたずねたところ、「高齢者等の情報弱者への対応」(45.2%)が第1位となっている。次いで「多様な分野でのネットワーク活用」(29.8%)、「インターネット等を通じた情報提供の充実」(23.8%)、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」(21.6%)、「手続の電子化など市民サービスのネットワーク化」(20.8%)、「学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実」(16.6%)の順となっている。[図表 57 参照]

性別で見ると、男性・女性ともに「高齢者等の情報弱者への対応」(41.8%・48.8%)が第1位となっている。

年齢別で見ると、ほとんどの世代で「高齢者等の情報弱者への対応」が第1位となっているが、30歳代では「インターネット等を通じた情報提供の充実」と「多様な分野でのネットワーク活用」が同率で第1位となっている。[図表 58 参照]

図表 57 情報化社会への対応について（全体／複数回答）



図表 58 情報化社会への対応について（全体、性別、年齢別、居住地別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢者等の情報弱者への対応 45.2	多様な分野でのネットワーク活用 29.8	インターネット等を通じた情報提供の充実 23.8
性別	女性	高齢者等の情報弱者への対応 48.8	多様な分野でのネットワーク活用 32.7	個人情報保護対策等セキュリティ強化 21.3
	男性	高齢者等の情報弱者への対応 41.8	インターネット等を通じた情報提供の充実 27.5	多様な分野でのネットワーク活用 26.5
年齢別	10・20歳代	高齢者等の情報弱者への対応 49.0	インターネット等を通じた情報提供の充実 35.3	手続の電子化など市民サービスのネットワーク化 27.5
	30歳代	インターネット等を通じた情報提供の充実/ 多様な分野でのネットワーク活用 31.3		手続の電子化など市民サービスのネットワーク化/ 個人情報保護対策等セキュリティ強化/ 高齢者等の情報弱者への対応 27.1
	40歳代	高齢者等の情報弱者への対応 42.9	多様な分野でのネットワーク活用 34.3	個人情報保護対策等セキュリティ強化 25.7
	50歳代	高齢者等の情報弱者への対応 43.6	インターネット等を通じた情報提供の充実 30.8	手続の電子化など市民サービスのネットワーク化 29.5
	60歳代	高齢者等の情報弱者への対応 49.4	多様な分野でのネットワーク活用 28.4	個人情報保護対策等セキュリティ強化 23.5
	70歳以上	高齢者等の情報弱者への対応 53.4	多様な分野でのネットワーク活用 30.1	学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実 16.4
居住地別	塩山地域	高齢者等の情報弱者への対応 46.4	多様な分野でのネットワーク活用 30.8	インターネット等を通じた情報提供の充実 23.9
	勝沼地域	高齢者等の情報弱者への対応 44.4	個人情報保護対策等セキュリティ強化 29.6	多様な分野でのネットワーク活用 25.0
	大和地域	多様な分野でのネットワーク活用 41.2	高齢者等の情報弱者への対応 29.4	インターネット等を通じた情報提供の充実 23.5

12 これからのまちづくりについて

(1) 今後のまちづくりについて

問28 あなたは今後のまちづくりについて、甲州市をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】



- 「安心して子育てができるまち」が第1位。次いで「保健・福祉・医療の充実したまち」、「犯罪がなく災害に強い安全なまち」の順。
- 前回調査では、「安心して子育てができるまち」が第1位。次いで「保健・福祉・医療の充実したまち」、「犯罪がなく災害に強い安全なまち」の順。

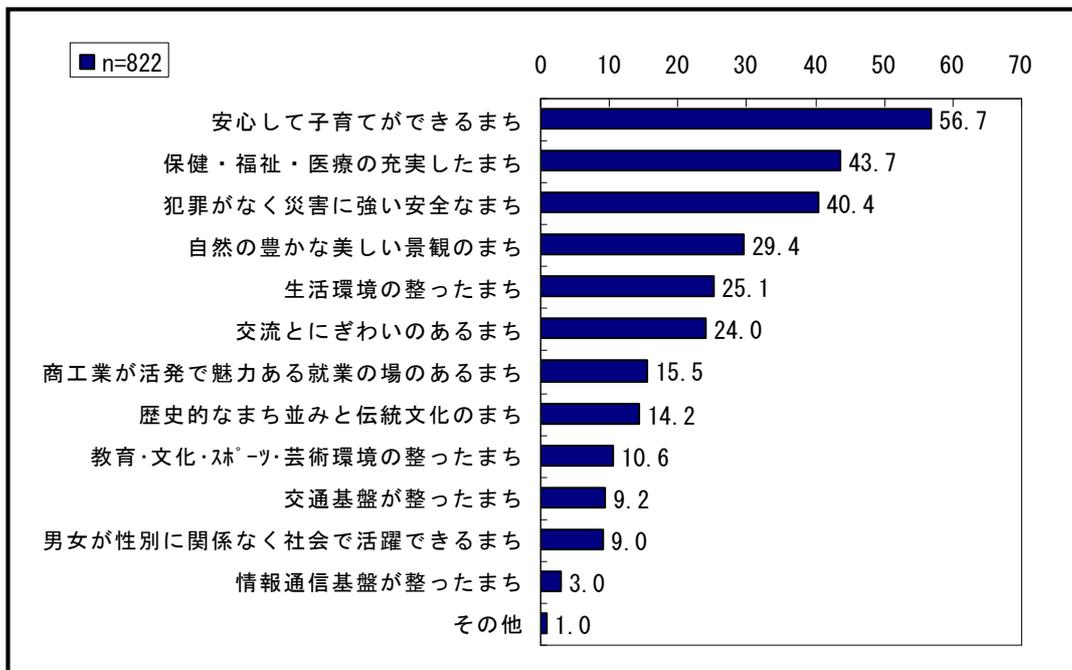
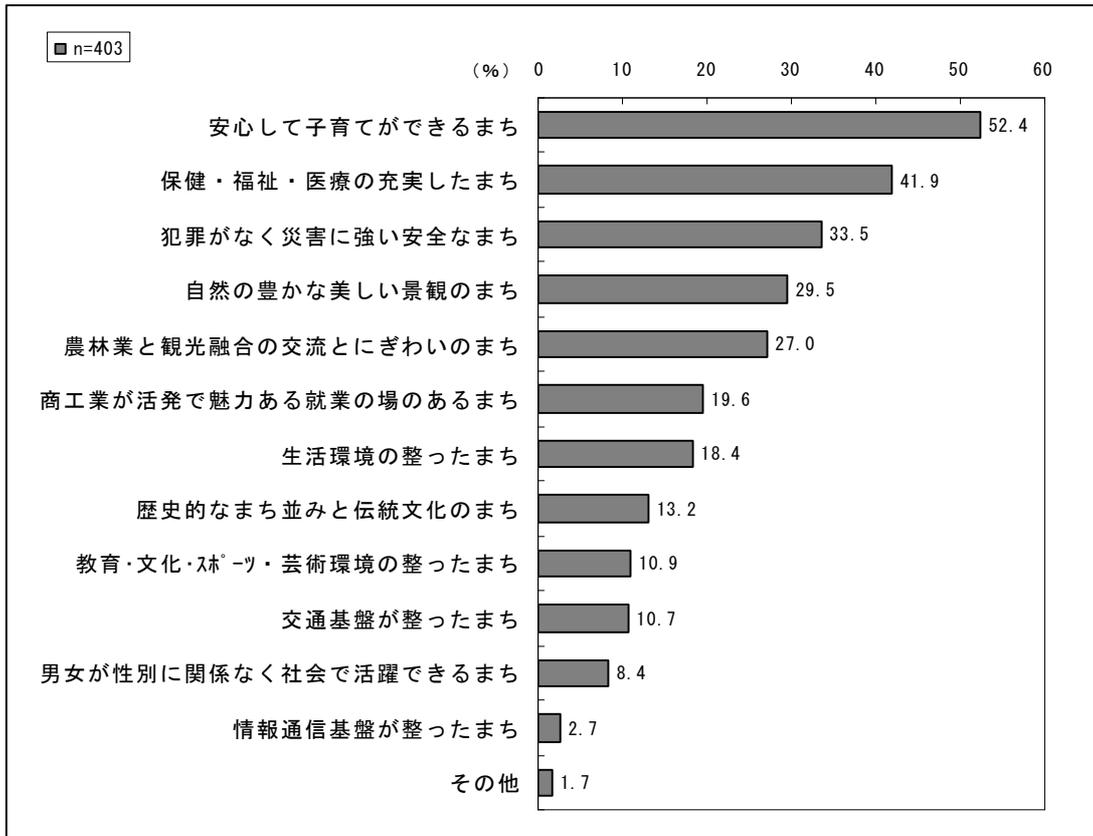
今後のまちづくりでめざすべき特色をたずねたところ、「安心して子育てができるまち」(52.4%)が第1位に挙げられ、次いで「保健・福祉・医療の充実したまち」(41.9%)、「犯罪がなく災害に強い安全なまち」(33.5%)、「自然の豊かな美しい景観のまち」(29.5%)、「農林業と観光融合の交流とにぎわいのまち」(27.0%)、「商工業が活発で魅力ある就業の場のあるまち」(19.6%)、「生活環境の整ったまち」(18.4%)、「歴史的なまち並みと伝統文化のまち」(13.2%)、「教育・文化・スポーツ・芸術環境の整ったまち」(10.9%)、「交通基盤が整ったまち」(10.7%)、「男女が性別に関係なく社会で活躍できるまち」(8.4%)、「情報通信基盤が整ったまち」(2.7%)の順となっている。[図表 59 参照]

性別で見ると、男性・女性ともに「安心して子育てができるまち」(48.7%・55.9%)が第1位となっている。

年齢別で第1位回答をみると、すべての世代で「安心して子育てができるまち」が第1位となっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「安心して子育てができるまち」が第1位となっている。[図表 60 参照]

図表 59 今後のまちづくりについて（全体／複数回答）



図表 60 今後のまちづくりについて（全体、性別、年齢別、居住地域別／複数回答）

（上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		安心して子育てができるまち 52.4	保健・福祉・医療の充実したまち 41.9	犯罪がなく災害に強い安全なまち 33.5
性別	女性	安心して子育てができるまち 55.9	保健・福祉・医療の充実したまち 47.9	犯罪がなく災害に強い安全なまち 38.4
	男性	安心して子育てができるまち 48.7	保健・福祉・医療の充実したまち 36.0	自然の豊かな美しい景観のまち 32.8
年齢別	10・20歳代	安心して子育てができるまち 47.1	保健・福祉・医療の充実したまち 41.2	自然の豊かな美しい景観のまち 35.3
	30歳代	安心して子育てができるまち 62.5	保健・福祉・医療の充実したまち/犯罪がなく災害に強い安全なまち	39.6
	40歳代	安心して子育てができるまち 54.3	保健・福祉・医療の充実したまち 40.0	犯罪がなく災害に強い安全なまち 35.7
	50歳代	安心して子育てができるまち 50.0	保健・福祉・医療の充実したまち 47.4	農林業と観光融合の交流とにぎわいのまち 32.1
	60歳代	安心して子育てができるまち 49.4	犯罪がなく災害に強い安全なまち 40.7	自然の豊かな美しい景観のまち 39.5
	70歳以上	安心して子育てができるまち 52.1	保健・福祉・医療の充実したまち 50.7	犯罪がなく災害に強い安全なまち 34.2
居住地域別	塩山地域	安心して子育てができるまち 52.5	保健・福祉・医療の充実したまち 43.1	犯罪がなく災害に強い安全なまち 34.1
	勝沼地域	安心して子育てができるまち 50.9	保健・福祉・医療の充実したまち/自然の豊かな美しい景観のまち	38.9
	大和地域	安心して子育てができるまち 52.9	自然の豊かな美しい景観のまち 47.1	保健・福祉・医療の充実したまち 41.2

13 日頃の行動等について

(1) 日頃の行動について

問29 あなたの日頃の行動等についておたずねします。下記の(1)～(8)の項目ごとにそれぞれあてはまる番号1つに○印をつけてください。

①健康に心がけている

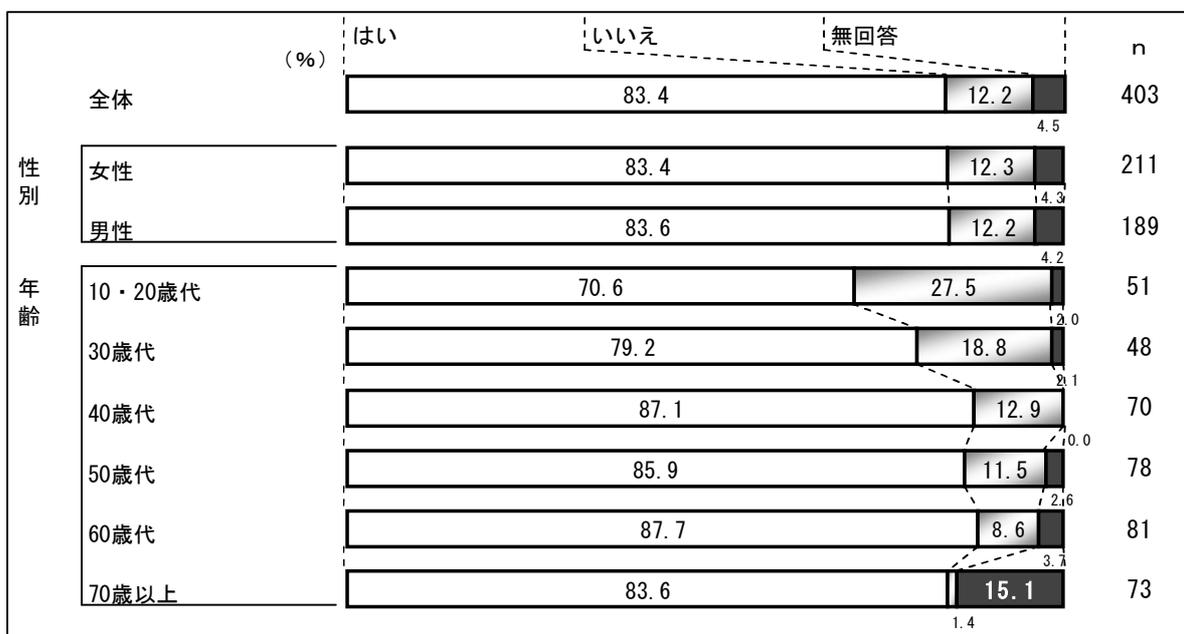
- 普段から健康を心がけている人が83.4%。
- 前回調査では、普段から健康を心がけている人が83.9%。

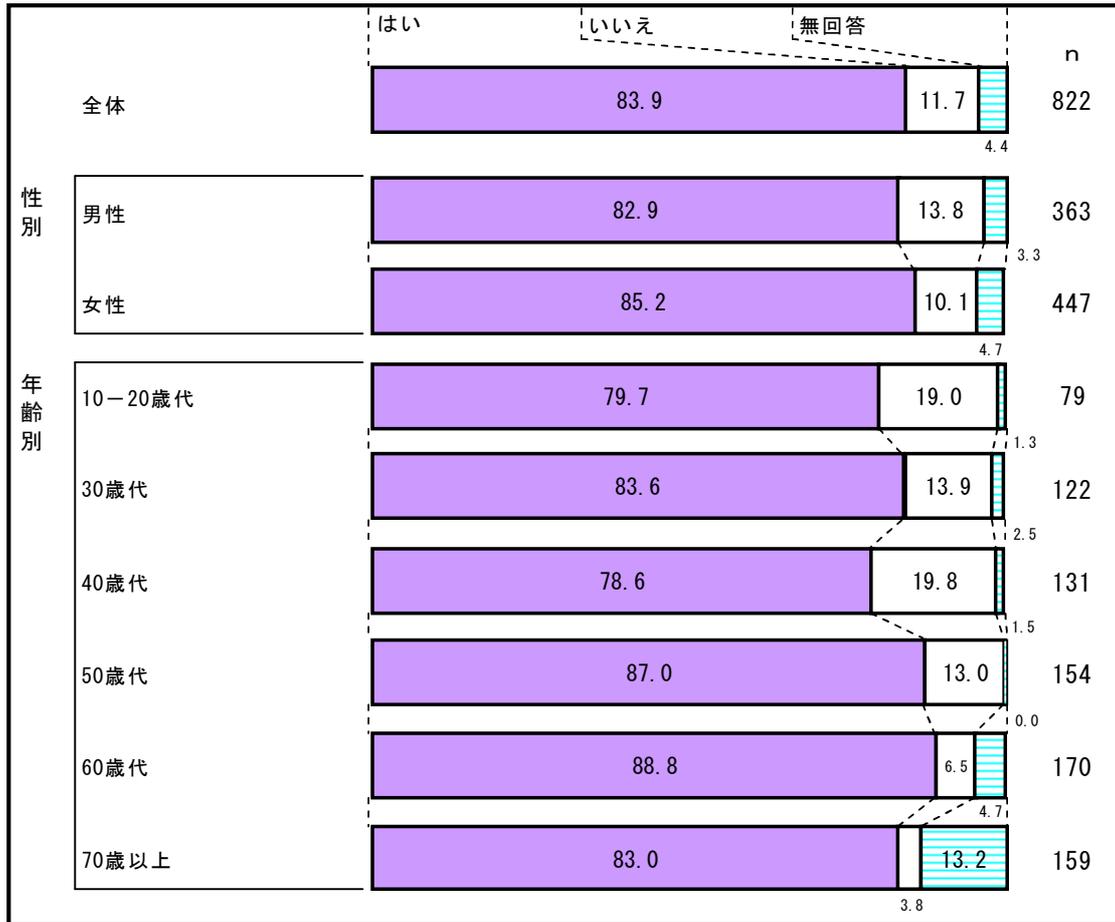
「普段から健康に心がけていますか」とたずねたところ、「はい」(83.4%)、「いいえ」(12.2%)となっている。

性別で見ると、男性・女性ともに「はい」という回答が8割を超える。

年齢別で見ると、「はい」という回答が最も多い60歳代では87.7%に達し、最も少ない10-20歳代でも70.6%にのぼり、総体的に健康に心がけている市民が多い結果となっている。[図表61参照]

図表61 健康に心がけている(全体、性別、年齢別)





②定期的に健康診査の受診をしている

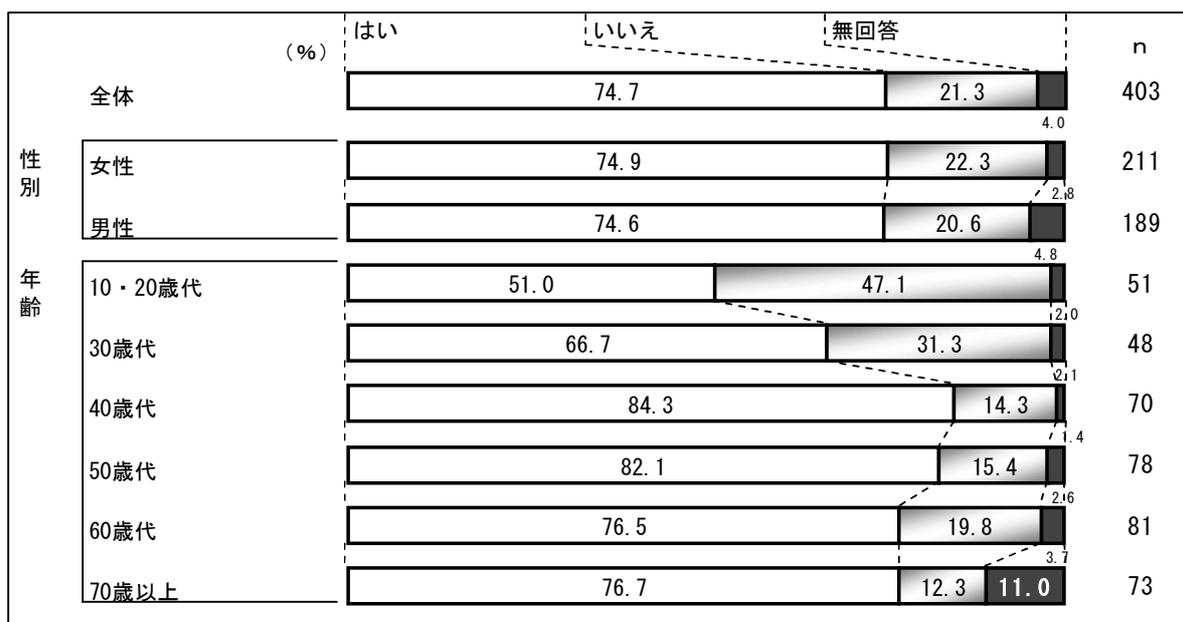
- 定期的に健康診査を受診している人は74.7%。
- 前回調査では、定期的に健康診査を受診している人は73.4%。

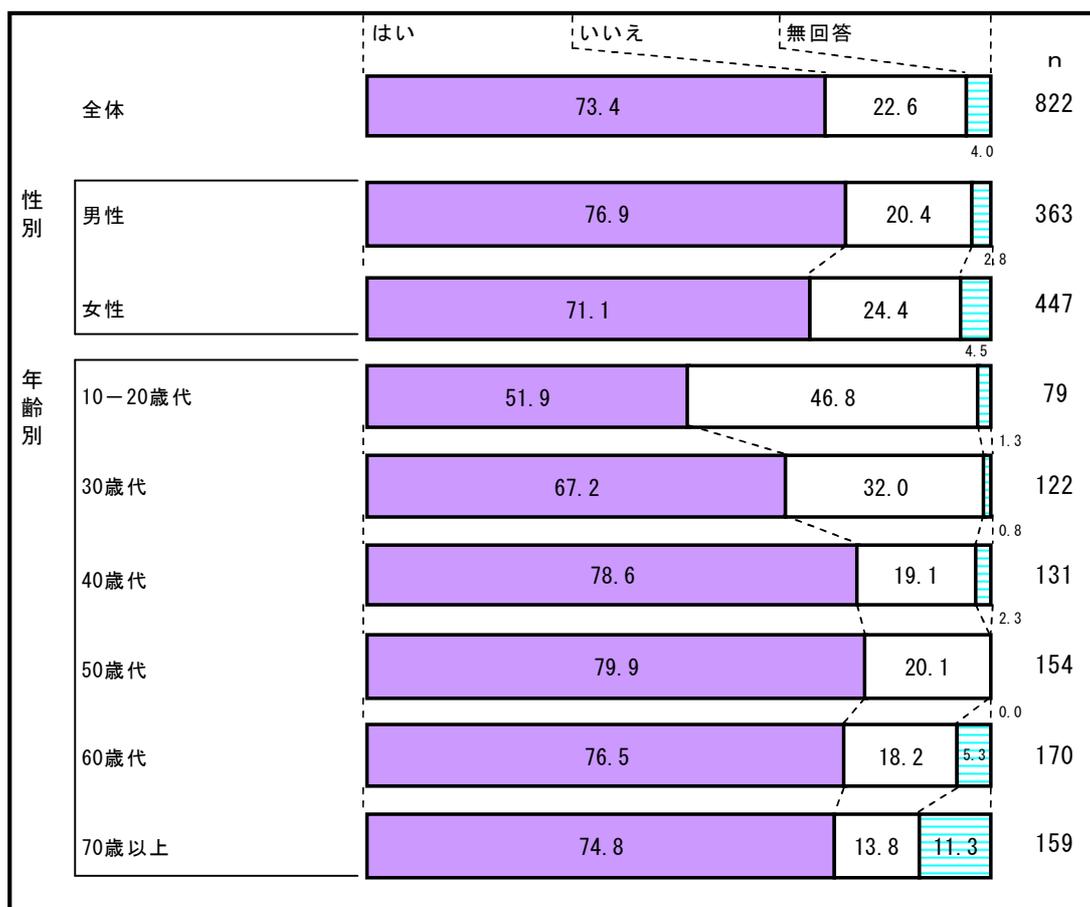
「定期的に健康診査を受診していますか」とたずねたところ、「はい」(74.7%)、「いいえ」(21.3%)となっている。

性別で見ると、男性(74.6%)と女性(74.9%)で大きな差はみられなかった。

年齢別で見ると、世代により大きな差がみられ、40歳代・50歳代で8割を超えている(84.3%・82.1%)のに対して、10-20歳代では51.0%にとどまる結果となっている。[図表 62 参照]

図表 62 定期的に健康診査の受診をしている（全体、性別、年齢別）





③日常生活でインターネットを活用している

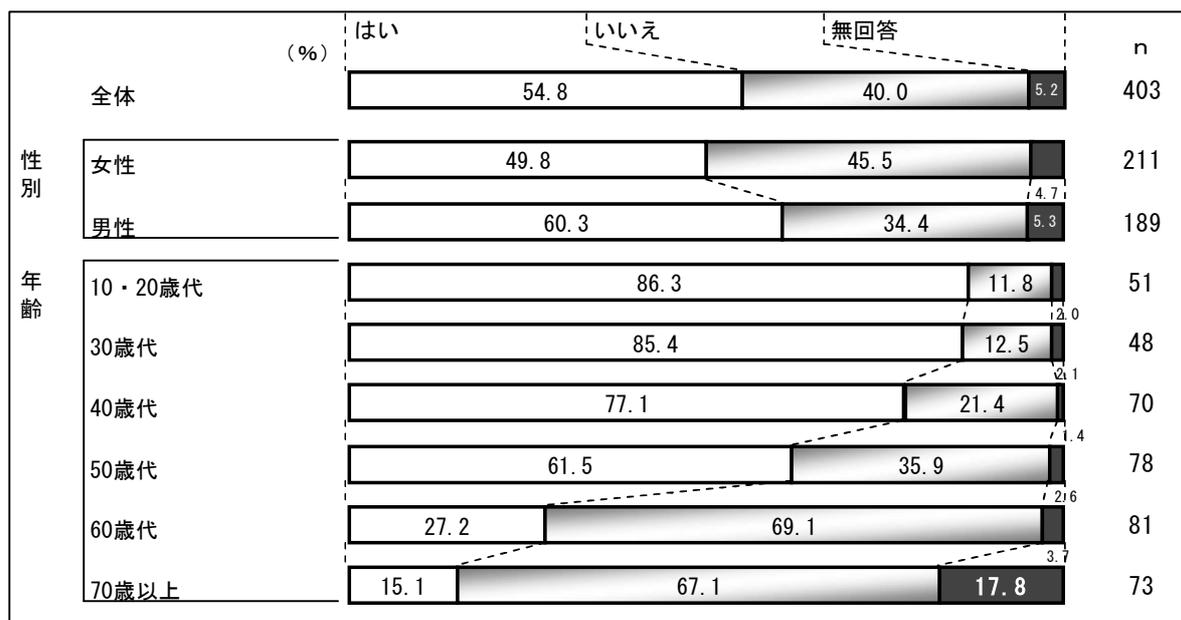
- 日常生活でインターネットを活用している人は 54.8%。
- 前回調査では、日常生活でインターネットを活用している人は 36.9%。

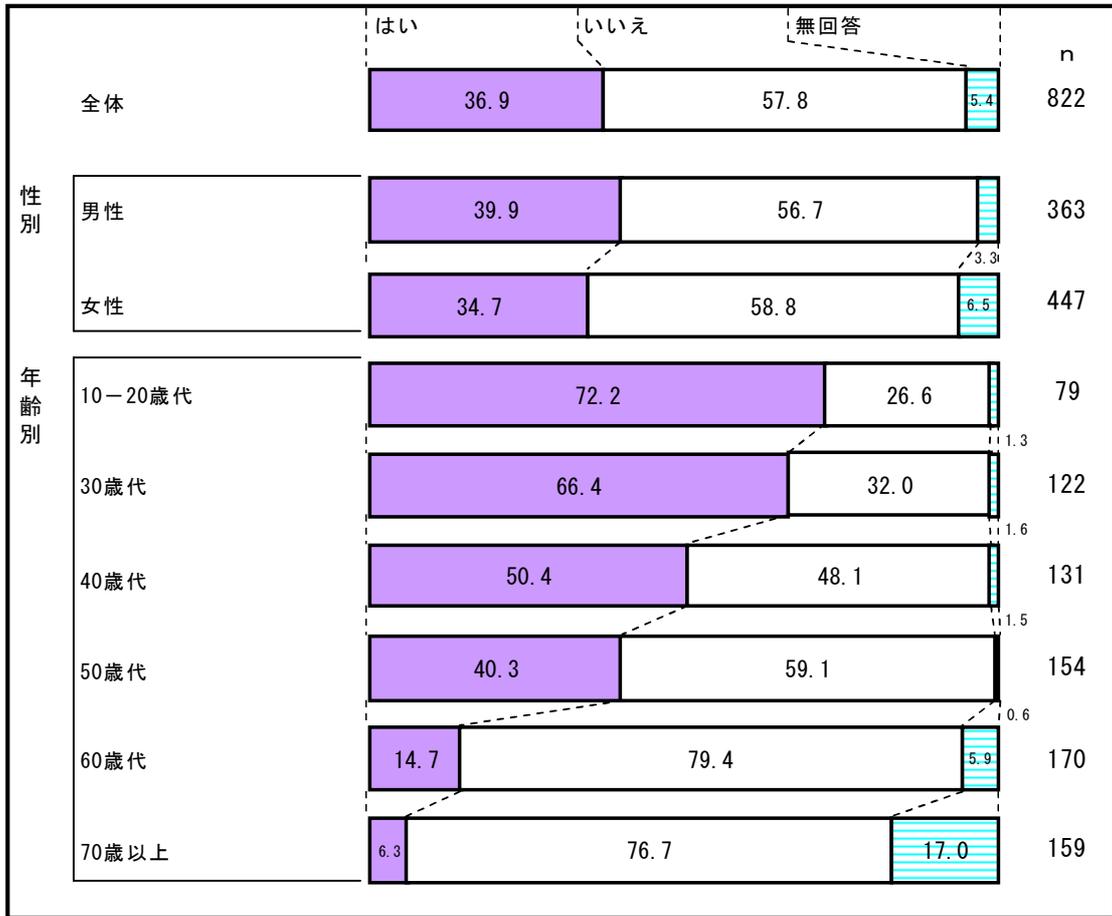
「日常生活でインターネットを活用していますか」とたずねたところ、「はい」(54.8%)、「いいえ」(40.0%)となっている。

性別で見ると、「はい」と回答した人は男性(60.3%)が女性(49.8%)を上回る。

年齢別で見ると、世代により大きな差がみられ、概ね年齢が若いほど「はい」と回答する率が上昇し、10-20歳代では86.3%の人がインターネットを日常的に使用していると回答しており、60歳を境に「いいえ」と回答する人が「はい」と回答する人を上回る。[図表 63 参照]

図表 63 日常生活でインターネットを活用している（全体、性別、年齢別）





④市のホームページを見たことがある

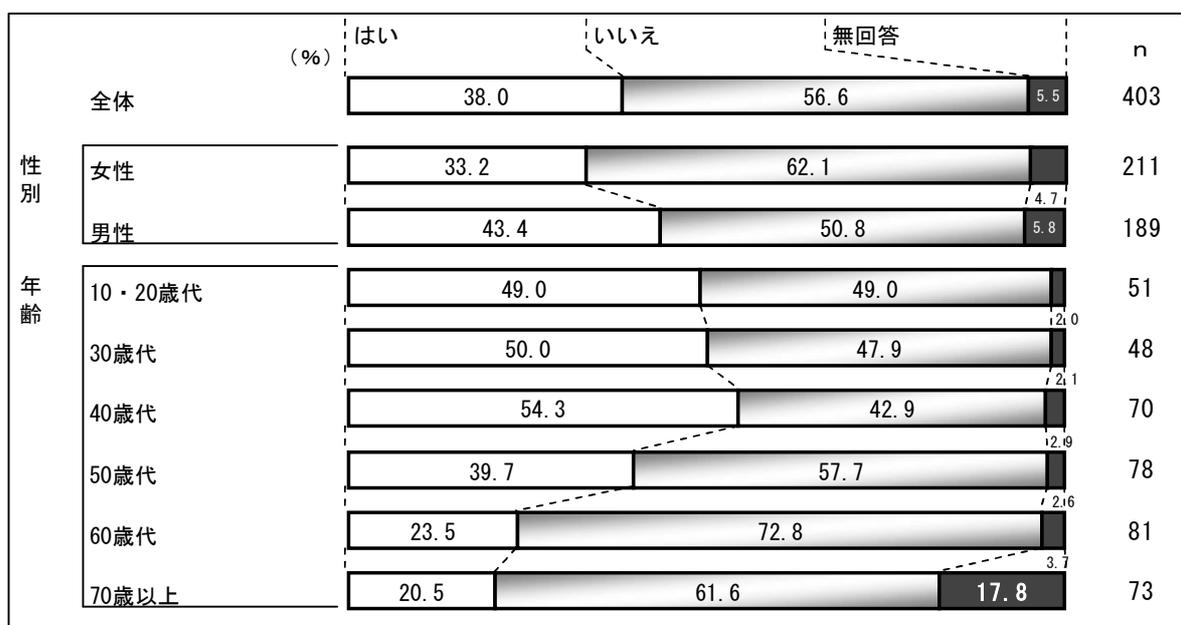
- 市のホームページを見たことがある人は 38.0%。
- 前回調査では、市のホームページを見たことがある人は 26.4%。

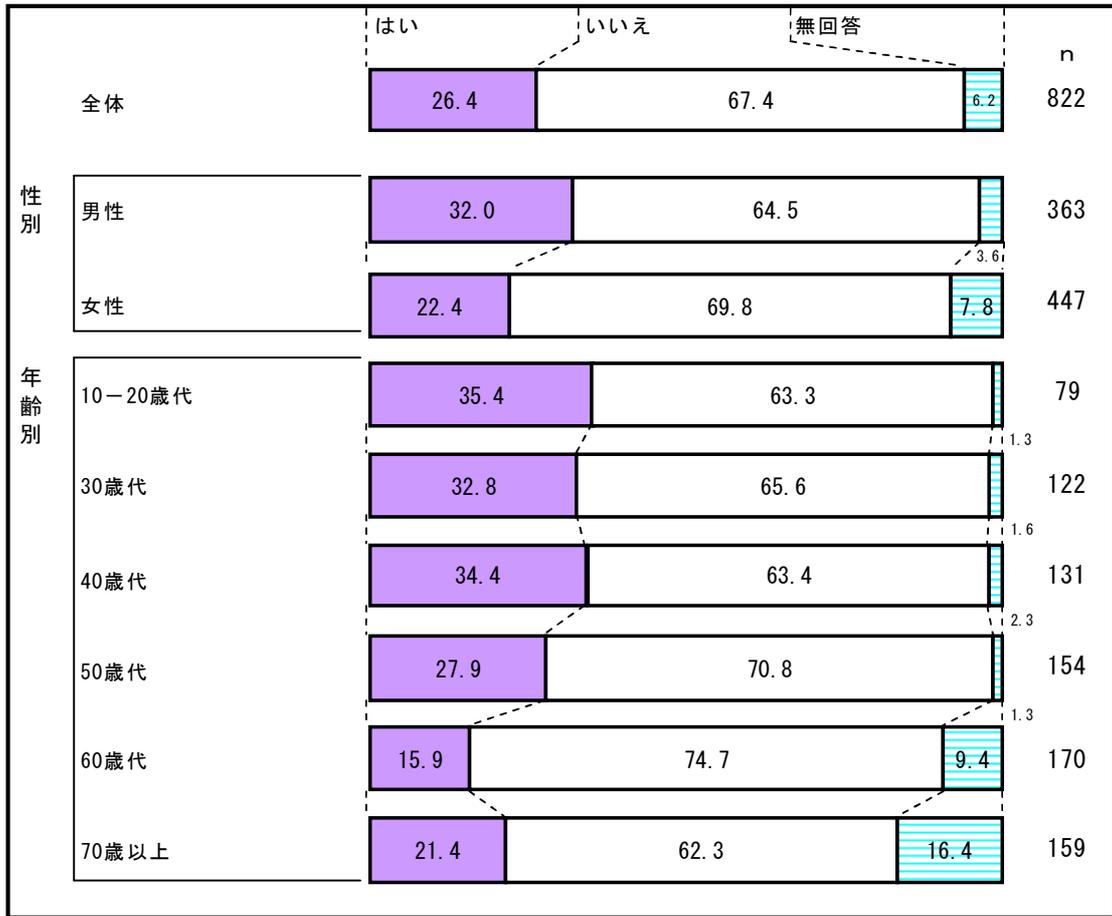
「市のホームページを見たことがありますか」とたずねたところ、「いいえ」が約半数の 56.6%、「はい」と回答した割合は 38.0%となっている。

性別で見ると、「はい」と回答した人は男性(43.4%)が女性(33.2%)を上回る。

年齢別で見ると、若い年齢層ほど「はい」と回答する率が多く、10-20歳代~40歳代では5割前後で推移しているが、50歳を超えると減少する。[図表 64 参照]

図表 64 市のホームページを見たことがある（全体、性別、年齢別）





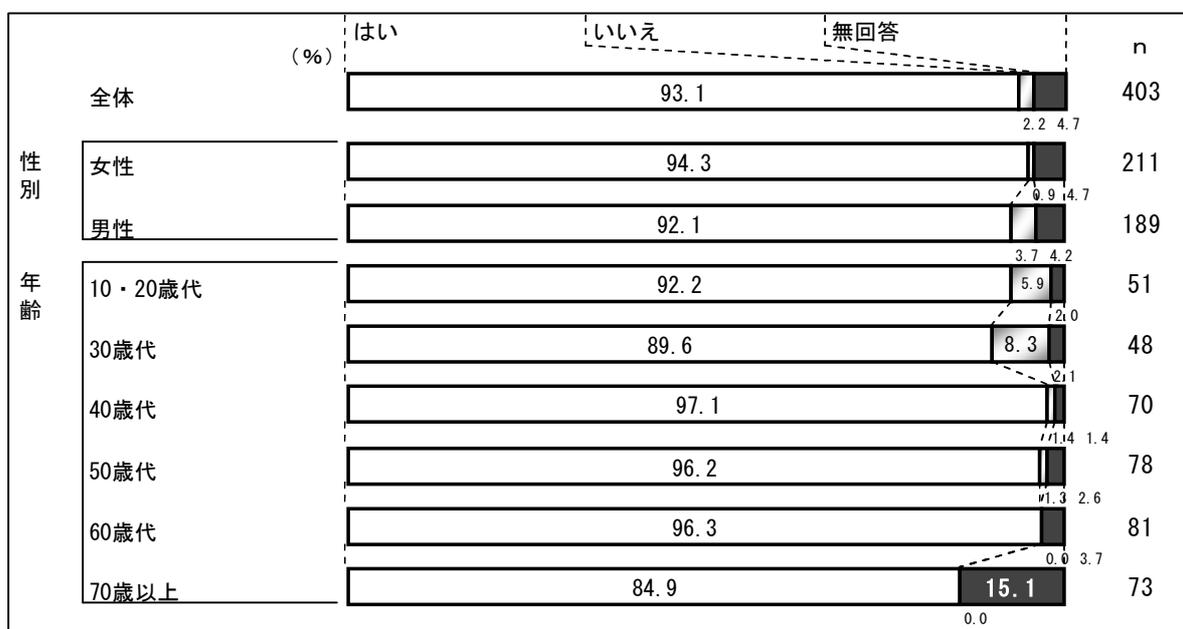
⑤ごみの分別をきちんと行っている

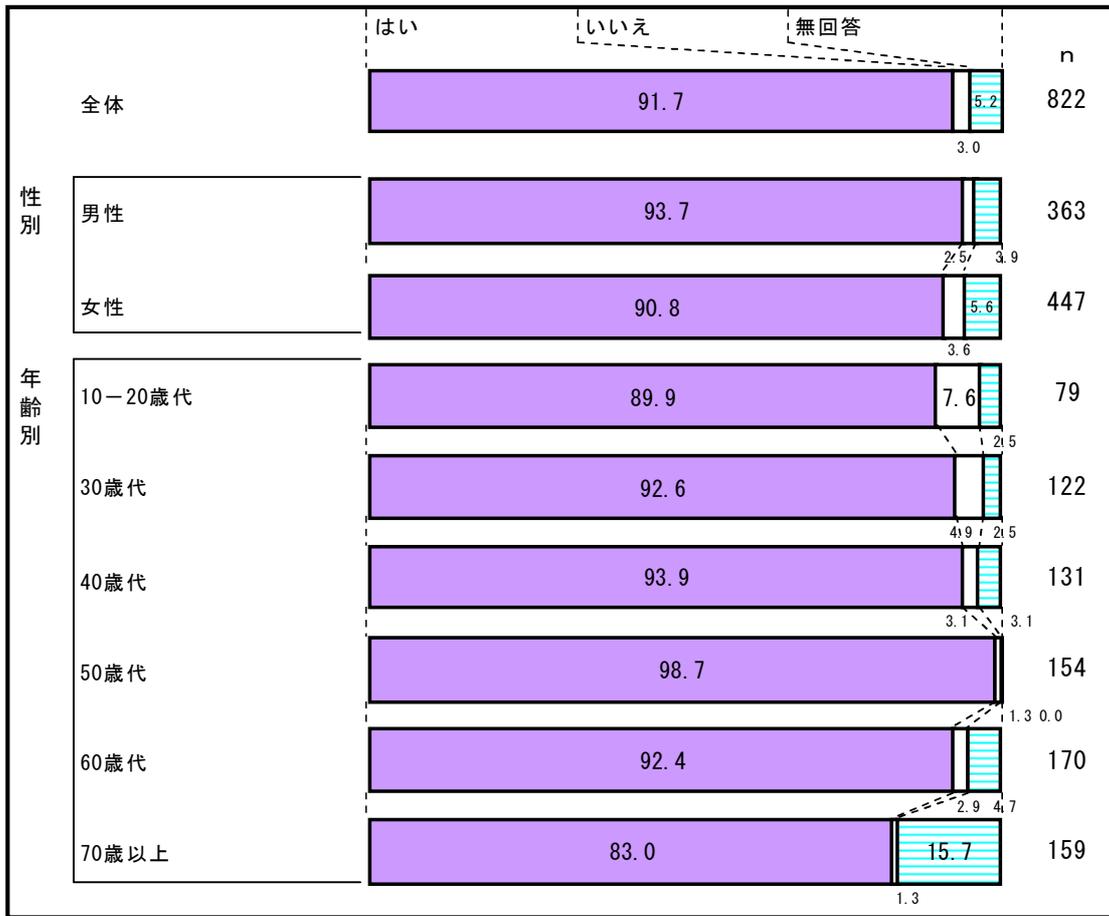
- ごみの分別をきちんと行っている人は9割を超える。
- 前回調査でも、ごみの分別をきちんと行っている人は9割を超える。

「ごみの分別をきちんと行っていますか」とたずねたところ、「はい」(93.1%)、「いいえ」(2.2%)となっている。

性別・年齢別でも、すべての層で「はい」と回答する人が圧倒的多数となっており、ごみ分別への意識が高い結果となっている。[図表 65 参照]

図表 65 ごみの分別をきちんと行っている（全体、性別、年齢別）





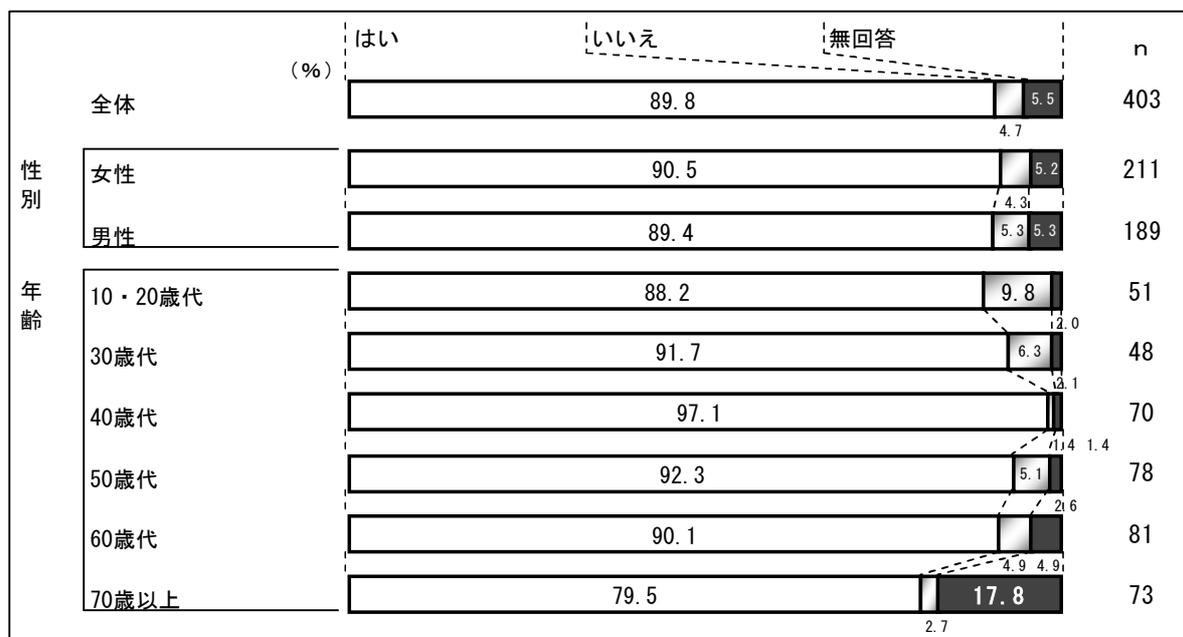
⑥リサイクルをしている

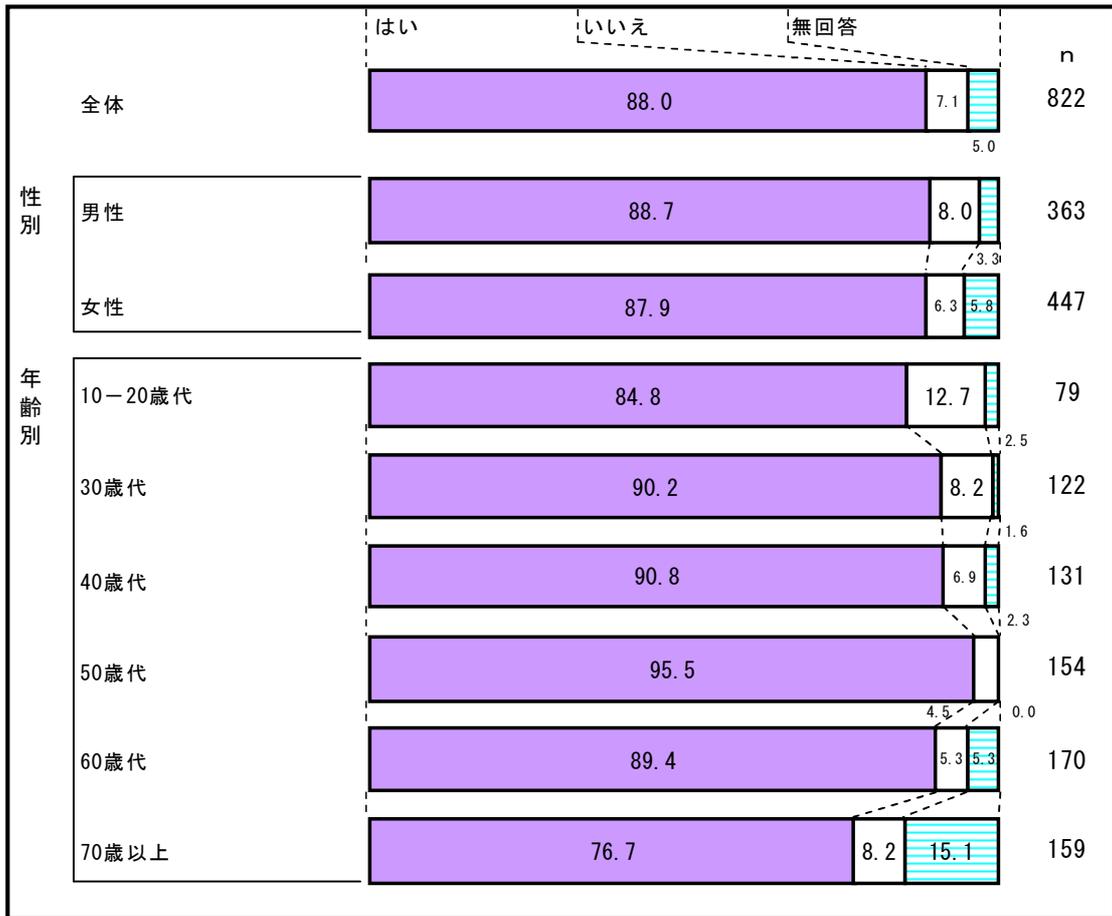
- 約9割の人がリサイクルしていると回答。
- 前回調査でも、約9割の人がリサイクルしていると回答。

「リサイクルできるものはリサイクルしていますか」とたずねたところ、「はい」(89.8%)、「いいえ」(4.7%)となっている。

性別・年齢別でも、すべての層で「はい」と回答する人が圧倒的多数をなっており、ごみ分別と同様にリサイクルへの意識が高い結果となっている。[図表 66 参照]

図表 66 リサイクルをしている（全体、性別、年齢別）





⑦災害への備えをしている

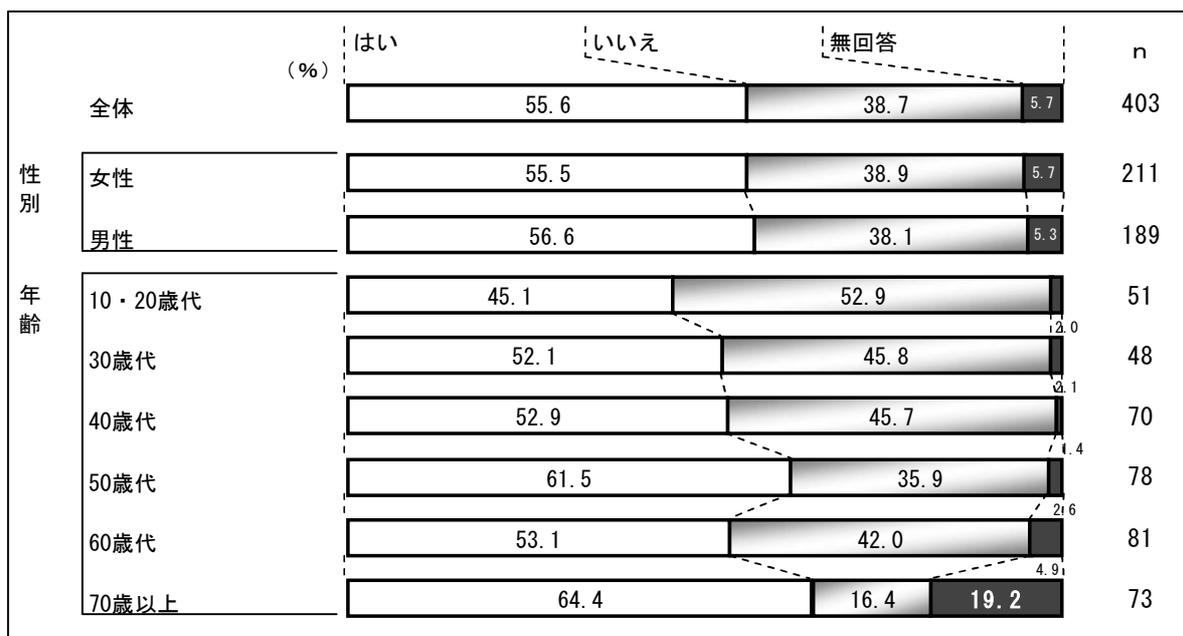
- 普段から災害に備えている人は 55.6%。
- 前回調査では、普段から災害に備えている人は 42.0%。

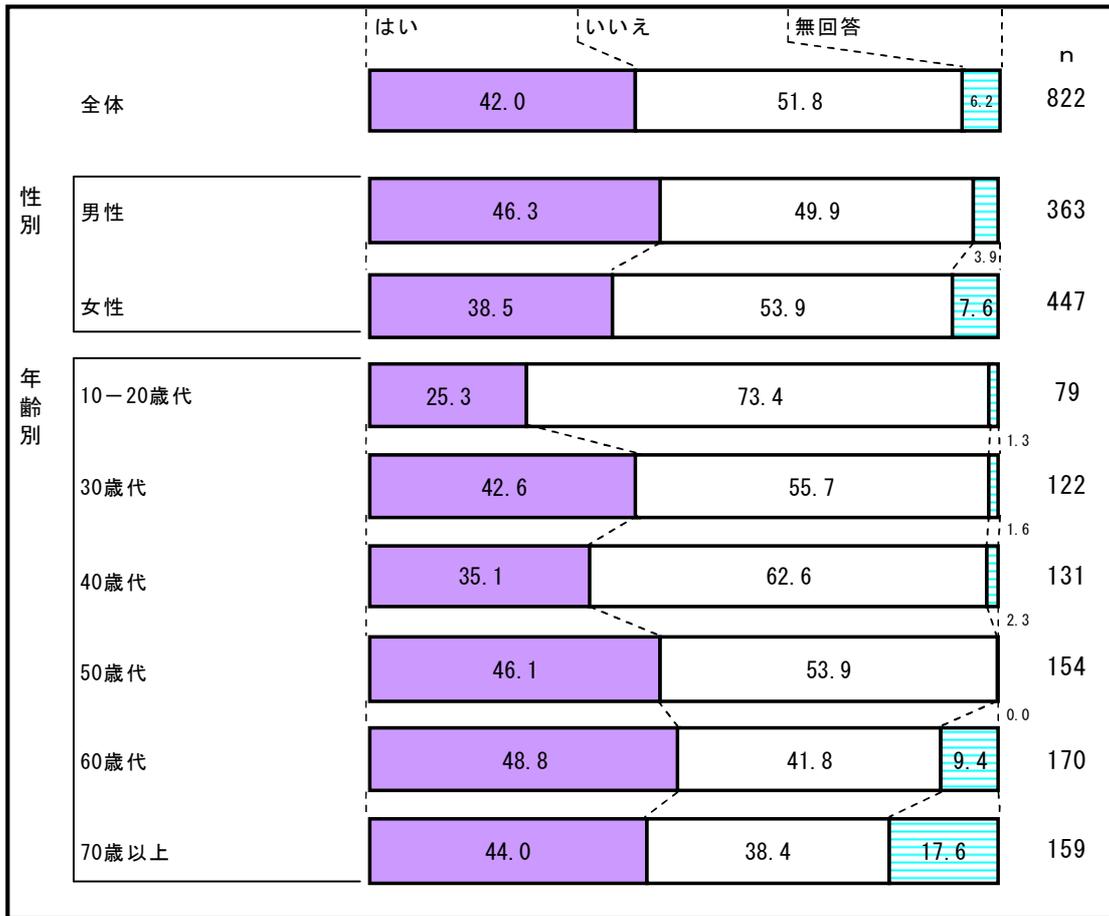
「普段から災害へに備えていますか」とたずねたところ、「はい」(55.6%)、「いいえ」(38.7%)となっている。

性別で見ると、「はい」と回答した人は男性(56.6%)と女性(55.5%)でほとんど差はみられなかった。

年齢別で「はい」と回答した率をみると、70歳以上で64.4%と最も高く、10-20歳代で45.1%と最も低くなっている。[図表 67 参照]

図表 67 災害への備えをしている（全体、性別、年齢別）





⑧地産地消を心がけている

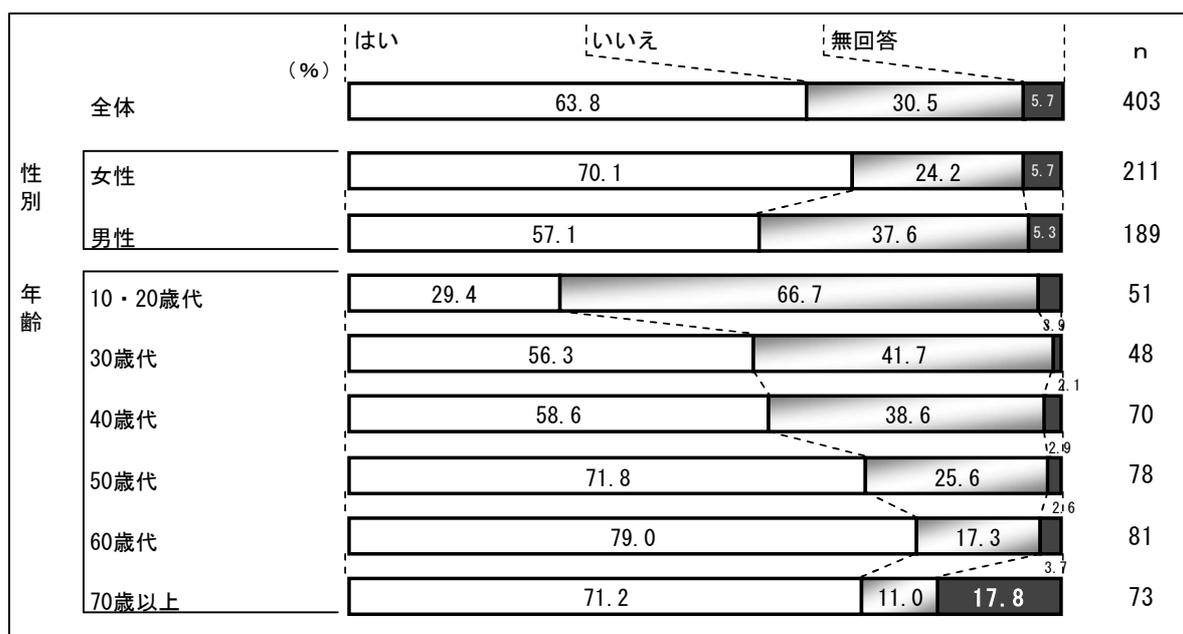
- 地産地消を心がけている人は 63.8%。
- 前回調査では、地産地消を心がけている人は 64.0%。

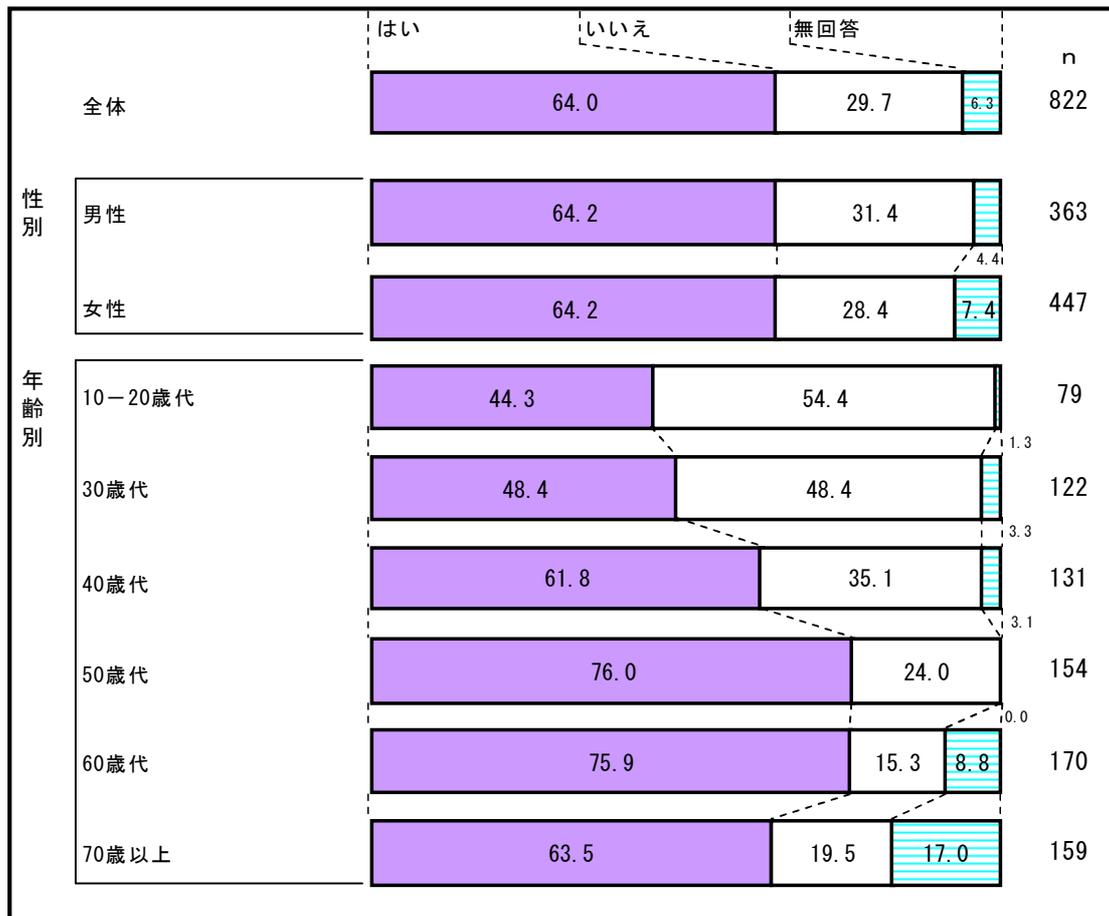
「できるだけ地産地消を心がけていますか」とたずねたところ、「はい」(63.8%)、「いいえ」(30.5%)となっている。

性別で見ると、「はい」と回答した人は女性(70.1%)が男性(57.1%)を上回っている。

年齢別で見ると、「はい」と回答した率は60歳代で約8割(79.0%)と高いのに対して、10-20歳代では29.4%にとどまる。[図表 68 参照]

図表 68 地産地消を心がけている（全体、性別、年齢別）





まちの特色及び自由意見

◎甲州市の特色、誇るべきもの

あなたが思う、他にはない甲州市の特色や誇るべきものがあれば、具体的に2つ以内でご記入ください。

甲州市の特色、誇るべきものの記入内容は、以下のとおりである。

【多数意見】

- ・ワイン
- ・桃やブドウ（果樹）、枯露柿
- ・史跡（寺院）、文化（遺産）、重要文化財、武田史跡
- ・景観（ぶどう畑、果樹園に囲まれた風景）

【少数(個別・具体的)意見】

- ・ワイン会社の多さ
- ・「勝沼」という地域ブランド
- ・住みやすい環境
- ・勝沼鳥居平地区より眺める甲府盆地の景色
- ・JR中央線下りより見る勝沼駅近辺の景色
- ・県内に5箇所ある国宝のうち3箇所が市内にあること
- ・フルーツライン
- ・大菩薩峠
- ・自然（水、空気）
- ・緑が多い
- ・田舎を維持している
- ・中央道のインターがある
- ・住民の人柄、人間性、人情
- ・観光農業の充実
- ・食の歴史
- ・子育て支援環境の充実（母乳育児、マタニティクラス）
- ・介護、福祉が近隣の市に比べて充実している
- ・ぶどうまつり
- ・犯罪の少なさ
- ・甘草をPRできるよう栽培
- ・道路、施設建設が比較的早い
- ・ゴミの分別、ゴミ収集業務充実

◎まちづくりアンケート自由意見

最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて市の行政に望むことやまちづくりについてのご意見やご発想などがありましたら、率直なお考えをお聞かせください。

自由意見を現行の第一次甲州市総合計画の施策体系にあわせて分類すると、以下のとおりである。

～活力あるまちづくり～

(1) 果樹・農林業の振興

- 1：人口の少ない町なのだから試験的にラジカル・デモクラシーを取り入れてはどうか。慣行農業をこの先いつまで続けるのか。より進歩した農業を始めるべきではないか。(男性・10～20歳代・塩山)
- 2：農業はやっていないが、周りの畑の方から「跡取りがみんな勤務をされていて、畑をやっているのは年寄りばかり…」という話を伺う。休耕地など段々多くなってきているのも目に付き、そう遠くない将来には市役所で休耕地を買い上げて大規模農場を作り、若い人達が(外に)働きに行かなくても安定した収入が得られるよう、自宅の近くで働けるようにすれば、家族とも過ごせる時間が増えたり、地域の農業も守れたり、皆にとって良い方へ向くのではと思う。外国のように農場も個人でやっているだけでは、外国から入ってくる農産物の価格に太刀打ちできないと思う。市や町が経営することで、より大規模に生産能力を向上させ、職場を確保することにも繋がります。そうして街の景観を守り、緑あふれる勝沼町が未来に向けて希望の持てる住みやすい場所になることを希望します。(女性・50歳代・勝沼)
- 3：農業で生計を立てています。この職業分野においては、とにかく後継者不足への対策が大きな課題です。耕作放棄地に関しては、市の行政を介し、貸したい人借りたい人の手続き等、面倒な書類の手続きをなくし、一刻も早い対策が必要と思います。今のままでは、誇れるべき景観も荒地となっていくのもそう遠いことではないと思います。若手担い手対策に期待しています。(女性・50歳代・勝沼)
- 4：農家の高齢化が進む中、地域全体の後継者の確保が重要である。個々の農家にとっては耕作放棄してしまえば良いのだから大きな問題ではないが、地域全体としては大きな課題である。
 - ・JAフルーツ山梨は、生産者レベルの法人は歓迎していないが、法人でなければ大規模経営は成立しないし、遊休地の活用も進まない。JAの中に耕作放棄地を中心とした法人を立ち上げ、市役所と連携し、優良農地の健全に取り組んで欲しい。
 - ・毎日の暮らしの中にワインが位置付けられるような食文化を再構築して欲しい。
 - ・フットパスの充実だけでは町外の人のためという気がするので、地域住民にとっての健康ウォーキングコース((例)勝沼庁舎～等々力四つ角約1km、など歩道が確保できる安全なコース)を地域ごといくつか設定し、市民に情報提供して欲しい。(女性・60歳代・祝)
- 5：商工業の推進よりも、農業や住みやすいまちづくりに力を入れるべき。特に桃やワインは日本中に誇れるものであるもので、それらをどのようにして知らせるかということを考えていけば良いと思う。(男性・10～20歳代・塩山)
- 6：農業の後継者不足の解消。(女性・50歳代・松里)
- 7：市内に住んでいると、この生活や環境が当たり前になってしまい、何も見えなくなってしまう。市外や県外の人話を聞いてみると、環境や色々な分野に将来どうすれば良いのか見えてくるのではないのでしょうか。ただ一つ分かるのは、自分の家の家計のことです。農家ですが、毎年のように価格が思うように伸びず、安定した価格があれば後を継いでくれる人も多くなると思います。やはり、安定した収入がない限り、農業は発展することはないと思います

(男性・60歳代・玉宮)

8：峡東地区は特に果実栽培が主な産業ですが、就労者人口も高齢者が多くなり、勝沼地区でも「ぶどうとワインの町」などと言ってられない状態が目に見えて感じる。担い手が安心して就労出来る環境など、バックアップも必要と思う。優良な企業誘致などの就労も必要。

(女性・70歳以上・勝沼)

9：私は今65歳で農業をやっていますが、周りの人たちは皆昔頑張ってきた人たちで、今は気力のみで働いているような年の人ばかりです。私は農業以外のことはよく分からないのですが、これからの十年、十五年後の農業の担い手はいるだろうか。跡継ぎはいるだろうか。甲州のまちは自然と果物の町から成り立っていると思うのだが、農協の会合に行ってもあまり若い人たちを見ないことに不安がよぎる。早く若い人たちが農業を担ってくれるような活路を開いて欲しいと願っています。農業にしても商店にしても若い後継者がいてこそ、市・町・村は栄えていけるものだと思います。皆でそのことを考えて行って欲しいと思います。(女性・60歳代・塩山)

10：子供、農林業の後継者など次世代の育成が必要。シルバー女性指導者、障害者などボランティアではない人材の育成と活用。(女性・40歳代・勝沼)

(2) ワイン産業の振興

1：旅行で他県の寺社、城郭などを訪れると、街の中が歩きやすいことやレンタサイクル・便利なバスなど交通手段が整備されていると感じます。由緒ある寺社がせっかくこれ程沢山あるのですから、ぜひ甲州市も観光にますます力を入れていただきたいと思います。今、写真を撮ることを趣味にしている人が増えているそうなので、それを意識した景観の整備・アピールもしてあげたら、と思います。

・同様に甲州ワインも甲州市民、山梨県民として世界に誇れる名産品だと思います。“甲州市”というネーミングですが、県外の人に話しても全く理解してもらえません。「甲府」「甲斐」などと区別しにくいという人もいます。「塩山」「勝沼」の方が駅名でもあるし、分かりやすいようです。市名を変えるというわけにはいかないと思うので、「甲州市」＝「塩山・勝沼・大和」だと、もっとアピールすべきだと思います。(女性・10～20歳代・塩山)

(3) 観光交流の振興

1：他の市町村と比べて経済的な発展はもう希望するわけにはいかないのですが、この残っている自然を生かし、観光方面にもう少し力を入れて欲しい。景観条例等。(男性・60歳代・塩山)

2：観光、生活環境、子育ての充実。(男性・50歳代・松里)

3：市の大きな財源となるような企業、あるいは大型スーパーマーケット等の商業施設の誘致。一年を通して観光が行えるような観光としたい。勝沼を利用して全国に売り込んでもらいたい。(男性・40歳代・塩山)

4：観光について。だいぶパンフ等も整備されてきましたが、「甲州市再発」のような、点→線→円で名勝、名刹、金山等の活用で他に負けない特色を活かして下さい。(男性・70歳以上・勝沼)

5：最近、県内外の山に登る機会が幾回かありました。登山ブーム、パワースポット巡りブームで、甲州市内にもたくさんの観光客を誘致できる場所があります。マニアは、ネットや口コミで情報を入手し訪れていることが多く、意外な場所で他県ナンバーの車を見かけることもありました。他の地域に比べ、甲州市内のスポットは全く整備されていません。環境を破壊してまで整備をする必要はないと思いますが、監視が行き届かないために、すっかり荒らされてしまっても困ります。景勝地や鉱山跡、巨石群、神社、昆虫採集地など、魅力ある観光資源を地区ごとに把握し、点を線で繋ぐように商品として形にすることができるのではと思います。一日かけて体験できるコースを数本モデルコース化するなど。登山道の整備・補修、駐車場、トイレ、売店の整備に加えて、訪れた人に声をかけてくれるボランティアの方がいらっしゃる場所には観光客、リピーターが多いと感じました。まずは、市民が市内にどんな素晴らしいものが

あるのかを知り、自分の市を他地域に誇れるようになれば、素晴らしいまちづくりが出来るのではと思います。(女性・40歳代・塩山)

- 6：全市に関係するマップの作成。ある一つに突出したものではなく、市全体を引き上げる活動の計画。一度に全部と言うのではなく、そのような努力を重ねていく。一度に全部観光と言うのではなく、年次計画で。月別、または季節別の観光マップ、カレンダーの作成をして欲しい。
・甲州市は自然環境に恵まれ、歴史的文化遺産が多く、県下有数の果樹産業地帯である。果樹産業では、東部地区のさくらんぼを始め、松里地区の枯露柿、ぶどう、桃、すもも等各種果樹に恵まれた地域である。観光資源にも恵まれ、見るべきものが多い。武田勝頼公の菩提寺天目山。ぶどうの寺として有名な柏尾の大善寺。眺望素晴らしいぶどうの丘。一葉の里、大藤の慈雲寺(イトザクラ)。日本最古の日章旗を所有する雲峰寺。ザゼン草自生地の玉宮。信玄公の菩提寺、恵林寺。臨済宗の総本山、向獄寺。国宝を持つ菅田天神社。旧高野家住宅の甘草屋敷。塩山温泉郷。見るべきものが多い地域である。(男性・40歳代・塩山)
- 7：もっと観光業に力を入れるべき。外部からデザイナーや専門家に入ってもらい、イメージ作り(キャラクター等も含む)、特産物の宣伝などを新しい手段(ホームページやフェイスブック等)で広めると良いのでは。非常にもったいないと感じる。(女性・30歳代・塩山)
- 8：自然環境は素晴らしいので、特色を活かして遊びに来たい、宿泊していききたい、住みたいと思えるような仕組みを作っていく。(女性・40歳代・神金)
- 9：大菩薩峠から東京スカイツリーが見えるとの噂を耳にしたのですが、本当ならば市のPRに活用して欲しい。(男性・40歳代・松里)
- 10：特に観光推進に関して。県外からの転入です。やって来て自然環境に感動しました。しかし、行政の発想が貧困過ぎて話になりません。観光とは、やって来る「お客さん」の満足が第一。しかし、お客さんの声を全く聞いていないとしか思えない施策に呆れています。もっと「客」の声を聞いて欲しい。住民でもなく、役人でもなく、「客」の声を聞いて下さい。(男性・40歳代・塩山)

(4) 商工業の振興

- 1：このままでは市内の高齢化が進み、街がシルバータウンになってしまうのではないかと。まずは民間の力で対応すべきではあるが、行政も手を差し伸べることが必要になると思う。(男性・40歳代・塩山)
- 2：企業誘致という点ではまったく活性化進展が無いのではと思います。(男性・40歳代・塩山)
- 3：複合ショッピングセンターが欲しい。若い世代はこの先共働きしないと絶対にやっていけないと思いますので、就業支援の充実と保育の充実をお願いしたいです。あと、できれば税金が安ければいい。(女性・10～20歳代・松里)
- 4：デパートなど、買い物ができる場所がたくさんできる大型施設があるといいと思う。駅周辺がまったく栄えていない。もっと電車を利用できるよう駅周辺に専門学校などを建てたりして、電車を利用する人を増やした方がいいと思う。(女性・10～20歳代・大和)
- 5：毎年人口が減り、高齢化率は上がっている状況です。シャッター通りも増え、寂しく感じています。これからの若者のために雇用の確保や企業誘致に頑張ってください。甲州市のすべてを観光地と捉えて何かPRを考えて欲しいです。私はこれからも甲州市に住んでいきたいと思っています。この想いが子供や孫まで同じように想ってもらえると嬉しいです。(男性・30歳代・塩山)
- 6：商業地域に偏りがあり過ぎる。バスの数も少なく、あまりに街灯が少な過ぎて、夜遅くに出歩くことが嫌になる。(女性・10～20歳代・松里)
- 7：大企業が少ないため税金等が高い。甲州市になってから特に水道料も高くなり、老後の生活が不安になる。商工業をもっと活発にし、若者達の就業の場をもっと増やすべきだと思う。(女性・60歳代・勝沼)

- 8：同じようなお店が近くに幾つかあるが、新しいスタイルのお店など、どんどん取り入れていくべき。(女性・10～20歳代・勝沼)
- 9：甲州市で生まれ育ち生活しているので、出来ればこの土地で一生過ごしたいと思います。市の財政も苦しいと思うので、いろいろ要求しても無理だと思っています。少しでも市が豊かになるよう、農業、商業、工業に力を入れてください。毎日散歩をするのですが、大きな木で一休みして遊んで帰って来るような所がありません。老人、子どもと憩えるような場所が街中にも欲しいです。(女性・70歳以上・塩山)
- 10：塩山の町は何処へ行ってしまったのか、と思ったりします。歴史や文化財、果物など自慢できるものが沢山あり良い町だったのに今は…。若者の利用施設、高齢者の集いの場所等があれば。活気が感じられない町に思います。(女性・30歳代・塩山)
- 11：ショッピングモール、大型スーパーマーケットの設立、雇用が生まれる。
(女性・10～20歳代・松里)
- 12：街の空き家が多く、歩いている人も少なく、寂しい町になっているので、もう少し見たり休んだりできる所があっても良いと思います。または、大型のお店が何軒もある、楽しい買い物ができる施設があるといいと思います。例えば飲食、雑貨、衣服、日用品、園芸品など、一つの建物にあると良いと思います。(男性・70歳以上・塩山)
- 13：石和から甲州市方面にかけてデパートやショッピングモールが無いので、買い物が不便だと思います。大型ショッピングモールが出来ることにより、買い物をする人も増え、仕事も増え、街が活性化すると思います。実家の埼玉ではそうなっています。(女性・40歳代・塩山)

(5) 雇用・勤労者福祉施策

- 1：仕事をする場所がまったくなさ過ぎ。旦那は1時間以上かけて市外に通勤しており、子供と話す時間すらなくなっている。くだらない道を作るくらいなら工場を作れ。山梨市の方がイベント、公園などが充実している。みんな市外に出て行ってしまっている。
(女性・30歳代・塩山)
- 2：市役所の方々の窓口対応は昔よりもとても良くなっていると思う。ありがとうございます。
・行政に携わる方々へ。まず人口を減らさず増やすために、働く場を設けるため最大限の努力をして欲しい。土地の提供をするなどして企業の誘致をし、人口を増やし、街を活性化して欲しい。JR中央線が通っているのにも関わらず駅前の寂れた感。都内から便もあり、特急も停まるのにも関わらず「甲州市、塩山」の認知度の低さ。残念です。数多くの歴史ある建物もとても多いのに他県から人を呼べない。メディアなどにもっと働きかけて欲しい。周りに生活保護を受けて年金生活者より収入が多い人がいるが、とてもおかしいと思う。見直して下さい。美しい甲州市のために市政にもっと努力をして欲しい。本気ならば市民はきっと協力するはず。私も協力は惜しみません。どうぞお願いします。(女性・30歳代・塩山)
- 3：将来の税収の見込みを考えると、若い世代に甲州市へ移住してもらえる環境づくりが必要だと思う。それには働く場所を整備することが重要ではないか。中央道のインターが近くにあること、中央本線の特急の停車駅となる塩山駅があることを活かし、人流・物流の利便性をうたい、さらに、土地の安価な点、自然環境の良さをアピールし、企業の誘致活動をしてはどうだろうか。とにかく、若い世代に来てもらうには、子供の医療費の無料化(18歳まで)、保育所等の整備も必要になると思う。言葉は悪いが、将来の甲州市を考えると、高齢者よりも、これからを担う子供に手厚いサービス投資をするべきではないだろうか。若い世代に魅力的な町にしていくことが必要だと思う。全国的にも例の無いインパクトのある思い切った政策、投資が必要だと思う。(女性・40歳代・祝)
- 4：職場の充実。甲府や県外に行かないと職がないのでは、どんどん甲州市から人が出てしまう。交通の便で遠くに通うなど、身体が大変。学校も県外に行かないと学科が少ないでは困る。逆に甲州市に職や希望の学科があるから来たいというようになって欲しい。県外の人が観光に来たときに甲州市に住みたいと思うような町になって欲しい。お金もなくて難しいとは思いますが、

全国の人に、甲州市はこんな町で、安全で、食べ物はこれが有名で、暮らしや観光が充実しているのだと知ってもらえるよう、広告・宣伝していければいいと思う。自分は言うばかりでもできないが、それでも甲州市で暮らしていきたいと考えています。期待しています。

(男性・10～20歳代・松里)

5：若い人の定住、転入する活気ある町づくり。その為の魅力ある仕事、職場（農林業含む）づくりが重要。(男性・60歳代・奥野田)

6：若い人の職がない。大型店（ラザウォーク、イオン系）、アウトレットがあれば、活気もあって良いと思います。インターの側などへ。このままでは人口も減って、寂しいところになってしまいそうです。(男性・60歳代・塩山)

7：雇用の面からも、研究所、学校の誘致と地場産業の大規模化の支援などをお願いします。

(男性・70歳以上・勝沼)

8：シルバー人材の人件費について疑問があります。シルバーと言うのは現役を引退した人を対象に雇用しているにも関わらず、現役の雇用と同様の待遇で人を扱っています。人件費の日当（時間給）を一般常識の範囲内で安くして頂きたい。これからの農家にとって、労働年齢は高齢化し、おやてつとは切っても切れない人材です。切に人件費の検討を願います。

(男性・50歳代・松里)

9：若者が永住できる町づくりと雇用対策を。(男性・60歳代・塩山)

10：昔は旧甲州街道沿いに商店がたくさんありましたが、今は年々少なくなっています。同時に日常の買い物に苦勞しているお年寄りをよく見かけるようになりました。お年寄りだけではなく、すぐ近くの商店は災害のあった時などにも大変な助けになると思います。誰でも、いつどんな時でも車が使える訳ではありません。また、昔は個人で経営している所では、学歴がなくても障害者でも働くことが出来ました。個人商店がなくなることで、弱い立場の人が働く場所が減りました。経営者自身も、辞めてすぐに別の仕事に就けるとは限りません。そういった人が多くなると、市の負担も増えるのではないのでしょうか。何でも大きな所に任せるのではなく、昔ながらの店を残しつつ街並みを整備し、それ自体が観光の目玉になるようなことも考えてみてはどうかと思います。(女性・50歳代・勝沼)

11：定年後の雇用対策の充実を図り、元気な高齢者に生きがいと生活の安定を。(女性・40歳代・神金)

～健康福祉のまちづくり～

(6) 保育や子育てへの支援

1：子育てがしやすい街にして下さい。医療・福祉を充実させて下さい。(男性・10～20歳代・塩山)

2：せっかく子育て支援が充実しているのに、産科がないのは大変もったいない。出産から近くの病院で対応してもらえれば、甲州市のイメージがアップすると思います。(女性・30歳代・松里)

3：未来の子が安心して暮らせるまちづくり。女性が働き続けられる企業への提案や援助。子育てしやすい環境。甲州市に人を寄せるイベントなど開催してもらい、みんな甲州市に来て楽しんで頂きたい。(女性・30歳代・奥野田)

4：今は子供が段々少なくなっています。たくさん子供が生まれる環境を作ってください。若い人に子供がいても生活できる甲州市にして下さい。子供は宝です。何とか皆で子供が多くできる環境を作ってください。協力はいくらでもします。次の時代をつくる人間をつくらないとダメです。子供が多くなるように頑張ってください。お願いします。(男性・50歳代・東雲)

5：若い人たちが安心して子供を産み、育てることができる環境を整備してあげてください。

(女性・50歳代・松里)

6：少子化について、産みやすく育てやすい環境の整備。若い方の年収において住宅の提供。子

どもを安心して預けられる職場内での保育所があれば、女性も子どもを育てようと思います。どうか住みやすい甲州市をつくって頂きたいです。(女性・50歳代・松里)

7：菱山地区の少子化が止まりません。保育所は廃止が決定し、小学校もこのままでは存続が危ぶまれます。菱山は景観が美しく、駅があり、高速にも近く、住みやすい所です。子どもが増えるためには、まず結婚。若者が定着し結婚するには仕事が必要です。農業収入の安定化(十分な収入)、就労の場の確保が必要と思われます。その上で出会いの場が提供できれば…と思いますが、菱山に子どもが増えて欲しいです。(女性・40歳代・菱山)

8：昨年子どもが生まれましたが、市の子育て支援が非常に充実していて感謝しています。すすくや健診、家庭訪問はもちろん、子育て支援センターや図書館での読み聞かせ、子育てサロンなど、妻と子どもが楽しく参加させて頂いています。これからもより良い街づくりをよろしくお願い致します。(男性・30歳代・勝沼)

9：甲州市内の産科を作って欲しい。(男性・40歳代・塩山)

10：保育費が高い。(女性・30歳代・奥野田)

(7) 健康診断の実施や健康づくりへの支援

1：医療費の無料化を、中学3年生まで引き上げて欲しい。(女性・30歳代・塩山)

2：子供の医療費無料化は甲府市並みに中3までは出来ないものか。(男性・40歳代・勝沼)

3：生から死まで、医療、保健、福祉が充実していること。産む場所の確保。中学生の医療費無料化。診療所の充実。(女性・40歳代・神金)

4：娘が中学生の時、子宮頸がんの予防注射接種の啓発があったが、ワクチンが足りず、2回目の接種が出来なかった。無責任な啓発は止めて欲しい。(半年以内に2回打たないと意味がない。)(男性・40歳代・塩山)

(8) 地域医療施設の充実や救急体制

1：医療の充実。交通など移動手段の充実。雇用の充実。住みやすいまちづくりをお願いします。(女性・40歳代・塩山)

2：市民病院の産婦人科復活。施設が整っているため、もったいないと思います。(女性・10～20歳代)

3：甲州市には最先端の高度医療の施設がありません。高度医療センターの開設を強く希望します。そうすれば医療の悩みから開放され、甲州市に住んでみたいと思う人も増えると思う。これは税収増にも繋がり、さらなる甲州市の発展になると思います。(男性・60歳代・神金)

(9) 地域福祉・高齢者福祉に対する施策

1：高齢者への郵便物(便り)は内容が難しく理解できていません。分かりやすい文章で説明して欲しいです。特に金銭に関することで、支払いとか振り込むことなど…。(女性・50歳代・祝)

2：生活保護の見直し。保育料の負担が高すぎて子供が欲しくても無理。弱者へのいじめ、悲しいニュースは見たくありません。(女性・30歳代・大和)

3：高齢化社会に対する市の取り組み

核家族化で老人の一人暮らしが増えてくる。子供は独立して家は年寄りが一人で暮らしている。各地区をまわるバスも良いことだと思うが、一人暮らしの老人に対する食について考えてやってほしい。安く入れる老人施設。入れなくて困っている人が沢山いると思う。

(男性・60歳代・塩山)

4：高齢者への福祉の充実・優遇措置。

・後期高齢者の年間保険証無使用に対する、手応えある報奨金制度の確立-高齢者医療費の削減にもつながる。(市の健診等は除く)

・高齢者運転免許証返還に対する優遇措置

・タクシー割引利用券配布

・重いもの・大きなものを買った場合、無料宅配サービス券の配布

- ・ 80歳以上の高齢者宅には、緊急通報装置（フレペン）・緊急医療情報セットの設置-災害時や非常事態の効率的対応が出来る。
 - ・ 区内の組単位での要援護者の安否確認のネットワーク化・協力員制度の導入-民生委員の仕事量の軽減・きめ細かい要援護者への対応のため
 - ・ 塩山地区の区内の民生委員定数の見直し
 - 区内の人口変動により、矛盾するところが出てきている。
 - 塩山地区内の総数は変えずに、区内の定数を、2人を1人に、1人を2人にと、実状に合わせて変えていく見直しを、来年度改選期までをお願いしたい。
 - ・ 若者が住まなければ、町の活性化はないので、住む方策として
 - ・ 工場、有名校の誘致
 - ・ 東京のベッドタウン的条件整備、大月まで来ている近郊電車の甲府までの乗り入れをして、都内通勤・通学を可能にする。(女性・70歳以上・塩山)
- 5：これから先私も年を取り、高齢者福祉に関心があります。最後は家で診てもらえるような往診をしてくれたらいいですね。(女性・50歳代・大藤)
- 6：生活保護者の方で働ける人は、道路の草取り、公園の草取り、公衆トイレの掃除を1日2、3時間でも義務化したらいいと思う。(男性・60歳代・塩山)
- 7：高齢者について。田舎とはいえ、地区での過疎化、孤独化が進んでいます。いろいろ対策をして頂いていますが、毎日の食事、移動手段、通報手段など、よろしくをお願いします。(男性・70歳以上・勝沼)
- 8：高齢でも安心して暮らせる街づくり。(男性・70歳以上・塩山)
- 9：少子化で子供の少ない将来、老いて行くものの日々の暮らしがほとんど心配になる今日今頃。年金だけでは暮らしていくこともままならなくなると思い、それを支えて行かなければならぬ若い人達への負担を少しでも良くなる様に考えて行政に望む。老いても日々暮らして行かなければならない今からの私達の暮らしを少しでも考えて欲しい。(女性・60歳代・神金)
- 10：老人ホームの入所、月々の支払いは人それぞれ大変です。多くの老人や家族が悩むことなく、入所出来るような施設を作って頂きたいと思います。(女性・70歳以上・塩山)

(10) 介護や介護予防に対する施策

- 1：介護保険が必要な人に必要な介護が出来ているのか気になります。介護度だけでは本当に必要な助けが計れない気がします。日常で問題がなくても、風呂の介助など重い介護度でないと介助してもらえないなど、してもらいたいことと介護度とで温度差があると思うので見直して欲しいです。(男性・40歳代・勝沼)

(11) 障害者の自立を支援する施策

なし

(12) 国民健康保険などの社会保障の施策

- 1：納税者にメリットがあれば、もっと頑張って働ける気がします。働いても、働いても、税金を支払う為のようで、もう少し働く楽しみの為にも、優遇されるようなものでもあれば嬉しいかと思います。(女性・50歳代・松里)

～快適で安心なまちづくり～

(13) 土地利用や市街地・公園の整備

- 1：塩山駅北口に駐車場が欲しいと思っています。送り迎えに車の置き場所に困るときがあります。(女性・60歳代・大藤)
- 2：塩山駅南口のエレベーター設置の予定はあるのでしょうか。なるべく早くの設置を希望致します。(女性・50歳代・塩山)

- 3：私は甲州市を住み良い市として発展させていく為には、様々な意見を聞くことは大変有意義だと思います。先日、青梅街道の架橋を通過したのですが、あの公共事業はとても無駄が多く非効率だと感じました。様々な社会情勢の中で、難しい舵取りが求められると思いますが、一市民として関心を持ち、協力していきたいと考えていますのでよろしくお願いします。駅前のハイヤーに対する接続整備は、私の生活で感じる中でとてもチャンスを逃しているように見えます。検討して頂ければ幸いです。買い物がしにくい、交通機関が利用しにくい等、待合所や環境に対するPRなど。(男性・10～20歳代・塩山)
- 4：市の財源を豊かにするための方策を考えていかないと何をするにも厳しいと思う。現在ではなく、未来を見据えた政策、町整備を考えて欲しい。都市計画では、本当に計画的に考えて進められているのかと疑問に思うような道路整備などもあり、とても残念だ。(女性・40歳代・神金)
- 5：塩山駅をもっと商業的に活用して欲しい。南口などロータリーの土地を利用しながら、色々な特色のある店を作るなど(この駅は東京方面など一時乗り継ぎもあるので)。観光地まで行かなくても手作り品、ドライフラワー、塩山ならではの土産品、そしてカフェ、コンビニエンスストア。魅力的な、少しは都会的なセンスも取り入れてこの駅から楽しさと明るさを。また、登山、溪谷も多くの人達が訪れています。宿泊など、もっと利用できるように塩山荘のような駅周辺に利用可能な場所。塩山温泉をもっと発信すると良いと思います。(女性・70歳以上・塩山)
- 6：市外から越して来て、まず思ったことが、何をするにもとても不便だということでした。特に子供にとっての遊ぶ場所がないと思います。広い芝生のある公園があれば良いのにと、ずっと思っています。これといった企業もなく、発展するには難しいのかなと思います。年をとってからでも買い物する場所も車で10分はかかる距離で、大変なのが目に見えて分かります。何かにつけて不便過ぎる街なので、住みやすい街をつくる計画をしてもらいたいです。(女性・40歳代・勝沼)
- 7：甲州市の特色、誇るべきものといっても、市が何をしたいのか見えてこない。例えば市役所、駅周辺を見ても街並みもバラバラだし、統一性がなく、駅周辺に関しては寂れて見える。甲州市に住み続けたいと思うが、もっと魅力的な街になって欲しいと思う。ただ大きい道を通すだけでなく、昔の面影が残っているような昭和的な街並みがあったり、近代的な場所があったり、住んでいて楽しかったり落ち着いたりできる場所であって欲しいと思います。(男性・30歳代・塩山)
- 8：昨年度からの、青橋地区の長期的な通行止めについて、市民生活等に支障をきたす行為を行うことのないようにしてほしい。こうした状況になった経過を回答して欲しい
- ・旧市庁舎解体工事についても期間延長等で市民に迷惑をかけないように、最短期間で手際良くすることを強く望む。駐車場も確保することを望む。(女性・50歳代・塩山)
- 9：甲州市は都会にも近く、高速道路も近く、電車等の便も良好で、観光及び日帰りドライブ、また山歩き等には最適だと思います。ただ、ぶどう園にしろ、ワイン工場にしろ、何かざっくばらんで全体的にまとまりが無い様に思われます。これで良いと思えば良いのですが、何かもう少し甲州に行って良かったと思うものに欠けている様な気がします。それと、物価が全体的に高いようなことをよく言われます。(桃、ぶどう、ワイン等) 恵林寺の周辺も少しざっくばらんの様な気がします。理想を言うならば、観光都市としてももう少し整備する必要があると思っています。昔からの物と現在の物と将来のあり方の3つが良く合体できれば良いのではと思います。色々問題はありますが。(男性・50歳代・大藤)
- 10：毎月と言って良いほど人口がマイナスになっていくのを見てとても不安。とにかく塩山駅前の寂れている雰囲気、いたたまれない。活気が無さ過ぎる。(女性・30歳代・塩山)
- 11：過疎放棄地を活かし、蕎麦畑を作り、山の木々の中に蕎麦処を造る。山の中に子供遊園地を作る。ジャングルジム、ブランコ、キャンプファイヤーも出来るところを作る。ツリーハウス

に泊まり楽しめるようにする。子供で賑わう町、年寄りが笑って暮らせる町を作る。(女性・70歳代・神金)

12: 塩山駅の周辺が寂れ過ぎている。せめてコンビニくらいないと、時代遅れで不便。駅にエスカレーターが必要。山登りの人や老人用に。(女性・30歳代・塩山)

13: いわゆる箱物である新たな施設を作るより、今あるものを整備し活用すること。今後小さくても質の良いコンサート等のホールが出来て様々なアーティストの演奏や公演が楽しめる場があれば、県内外からも人々が集まり、経済観光等にも良いと思います。(女性・40歳代・勝沼)

14: 市役所の跡地を何もつかっていないように見えますが、中心街なので市の活性化に生かして欲しいと思います。スーパーが段々と遠くへ行ってしまうので、老人の行けるスーパーとか、または道の駅などは？(女性・70歳以上・塩山)

15: 特色を活かすのは良いが、子どもが安心して遊べない総合公園はどうかと思う。あんなに急斜面などところに公園が必要だろうか。(女性・40歳代・神金)

16: 現在の総合公園は、利用価値がまったくないので公共墓地公園などにして欲しい。(男性・40歳代・塩山)

17: いつも思うのですが、健康の為歩こう走ろうとしても、安全な場所(公園等)がなく、スポーツを学生の頃の様にしてみたいと思っても、すでに昔活躍をしていたであろう人達ばかりで入れず、結局家の周りをうろろで終わりです。市役所の周りにそんな人達が動いて休める明るい公園でもあれば良いと思います。

・女性から見ると、商店街の道幅を広くと言うのは少し違うと思います。右見て左見て、少し休んでお茶して、それが買い物の楽しみです。広い道路や駐車場もしっかり近くに確保しながら、商店街はどこも銀座と言われるところは狭いものです。市の中心である市役所の周りが市民にとって行きやすい明るい場所になることを願っています。(女性・60歳代・菱山・自営農林業)

18: 焼け跡の整備。空き地の整備。駅前の活性化。塩山駅北口に商業用地の建設。(男性・60歳代・塩山)

(14) 美しい景観形成

1: 街並みには、近代建築を抑えて年代統一した山梨の木材を利用した建物を推進し、歴史文化の街を強調することが理想です。

・犬の散歩は手ぶらの方がほとんどです。フンの処理は皆無だと思われます。市民のモラルと環境意識が低いです。「景観のまち」は遠いです。

・道路が多いです。果樹の町なのに農園を潰してしまった結果だと思います。ぶどう園を囲む道路にある、無駄に思われる植込みが荒れています。作ったからには手入れが必要です。ちなみに植込みが無かったら、歩道も広がり、サイクリングが出来ます。(男性・60歳代・塩山)

2: 私は東京から結婚を機に勝沼に来て12年過ぎました。夫の両親とぶどう農家をしておりますが、甲州市はこれ以上都会的になる必要はまったくありません。東京から近く、トンネルを抜けた時のぶどう畑が広がる盆地景観は何にも優れた個性であり、これ以上のセールスポイントはありません!! さらにワインもあり、子供から大人まで楽しめる物を持っているので、これをいかに守り育てていくかが大切です。ぶどう狩りを食育の点からも幅広く展開し、夏休みに都会から親子で来て頂けるようにして欲しいです。ぶどうの成長、ジャムやケーキ、パンなどの加工食品をつくるなどの参加型にして欲しいです。この点では、すでに市でもイベントを沢山設けていますが、農業就労者の高齢化は大変な問題で、あと10年も経てば荒れ果ててしまったぶどう畑ばかりになってしまいます。ぶどう畑の美しい景観が根底にあってこそ成り立つ勝沼・甲州市なので、ここが何よりも大切だと考えます。ちゃんとした収入が確保されない農業に若者が安心して就労できるシステムの確立は一時も早く作って欲しいと思います。

(女性・30歳代・祝)

- 3：果樹の生産地であるので、その景色を県外へアピールすることを第一に、市の職員の教育・採用に心掛けるべきと考えます。(女性・70歳以上・大藤)
- 4：森林を守ってもらいたいです。ブナの原生林が存在していたと聞きましたが、今では伐採されてしまって、この間その姿を見てきました。保護や植林などをしてもらいたいです。若い自分ですが良くなって欲しいと思生活しています。頑張ってください。よろしくお願いします。(男性・30歳代・大和)
- 5：発展というのは賑やかになること、整備されることとは限らないと思うのです。市民が落ち着いた暮らしができる環境が作れることが一番と思います。塩山の街並みも勝沼のような落ち着きが必要だと思います。商店街なので少し異なるかも知れませんが、屋根の色、看板など少しは緩い規制があっても良いと思います。以前から菅田神社前の交差点の空は、電柱などがすごく小さな街なのはどうにかならないかと思っていました。日陰とベンチ(木製の)が提供できる商店とか、地元のもの一つでも置く(各お店が)取り組みとか。(女性・60歳代・松里)

(15) 幹線道路や生活道路の整備

- 1：スーパーや病院が遠い。駅周辺なのに…。(女性・70歳以上・塩山・主婦)
- 2：畑に行くのに道が悪い。一日も早く直して欲しい。(男性・60歳代・塩山・自営農林業)
- 3：商業地への幹線道路(東西線)の早期整備。(女性・40歳代・奥野田)
- 4：市政の対応が遅いような気がする。
1. 道路の整備(市役所から青橋)が遅い。いつになったら完成するのか。
 2. 旧市役所の解体・整備の対応が遅い。
 3. 全体的に隣の山梨市から比べると対応が遅いような気がする。(男性・60歳代・塩山)
- 5：農道や生活道路の整備をして欲しい。(男性・70歳以上・祝)
- 6：市内の歩道が良くなるのはいつの事でしょうか。(女性・60歳代・奥野田)
- 7：道路を広げるのは大変な予算を要するが、工夫で中央通りのように片側だけ盛り上げて、人(弱者)にやさしい道路づくりをして欲しい。外国では、スピードを落として欲しい所には道にコブを作って、スピードが出せないように工夫がされている。車より人にやさしい町が住みやすいと思う。(女性・50歳代・塩山)
- 8：中山間地の生活道路の整備が遅れているように思われます。(男性・70歳以上・大藤)
- 9：意味の分からない道路を作らないで欲しい。税金の無駄としか言いようが無い。他の市を見習った方が良い気がする。(男性・30歳代・塩山)
- 10：フルーツライン(下粟生野)の交通事故の減少に取り組んで欲しい。家の周りの道路の整備。つぎはぎだらけで凸凹している。(女性・40歳代・大藤)
- 11：道が新しくなっているが、不必要に歩道があり過ぎたりする。通学路は安全を確保してもらいたい。(男性・40歳代・勝沼)

(16) バス等の利便性の向上

- 1：バスがなければ何もできません。観光を言うなら、バスが1時間1本は必要。柳沢峠を通してバスを通す。平沢は一日5本のバスが必要。(女性・60歳代・玉宮)
- 2：私はこの土地に来て、坂が多いので仕方なくバイクに乗り始めました。20年近く住んで一番困ることは不便な交通手段です。デマンドバスができましたが、ほとんど利用できません。利用方法を考える必要があると思います。加齢とともに頭を悩ませています。(女性・70歳以上・塩山)
- 3：交通が不便で困っています。日が昇って暑くなってから病院や買い物にも行くが、バスの便が少ない。暑い所でバスを待ち、年寄りには暑気を受けてしまう。便が少ないことから、夕方病院の看護をして帰る人はタクシーを利用し、本当に市民泣かせの時間帯です。デマンドを利用しろと云うのですが、一台に一人ずつでは希望の時間に利用できず、経費のかかり過ぎです。年寄りの健康を考えるならば、即刻バスの本数を増やしてもらいたい。店は遠いし、交通

は不便では、これが良いまちづくりとは云えません。前の時間表に戻して下さい。切に願います。(女性・70歳以上・塩山)

4：デマンドバスを予約しても使えない。買い物、病院は乗り物がないため、歩きかタクシー。早く市内周りのバスを出して欲しい。(女性・60歳代・塩山)

5：バスの利便を考えて欲しい。(女性・30歳代・塩山)

6：私は車に乗れませんので、バスなどの交通機関を快適に利用できることを望みます。いつもありがとうございます。(女性・10～20歳代・塩山)

7：バスが不便でデマンドバスが上手に利用できないこと。牧丘三富線などがなくて、普通の路線バスがあると良いと思います。市役所は清潔で、行っても感じが良く、対応も大変親切でありたいと思います。(男性・70歳以上・塩山)

8：バスの本数を増やすか、デマンドバスを利用しやすいようにして下さい。(女性・70歳以上・塩山)

9：デマンドバスを利用する年寄りが、そこまでタクシーで行かなくては、と言っています。それであれば、自宅までタクシーで何割負担とした方が良くと思います。(男性・60歳代・塩山)

(17) 公営住宅や良好な宅地の確保

1：私は都内より引越してきました。同世代の仲間が周りに居ません。農地ばかりで宅地がなく、中古住宅や賃貸住宅がないのが原因だと思います。どんなに市でサービスが充実されていたとしても、この先若い人が居なくなるの方が危険だと思います。私はタイミングよく持ち家を持つことが出来ましたが、農地ばかりなのでなかなか家を建てる事が出来る環境にないと思います。今の時代は車やインターネットも普及しているので不便さは感じない人が多いです。自然と共存できる甲州市はとても魅力がある街だと思います。金利も安く減税もある今だからこそ、持ち家を持てるような環境に整えてもらいたいと思います。そうすれば若い人も増えて活気も出るし、少子化にも歯止めがかかり、全てが良くなると思います。市のサービスなどの充実はその後でも遅くないと思います。縁あって甲州市に住んでいますが、大自然、歴史などの文化、ワインや果物など、とても大好きです。是非これらをアピールして若い世代の獲得をして欲しいと思います。よろしく願います。(男性・30歳代・大和)

2：若い世代が手頃な家賃で住める公営住宅の充実を希望します。(男性・30歳代・塩山)

3：交流人口の増もさることながら、定住人口増をする対策を望みます。特に若い世代の定住。(男性・40歳代・塩山)

(18) インターネット等の地域の情報化

1：インターネット、ホームページと言われても年寄りにはやったことがないので分からない。(男性・60歳代・大和)

2：インターネットに対する市の取り組み。他の地域ではインターネットを無料で使えたり、プリントアウトが出来たり、教育して使えるようにすることを前面に出して今後の時代に対応している。市役所には一人一台のペースでパソコンがあるように、一軒に一台のインターネットの普及を、安価で購入でき、定期的な集合教育の場を。(男性・60歳代・塩山)

(19) 河川や急傾斜地など危険箇所の整備

1：リサイクルが始まって以来、川がきれいになって良かったと思っておりましたところ、昨年の暮れ頃から河川の汚れが目立ち始めました。ビニールやバケツ、ビンその他諸々。悲しくなります。(女性・70歳以上・勝沼)

(20) 消防・防災体制の充実

1：近年災害が増えています。これらに強いまちづくり、大勢の人が集ってくる魅力あるまちづくりを。企業の誘致等、働く場所づくりを。(女性・60歳代・勝沼)

2：必ずやってくる地震災害に備えて今のうちに衛星電話などの通信手段を各地区へ取り付けて

欲しいです。(女性・40歳代・大和)

3：防災訓練について。市内全域の単一した内容ではなく、地区により立地など環境が異なるので、各地区に即した訓練内容を住民と検討して、現実に合ったものにして下さい。

(男性・70歳以上・勝沼)

4：大和町の国道20号線は災害等で通行止めとなった場合の対策を。(男性・50歳代・大和)

(21) 犯罪のないまちへの取り組み

1：ファストフード店等にたむろしている若者は見ていて不愉快だし、何もしていないのに絡まれたりして迷惑です。何とかして下さい。チンピラを野放しにしないで下さい。都会ではこんな人たちが居ません。田舎だからと言って放っておかないで下さい。パトロールの強化を！

(男性・10～20歳代・塩山)

2：犯罪防止の為に現在警察署が甲州市にはないので、前の塩山警察署の場所に甲州警察署を新たに発足させて欲しい。最近外国人による犯罪が凶暴化しており、私の自宅は山奥で民家も少なく警察署が遠いので大変不安です。皆の税金を有効に活用して、試験の成績だけにこだわらず、正義感溢れる若者を広く採用し、甲州警察署を発足して欲しいと強く願います。勉強だけ出来る警察官では犯罪の抑止力にはなりません。是非、答案成績だけに頼るのではなく、正義感溢れる若者の採用を願います。(男性・60歳代・神金)

(22) 交通安全への取り組み

なし。

(23) 消費者対策の充実

1：地元資本の商店を排除してまで道路を拡張し、大手資本の参入を許してしまうのであれば、地元は育たないと思う。このままではどんどん商店はなくなり、買物難民が増えるでしょう。

(男性・50歳代・塩山)

2：駅前通りが買物する店が無く不便である。コンビニすらなく、登山者にも多く聞かれ困る。

(女性・70歳以上・塩山)

～環境保全のまちづくり～

(24) 川や山などの自然環境の保全

なし。

(25) 資源のリサイクル対策

なし。

(26) 自然エネルギーの活用

1：自然エネルギーの活用に力を注いで欲しいと思います。それに伴いサービスや新たな雇用も発生し、経済も動き、より良い甲州市になっていくと、県外から転入してきた者として子育て世代の女性として、強く思います。(女性・40歳代・勝沼)

(27) ごみ収集や処理対策

2：中央道、笹子トンネル入り口付近のゴミ処理の異臭は甲州市のイメージを大きくダウンさせています。早急な対策を行わないとならないでしょう。(男性・50歳代・大和)

(28) 簡易水道、上水道の整備

1：土地があって、家を新築しようとしても水道管が細かったり下水道の整備がされてなかったりで、思うように家が建てられない状況があちこちで見られます。上下水道の整備が近い将来出来る事を期待しています。(女性・70歳以上・祝)

(29) 下水道などの生活排水処理施設の整備

1：汲み取り業者を増やして欲しい。(女性・60歳代・玉宮)

2：浄化槽の本管に接続していない戸が多いようですが、せっかく費用をかけて設置した浄化槽を使わないで老朽化させてしまっただけではもったいないと思います。これではいつになっても河川はきれいになりません。(女性・70歳以上・塩山)

3：私の地域は下水道の設置予定地域だが、地域性また費用等において合併浄化槽の利用をお願い

いしたい。ぜひ見直しをして下さい。(男性・60歳代・奥野田)

4:下水道工事が一向に進まない。取り入れ口が出来ているのに?朝など水が洗剤の臭いがする。川の魚を見るにつけ可哀想。蛸も今年は3匹見ただけ。(女性・70歳以上・勝沼)

～教育文化のまちづくり～

(30) 幼稚・学校教育の充実

1:学校に通っている子供がいます。最近いじめ問題で騒がれていますが、何か問題が起こった時、市ではどのように対応するのか知りたい。(女性・40歳代・勝沼)

2:保育所の統合の話を書きませんが、いずれ小学校、中学校へと波及する問題なので、早期の取り組みが必要だと思います。最近では、公立中学校へ行かずに私立校を選択する子供(親)も多いと聞きます。それは、少人数での教育よりもある程度の人数的なかでの競争の中で強い子供に育てて欲しいからだと思います。

・少子化対策の一環だと思いますが、市民病院に産科の設置を進めていると聞いています。土地等を市で用意して独立した産科病院を誘致したらいかがでしょうか。

・子供が元気に育つ環境づくり、子供が安心して暮らせるまちづくりを重点施策として推進していただきたいと思います。(男性・50歳代・勝沼)

3:小中学校の数が多すぎる。(男性・40歳代・塩山)

4:教育予算の増額が必要。未来への投資が重要。子どもを大切にしない自治体に未来はないと思う。(男性・40歳代・松里)

(31) 青少年の健全育成の推進

1:学校での子供たちに対して、自由で大らかな対応をお願いしたい。(男性・50歳代・奥野田)

2:良い市づくりはこれからの若者にかかっていると感じます。健全な考えの大人になってもらうため教育現場の充実。立派な指導者の育成を願っています。物やお金に価値観を持つことより、中身や心を育てる環境の場をたくさん作って下さい。国任せではなく私たちの努力で良い行政が作られることを望みます。子供を育てている今の私たちに対して言いたいです。子どもは国の宝であると。市職員の質の向上も望んでいる人が少なくありません。(女性・60歳代・東雲)

3:山梨県では不登校の子供の数が多く聞きました。私も数年前までは、学校に行かず部屋にこもってました。今は毎日高校に通うのが大変ですが、とても楽しいです。私のような子供たちのために、将来働いて行きたいと思っています。高齢者への対応とともに、不安な気持ちを抱える子供たちへの対応の強化もして行けたらと思います。(女性・10～20歳代・塩山)

4:引っ越してまだ日が経っておらず、あまり甲州市のことが分かりません。アンケートもよく分からない中で解答しているので曖昧ですみません。現在の状況が分からないので何とも言えませんが、子どもがいるので、子どもが安全に暮らせる社会であって欲しいと思います。児童虐待は見えないところで起きていると思うので、そのような家庭にも何らかの援助が出来る社会にして欲しいです。いじめについても、全てをなくすことはできないと思いますが、いじめで死ぬようなことが起きないよう、初期の段階で救ってあげられるシステムを作りたいです。親類に障害児がいるので、障害を持って生まれてきても、将来に対して希望を持てるような、親御さんが絶望しないような社会にして欲しいです。(女性・30歳代・塩山)

(32) 生涯学習の充実や施設の整備

1:教育と障害福祉の充実をお願いしたいです。甲州市は歴史のある町で、自然がいっぱいで、果実・ワインづくり環境でも活気があります。豊かな町づくりを望みます。(女性・70歳以上・塩山)

2:図書館にDVDを増やして欲しい。ビデオがたくさんあるが、ビデオデッキが家庭にある人の方が少ないため。(男性・40歳代・塩山)

3:来年、国文祭が山梨県で開催されますが、地域イベントとしての甲州市の取り組みが、もう

少し県内外に発信できれば良いと思いました。準備段階から広く一般の意見を吸い上げ、何かもっと文化的で創造性あるものが出来るのではないかと感じていました。他市に比べ、芸術・文化に関するイベントが普段から少ないように思います。市民文化ホールの稼働率をもっと上げるような努力が欲しいです。一般向けの演奏会など、本物の芸術に触れる機会を子どもたちに学校単位で作って欲しい。笛吹市スコレーセンターの稼働率は90%以上です。使ってこそ施設が生きてきます。勝沼のホール、大和のまほろばをもっと利用しないとったいないです。生涯学習や学術文化に対する取り組みに力を入れて欲しいです。心豊かな街づくりの為に。

(女性・50歳代・勝沼)

(33) スポーツの振興や施設の整備

なし。

(34) 地域文化・歴史資源の保護や活用

- 1：塩山、勝沼、大和それぞれの歴史文化などを、大切に何でもかんでもまとめてしまうのはいかがなものかと思う。勝沼にとって「ぶどう」は大切な産業であり、勝沼の代名詞であるにも関わらず塩山と一緒にになったからといって「フルーツ」と一緒にたにしてしまうのは特色を消してしまうと思う。行政が一つになっても地域の色は無くしてはならないと思う。各地域の区が小さ過ぎる。大きくまとめてはどうか。行事が多過ぎて、サラリーマン家庭には負担が大きい。希薄になるとの声もあるだろうが、見直しすべき小さい地域行事などは考える頃ではないか。(男性・40歳代・勝沼)

～参画と協働のまちづくり～

(35) 協働のまちづくり・地域活動の推進

- 1：このような大雑把なアンケート調査で市民の意向は把握できない。地域ごとの住民との対話集会を実施して本音を汲み上げるべき。(男性・60歳代・奥野田)
- 2：行政の指示待ち、行政頼みなど受け身のまちづくりではなく、市民参加型のまちづくりを推進すべき。時間を要しても市民全体の決定をする場面をもっと増やし、行政はあくまでサポートという役割に徹していくべきだ。決定してから諸施策が市民に伝わる事が多く、地域の積み重ねや歴史・文化をある意味無視して行政主導の政策・企画が進められている。市民は「お上からの指示」に単に従うのは止め、行政は「お上意識」を捨てて市政運営にあたるべきだ。(男性・30歳代・勝沼)
- 3：みんなが住みたくなるような町づくりをお願いします。(男性・40歳代・塩山)
- 4：市の職員が地域の環境整備やボランティア活動などを個人的にしている姿を全く見たことが無い。(男性・40歳代・塩山)

(36) 国内交流・国際交流の推進

- 1：海外との交流をもっと拡大すべきではないか。(男性・10～20歳代・塩山)

(37) 市政に関する情報提供や情報公開

- 1：広報の内容の充実を。他の市に比べて内容が乏しい。必要なページは中に綴る。笛吹市、山梨市、韮崎市等も参考にしたい。(男性・60歳代・塩山)
- 2：広報について。他県の広報をいくつか見てきました。新聞折りの質素なものです。週刊誌並みの冊子にびっくりです。市議会広報などは簡素化を望みます。市の行政はすべて市民の血税です。将来を洞察し、有効に使って下さい。(男性・60歳代・塩山)

(38) 行政相談、窓口サービスの充実

なし。

(39) 男女共同参画の推進・人権の尊重

なし。

(40) 行財政改革の推進

- 1：市政と云えども一個の企業と考えれば、市民はお客様。市役所の方はそう考える方がどのく

- らいいらっしゃいますか？机上の…になっていませんか？市政はすべてマニュアルでは納まりません。対「人」なのでですから血の通った対応が急務です。(女性・50歳代・塩山)
- 2：もう道路整備など必要ない事はやらないで、その税金をもっと医療や福祉などに使って欲しいし、個人の税金(住民税)を下げて欲しい。無駄なことに使わないで欲しい。子供世代がやっていたのか心配である。(女性・50歳代・松里)
- 3：地域格差が多過ぎる。農業振興の上で基盤整備への助成が少な過ぎる。今回のアンケートすべてが必要事項で、優劣なく○印をつけたい項目ばかり。順位がつけられない。アンケートに一考を！市政の中で甲州市が何に一番力を入れているのか知りたい。(男性・70歳以上・勝沼)
- 4：市職員の働き方が間違えている。いわゆる悪い意味でのお役所仕事で充満している。何もしなければ責任が発生しない、取らなくて良いという考え方がとても多く感じられる。こうしたアンケートもお金がかかることなのに、市職員自身が自分たちの目や耳で市民が何を求め、何をしなければならぬのかを探すべきだと思う。このアンケート自体があぐらをかいたお役所仕事だと言っても分からないだろうが…。(男性・60歳代・塩山)
- 5：新しい計画や企画は大事ですが、これまでやってきたことを充実させることが大切だと思います。これまでの企画の検証を図るためのアンケート調査をしてはどうですか。(男性・40歳代・塩山)
- 6：無駄遣いをせず、出来ることを一步一步推進してもらいたい。(男性・50歳代・勝沼)
- 7：市町村合併から既に何年も経過していますが、いまだに旧組織の壁を感じることがあります。その意識を正してからでないと、旧組織に偏った利便性の向上が進んだり、格差が生じてしまったりすると思います。地元優先より甲州市全体として物事を考えられるよう意識改善をお願い致します。(男性・40歳代・東雲)
- 8：一人一人の希望をすべて取り上げるわけにはいかないが、真にこのまちを良くしたいという見地に立つ人の意見は真摯に聞き入れるべきだ。私は10年程前にどうしたら街を活性化できるかについて、20人くらいで討議した経験がある。目的の実現から遥かに離れた結論にはなったが、結局当たり障りの無いことでは何の進歩も発展もみられない。例えば、若者が一生この街に住んで生活していきたいとするにはどうすれば良いかという具体的なケースで考えるべき。少なくともハコモノを作ることや〇〇対策の予算を組みました、ではないことは確かである。なお、このような企画(市民論調査)は大変良いことだと思うのでこれからもよろしくお願い申したい。(男性・60歳代・大藤)
- 9：不用な制作費の削減。このようなアンケートをインターネットで出来るようにし、費用の削減、簡略化を目指す。街灯の整備。市立図書館の新設。果物やワインなどのブランド化、海外進出。(男性・10～20歳代・塩山)
- 10：アンケートを取るだけでなく、それを生かして欲しいと思います。(男性・10～20歳代・奥野田)
- 11：公共施設を作っても管理しなければ意味がないです。(男性・10～20歳代・塩山)
- 12：市内一人一人の意見を聞くということは大変なことだと思います。しかし、このようなアンケート等の機会を頂いた人に「参加した意味があったのかな」と思えるような動きがあればと思います。はっきり言ってこれまでの行政の仕方では、どんどん衰退していく市であるのは確実ではないでしょうか。意見を聞くより市がどのように動いて行くのか、何を目標として行くのか、具体的な内容が見えていないというのはとても残念です。しかし、そうは言いながらも、この市で一生を過ごして行こうという私もいます。そういった人は少なくないと思います。何かやる、きっかけをつくる、市民が感じることでできる動きを期待しています。それがどんなことでも良いと思います。無責任な言い方で申し訳ないですが、甲州市に住んでいるのだという実感を与えてくれたら嬉しいです。(男性・10～20歳代・塩山)
- 13：まちづくりの将来ビジョンがまったく見えない。市民のため、まちづくりのため、どんな方

向で何をバージョンアップして行くのか分からない。国から地方へと言われているが、県から市へ、市から区へ、区から組へと、市も分権を考えたらどうか。市に区がいくつあるか分からないが、中にはたった8世帯で区を構成しているところもあると聞く。200~300世帯くらいにもっと集約したらどうか。組も2軒や3軒で一つの組のところも改編して、20~30世帯にしたらどうか。行政改革の第一歩としてリタイヤした世帯にアメリカのサンシティー（民間）のシステムを検討して、市内に5箇所（1箇所5,000坪）1世帯150坪から200坪（家庭菜園付）を開発して、人口1,000人~2,000人くらいの規模のまちづくりをビジョンとして考えたらどうか。

（男性・70歳以上・塩山）

- 14: 市長もたまには若い人が良いと思う。若い人の意見や関心が集まる気がする。（男性・10~20歳代・塩山）
- 15: 正直行政にはあまり期待はしていない。職員には職務を全うしてもらえれば良いと思っている。ただし、人事異動での前任者との引継ぎには不満がある。議員を含め地方公共団体が頑張っているという姿が見えてこない。個々には動いているようだが、全体として期待を持てるようなものではない。このあたりは先導（船頭）者の力によるところだ。トップセールスをする前に受け皿としての環境整備が先だと思っている。（男性・40歳代・東雲）
- 16: 甲州市の独特な良いもの（生活や産業や人、暮らし）をさらに良いものとして育める行政を目指して下さい。（男性・50歳代・塩山）
- 17: アンケートにはとりあえず答えましたが、このようなアンケートで問題点あるいは課題が明確になるとは思えません。様々な問題を横並びにせず、構造化して検討する必要があると思います。長期的な課題、緊急を要する課題等々にも分け、戦略的に取り組む必要があると思います。（女性・50歳代・塩山）
- 18: 市役所職員の意識が薄く、来庁の際の対応が軟弱と思う。職員としての知識を備え、機敏に対応して欲しい。プロとしての認識、市民に対してサービス精神を発揮出来る職員がいることによって、市民の不満も減少するものと思う。来庁する折、感ずる。少数精鋭を目指して欲しい。市民の負担も軽減されます。（女性・70歳代・松里）
- 19: 今回送られてきたアンケートに答えましたが、非常に分かりにくく、また答えにくかったというのが印象です。どんな取り組みを行政として行っているのか、ある程度明確にした上で今後どんなことを行政として検討しているのかを提示してもらえると良いと思います。その方が市民の意見をより具体的に聞けるのだと思います。（女性・30歳代・祝）
- 20: 合併してかなりの時間が経過しているが、市民間の交流がほとんど無いように思われる。旧市町村にとらわれない「甲州市民」として市の発展に関わって行けるよう取り組んでいただければと思う。（女性・50歳代・塩山）
- 21: 甲州市役所が旧市役所にあった数年前、何度となく用事があり出かけていました。その時は、特に色々の書類申請の窓口の人たちが対応するのにとても遅く、無駄口をしている女性の方々が多く居たように思います。今はすぐに気が付き対応するよう声掛けて下さるようですが、前の職員の対応に戻らないことを願います。（女性・50歳代・塩山）
- 22: アンケートの質問に対しての回答欄がもう少し具体的に書いてあったら分かりやすいと思います。例えば、問4では項目が抽象的で、回答もどちらとも言えないになってしまい、尊い経費を使ってこのアンケート調査もどうなのかな、と感じています。簡単に分かりやすくして欲しい。
- ・地域総合局の役割が軽視され、何でもかんでも本庁へ行って下さいというような感があり、地元である総合局を大切にしたいと思えます。本庁と総合局、お互いに連絡を密に取って住民対応して欲しい。（女性・40歳代・勝沼）
- 23: 区長について一言。区長は区役の中でも特に仕事が多く、また気を使う事も多い大変な役だと思う。当区では、区内を4組に分け順番に回しているも、2年に一度の役を決める時は大変

な苦勞をします。これを決めるには何か良い方法がないか、考えてみる必要があると思う。市全体でも苦勞をしているに違いないと思います。

- ・経済が厳しい折、やはり市の財政を豊かにしなければ、市は活気が出ないと思う。市の大切な資源財産のフルーツ（ぶどう、柿、すもも、いちご等）、ワイン、これらをもっと深く研究して、健康に大いに役立つよう利用する必要がある。血圧を下げるとか、メタボに効くとか、血糖値を下げるとか、究極の目指すところは癌に効くようにする事です。
- ・フルーツの販売に於いて、生産者-農協-経済連-市場-消費者の構図は、巨大スーパーに押されてしまい、生産者としては豊かな所得は手に入らない。それに全体の消費量が減少しているので大変だ。フルーツ、ワインを活かして消費量を増やすことが大切だと思う。大学、専門の研究機関に相談して頑張ってください。（男性・70歳以上・祝）

24：この町に嫁いで40年の日々を過ごしました。自然豊かで人々は人情が厚く、とても大好きな大事な町です。中でも、ぶどうの丘は公営企業として私たち勝沼に住む者として誇れる宝です。市外から訪れる友人、知人も市のシンボルとして永年頑張っている、頑張り続けているぶどうの丘に驚嘆しております。このような施設は絶対民間企業に委ねるものではないと、私は強く思っています。儲け主義により乱開発されたら、この美しい景観はどうなるのでしょうか。遠くに南アルプス、秩父の山々を眺め、甲府盆地の人々の暮らしを想像し、近くに美しいぶどう棚の広がる360度の視界に、私たちは自然の持つ偉大さに圧倒され、心癒されるのです。また明日から頑張ろうと、この町に住んでいることを体全体で感じるのです。どうか、市に仕える職員の皆様、議員の皆様、ぶどうの丘職員の皆様、すべての人々の努力と英知を注がれて、ぶどうの丘が私たちのぶどうの丘であって欲しいと願っております。ご質問に対し、どれもが大事、大切と痛感致しました。（女性・60歳代・東雲）

25：出向している市の職員、いい加減な人が大勢居ます。びっくりですね。刑事事件にならなければクビにならないとか。職員、議員も多いと思います。（男性・60歳代・塩山・パート/アルバイト）

26：全ての市民の意見を大切にしたい。行政と住民が親密な状態であるような町づくりが出来ると良いと思う。（男性・70歳以上・神金）

27：このアンケートは前回は答えたのだが、無作為に抽出されているとしても不公平感がある。少なくとも前回配布した所は外すべき。そもそもアンケートは必要なのだろうか？また、問4は答えにくい。希望としては全て重要に捉えて取り組んで欲しい（に決まっている）。納得度というのもよく分からない。とにかく、お金をかけないで工夫できるまちづくりを心掛けて欲しい。市議の方々に期待している。（男性・40歳代・塩山）

28：わずかの年金から高い保険料、税金を支払っております。民間企業は厳しい労働条件で働いております。市の職員も尚一層の経費の節約に努めて下さい。（女性・60歳代・塩山）

29：以前同じようなアンケートに回答しました。その際に、「私の住む地区で、道祖神の前にゴミを捨て、取捨場になっているのは良くないと思うので、改善して欲しい。」と答えましたが、全く改善される兆しが見られません。その時点で問24の「あなたは市民の声がどの程度反映されているか」という問を提示すること自体が間違っています。市民にアンケートを取らせるのならば、それを実行する努力を見せて下さい。ずっと住んできた甲州市を、今後も良くしていくためのアンケートだと思って、回答している私達の気持ちを無駄にしないで下さい。このアンケートの回答が、少しでも今後の町づくりに役立てて頂けると願っています。よろしくお願ひ致します。（女性・10～20歳代・勝沼）

30：道路の拡大化、電線の地中化をしてもらい、もっと住みやすい環境作りをして欲しい。住民達が安心して住めるよう、福祉・保健医療機関を充実させて欲しい。（男性・30歳代・塩山）

31：他の市町村は職員が色々な知恵を出して頑張っているように見えます。甲州市職員も自分を可愛がるだけでなく、市の職員としてやって欲しい。（女性・50歳代・奥野田）

32：このアンケート調査の統計結果はどうなる？この結果を広報などで教えてもらうことは出来

ないのですか？ただ答えて終わりならば、無作為に抽出され真面目にアンケートに協力している人は単なる答え損になってしまうのではないかと。よろしくをお願いします。(女性・10～20歳代・松里)

33：素晴らしい甲州市にして下さい。お願いします。(男性・70歳以上・神金)

34：広報を見て図書館に行くといつも休み。役所に行くと全員がパソコンに向かっている。せめて半分の方が…。(女性・60歳代・玉宮)

35：行政に関しては広報誌などで割合詳しく解っておりますし、役所の窓口などでも親切に指導して頂いて困ることはありません。特に健康面に関しては大変充実していると思います。アンケートの設問にすでに充実している事もほとんどあるのですが、引き続き重要と思うものに○をつけています。ほとんどの間にはどちらかという満足ということになりますが、近隣の市に比べ駅前前の活気が無いというのが一番の印象です。商工業でも誘致できれば人口も増え、新しい風が吹き、色々な面で改善されていくかも知れません。およっちょい祭りなどのイベントも駅前に「のぼり」すら無く、東側など淋しいものです。観光のPRなどもインターネットで行っているのかも知れませんが、高齢者には目に見える宣伝の方が活気、やる気、勇気が出てくるようです。(女性・70歳以上・塩山)

36：アンケートについて、私に直接関係ない内容等理解できない間があり、安易に答えて良いか迷いました。間の内容を理解している人達の意見、希望を聞くようにしないと、反映が出来ないと思います。(男性・60歳代・奥野田)

37：市役所の職員の減員。なぜあんなに人数が必要なのですか？そんな毎日忙しい職場ではないと思います。(男性・40歳代・塩山)

38：市の職員はその態度に疑問を持つ人が多いようです。(男性・40歳代・勝沼)

39：市民税の減税。(男性・40歳代・塩山)

40：産業や文化のPRのため、市長がトップセールスを行うように、常日頃から職員も率先して行動して欲しい。(男性・40歳代・松里)

(41) 広域行政・広域連携の推進

1：率直によく耳にすることとして、山梨市との比較です。路線バスの充実や市営温泉施設の高齢者利用の際の低料金など、甲州市では実現できていない点を再考して欲しい。将来的には近隣の山梨市、笛吹市などと公共サービス施設の共同利用など広域的な観点での市相互協調を実現して欲しい。(男性・40歳代・松里)

(42) その他

1：農家の方へお願いしたい。朝4時から消毒、草刈り機、軽トラの音がうるさい。家の壁ぎりぎりに桃の枝を伸ばす。常識ある行動をして欲しい。安眠妨害です。

(女性・50歳代・東雲)

2：甲州市の年輩の方々は謙虚なところがなく、われ先精神で気に入らないことがあると上から目線で横柄な態度が多々あります。地域性だと言う方もいます。そんな風に言われて良いとは思えません。良い施策も大切かも知れませんが、まず人柄を改め、子供たちにそういったところを見せないことが必要ではないかと…。譲り合う気持ちや感謝の気持ち、あいさつすること。まず、年輩の方々(50～80代)に改めてもらって、明るい町の人々を子供たちに見せて欲しい。子供たちの方がいっぱい挨拶しています。市政も重要であると思いますが、住み良い街はまず人々の人柄からだと思います。どんな良い環境を整えても人間の質が悪いとうんざりします。(女性・40歳代・奥野田)

3：利用されない公園。甘草屋敷が良くわからない。例えば、「漢方ゆかりの地甘草屋敷」とかに名称を変更する。勝沼については特区等の取り組みでブドウとワイン振興を望む。「勝沼町祝」の名称はこんなおめでたい地名。選挙や受験、縁起がいいから何か考えて売り出せばいい。防災無線を利用した市からのお知らせは、緊急のものだけにしてもらいたい。放送最後の「…よろしくをお願いします」はいらぬ。広報で充分。(女性・10～20歳代・奥野田)

- 4：当たり前前の地方都市でしかない甲州市に新しい特色を作らなければなりません。新たに作る事が大切だと思います。
(男性・50歳代・松里)
- 5：問と離れていますが、退職に伴い市役所に行く機会が何度かありました。昔と比べて職員の方がとてもマナーが良いこと、笑顔であること、親切でてきぱきしていることを強く感じました。特に若い方々がそうでした。素敵なことと思いました。
(女性・60歳代・松里)
- 6：いざ〇をするとなると全くどこにきていいやら。今まで建設的なことは考えたことは無く、今更といったところです。解答者として不適格申し訳なし。よしなをお願いします。
(男性・60歳代・塩山)
- 7：物価の高いのに驚きです。年金暮らしは大変です。駅前の静けさはなんでしょう。駅周辺の活性化、観光客もがっかり。(女性・60歳代・塩山)
- 8：ぶどうの蔓が道路にはみ出して、通行の妨げになる。ぶどうを川に捨てる人がいる。生活排水を流すため、悪臭がひどい。(女性・70歳以上・勝沼)
- 9：問4につきまして、各項目の内容の把握が出来ていないので、納得度に対して〇がつけにくく、申し訳ありません。誰も仕事を懸命にしていると思います。一生懸命働ける、働きやすい市(地域)作りをして欲しいと思います。
(女性・50歳代・大和)
- 10：野良犬、野良猫(放し飼いも含め)に迷惑しています。子供が怖がっています。熊野神社辺りだそうです。通学路に居るそうです。境川でも犬に噛まれた事故があったので、心配です。子供たちを守って下さい。猫かカラスか犬か分かりませんが、ゴミの日はネットを被せているにも関わらず荒らされている日があります。飼い主に指導をして下さい。よろしくお願いします。(女性・30歳代・奥野田)
- 11：喫煙マナーが非常に悪い。以前東京に住んでいたが、信じられないマナーの悪さ。ポイ捨て、歩きタバコなど。
・図書館をもっと充実させて欲しい。本を読む子どもがとても少ないと感じる。
(女性・30歳代・塩山)
- 12：農村(家)体験への支援や移住者支援により人口を増やすなど(甲州市への転入者の)。自立たないけれど、(ハードではなく)内容の発展を望みます。
(女性・60歳代・松里)
- 13：子供の教育関連の役員が回って来て、様々な会議に出席したが、内容的にはわざわざ分けることもない、集約出来る内容だった。3~4回の会議が一つに集約出来たと思う。議題だけを並べ一回限りの会議にするのではなく、一つにまとめて、時間、経費の節約と、真に議題を解決、改善する仕組みにして欲しい。上辺だけ取り繕っているようにしか思えない。他にも様々な部署で、もっと危機感を持って詰めて仕事を出来るのではないかと、見直して欲しい。余っている人に名目だけ並べて、人件費を無駄にしないで欲しい。西広門田橋も、通行量を考えれば、費やした税金に見合うだけのメリットがあると思えない。税金を有効な物に使って欲しい。
・ある観光農園では、消毒を一般の人が通行する時間に行っており、観光に訪れた車も困って停車し、ウォーキング中の主人も困って止まったが全く構わず、道路にかかるように散布していた。主人が止めて欲しいと言ったら、通り過ぎた途端、背中に向かって散布したとのこと。マナーがなく、非常識な場合は、条例で罰金等を課して欲しい。早朝の人通りの少ない時間に行うべき。焚き火も同様。
・サラリーマンが日々の生活の中でも悩み事が相談出来る様、日曜日に悩み事他、市役所の窓口を開設して欲しい。(女性・40歳代・塩山)

※個人が特定できる内容等に関しては、部分的に表現を変えたり、削除したりしたものもあります。

甲州市まちづくりアンケート調査

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび甲州市では、第一次甲州市総合計画・基本計画の後期5ヵ年計画（平成25年度～29年度）を見直しすることとなりました。

本調査は、後期5ヵ年計画の見直しにあたり、市民の皆様のご意見をお聞かせいただき、その結果を今後の市政運営に活かしていくことを目的に実施するもので、18歳以上の市内居住者のなかから、1,000名を無作為に抽出したところ、あなたにお答え願うことになりました。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。

平成24年8月

甲州市長 田 辺 篤

ご記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人がお答えください。
- お答えは、設問ごとに（1つに〇印）、（2つまで〇印）などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないようお気を付けください。

〇印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①.）
- ご記入いただいた調査票は8月31日（金）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
- このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することはありません。
- この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

甲州市役所 政策秘書課 政策調整担当

電話 0553-32-5064（直通）

FAX 0553-32-1818

E-mail info@city.koshu.lg.jp

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 女性 2. 男性	
(2) あなたの年齢	1. 10・20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上	
(3) あなたの居住地区	1. 塩山 2. 奥野田 3. 大藤 4. 神金 5. 玉宮 6. 松里 7. 勝沼 8. 祝 9. 東雲 10. 菱山 11. 大和	
(4) あなたの職業 (※主たるもの)	自 営	1. 農林業 2. 製造業・建設業 3. 卸小売、飲食業 4. その他サービス等
	お つ と め	5. 農林業 6. 製造業・建設業 7. 卸小売、飲食業 8. その他サービス等 (公務員を含む)
	そ の 他	9. 主婦(夫) 10. パート・アルバイト 11. 無職 12. 学生、その他
(5) あなたの就学地 ・就労地	1. 市内 2. 山梨市 3. 笛吹市 4. 甲府市 5. 大月市 6. その他県内 7. 県外 8. 就学・勤務していない	
(6) あなたの居住歴	1. 生まれてからずっと甲州市に住んでいる 2. 甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある 3. 県内の他の市町村から転入してきた 4. 県外から転入してきた	
(7) あなたの世帯構成	1. 夫婦のみ(一世代家族) 2. 親と未婚の子ども(核家族) 3. 親と子ども家族(二世帯家族) 4. 親と子どもと孫(三世帯家族) 5. ひとり暮らし 6. その他	

まちの現状についておたずねします。

問2 あなたは、全体的にみて甲州市の暮らしやすさについてどのように感じていますか。(1つに○印)

1. 満足している
2. どちらかという満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかという不満である
5. 不満である

問3 あなたは、これからも甲州市に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

1. 住み続けたい
2. どちらかという住み続けたい
3. どちらかという住みたくない
4. 住みたくない

※問3で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

問3付問 その主な理由はなんですか。(2つまで○印)

1. 自然の減少や環境の悪化が進んでいるから
2. 日常の買物が不便だから
3. 道路事情や交通の便が悪いから
4. 地域の行事や近所つきあいが面倒だから
5. 子どもの保育・教育のことが心配だから
6. 市内に適当な職場が少ないから
7. 保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから
8. 福祉分野のサービスや施設が不十分だから
9. スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから
10. 上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから
11. 消防、防災、防犯体制に不安を感じるから
12. その他(具体的に：)

↓ 次のページに続きます。 ↓

問4 甲州市のまちづくりに関する(1)～(35)の各項目についておたずねします。

① あなたは各項目について、どの程度納得していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

② あなたは各項目についてどの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

評価 項目		①納得度						②重要度		
		納得している	どちらかという と納得している	どちらとも いえない	どちらかという と不満である	不満である		重要である (他の分野より優先する)	どちらとも いえない	重要でない (縮小してもよい)
活 力 あ る ま ち づ く り	(1)果樹・農林業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(2)ワイン産業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(3)観光交流の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(4)商工業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(5)雇用・勤労者福祉施策	1	2	3	4	5	→	1	2	3
健 康 福 祉 の ま ち づ く り	(6)保育や子育てへの支援	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(7)健康診断の実施や健康づくりへの支援	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(8)地域医療施設の充実や救急体制	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(9)地域福祉・高齢者福祉に対する施策	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(10)介護や介護予防に対する施策	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(11)障害者の自立を支援する施策	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(12)国民健康保険などの社会保障の施策	1	2	3	4	5	→	1	2	3
快 適 で 安 心 な ま ち づ く り	(13)土地利用や市街地・公園の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(14)美しい景観形成	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(15)幹線道路や生活道路の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(16)バス等の利便性の向上	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(17)公営住宅や良好な宅地の確保	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(18)インターネット等の地域の情報化	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(19)河川や急傾斜地など危険箇所の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(20)消防・防災体制の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3

項目		①納得度					②重要度			
		納得している	ほぼ納得している	ほぼ満足である	満足である	不満である	重要である(他の分野より優先する)	重要でない(補完的)	重要でない(補完的)	
	(21)犯罪のないまちへの取り組み	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(22)交通安全への取り組み	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(23)消費者対策の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3
環境保全のまちづくり	(24)川や山などの自然環境の保全	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(25)資源のリサイクル対策	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(26)自然エネルギーの活用	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(27)ごみ収集や処理対策	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(28)簡易水道、上水道の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(29)下水道などの生活排水処理施設の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3
教育文化のまちづくり	(30)幼稚・学校教育の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(31)青少年の健全育成の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(32)生涯学習の充実や施設の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(33)スポーツの振興や施設の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(34)地域文化・歴史資源の保護や活用	1	2	3	4	5	→	1	2	3
参画や協働のまちづくり	(35)協働のまちづくり・地域活動の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(36)国内交流・国際交流の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(37)市政に関する情報提供や情報公開	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(38)行政相談、窓口サービスの充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(39)男女共同参画の推進・人権の尊重	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(40)行財政改革の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3
	(41)広域行政・広域連携の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3

① 前記(1)～(41)の項目のうち、あなたが、特に他の分野より優先した方がよい(重要度が高い)と思う項目を、重要だと思われるものから3つまで選んで順番に番号を記入してください。



【記入欄：項目の番号を記入】

最も重視する項目	2番目に重視する項目	3番目に重視する項目

保健・医療・福祉についておたずねします。

問5 あなたは、健康づくり施策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで○印)

1. 生活習慣病予防など健康づくり事業の充実
2. 健康に関する情報提供や相談体制の充実
3. 総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実
4. 「食育」(※)の推進
5. 地域の健康づくりを育成支援する事業の充実
6. その他(具体的に：)

※食育…市民一人一人が自らの「食」について考える習慣を身につけ、健康で安心な食生活の実現を目指そうというもの

問6 あなたは、保健・医療対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで○印)

1. 市内医療機関の診療内容や設備の充実
2. 救急・休日・夜間医療の充実
3. 往診・訪問看護など在宅医療の充実
4. 予防接種など感染症対策の充実
5. その他(具体的に：)

問7 あなたは、高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで○印)

1. 高齢者のための介護予防事業や在宅福祉の充実
2. 身近なところで多様なサービスが受けられる施設の充実
3. 社会参加の場の確保による生きがいづくりの推進
4. シルバー人材センターの充実、高齢者の就業の場の確保
5. 高齢者向けの住宅、リフォームなど生活環境の整備と援助
6. 公共交通機関の整備など移動手段の充実
7. 高齢者が集えるふれあいの場の充実
8. 軽スポーツの振興など健康増進事業の充実
9. その他(具体的に：)

問8 あなたは、障害者が生き生きと暮らせるようにするため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで○印)

1. 障害者の就業の場の確保対策
2. ホームヘルパー、ガイドヘルパーなど障害者、障害児家庭への支援の充実
3. バリアフリー化の促進による障害者にやさしいまちづくりの推進
4. 障害者のための窓口サービスの充実
5. 障害者に関する啓発活動や福祉教育の推進
6. 健常者とのふれあい・交流の場の拡充
7. その他(具体的に：)

問9 あなたは、保育や子育て支援、少子化対策の施策を充実していくために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○印)

1. 保育所の施設整備・充実
2. 保育内容の充実
3. 児童館の設置や児童クラブの拡充
4. ファミリーサポート(※)事業の推進や子育てボランティアの育成・活用
5. 各種学級・講座など子育てに関する総合相談体制の確立
6. 子育てサロン(※)・サークルなど子育てに関する交流の場の充実
7. 育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進
8. 乳幼児健診の充実や妊産婦・乳幼児等の訪問指導の充実
9. 児童虐待の予防・解消対策の推進
10. 子育て家庭に対する経済的支援の推進
11. その他(具体的に：)

※ファミリーサポート…「子育てを手助けしてほしい人」と「子育てを手助けしたい人」が会員となり、地域の子育てをお互いに支えあう事業。たとえば、保育所の開始前や終了後の子どもの預かりや送迎のサービスなど

※子育てサロン…就学前の子どもとその親のための子育て広場

環境対策についておたずねします。

問10 あなたは、環境保全対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

1. ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化
2. ごみ収集業務の充実
3. 下水道など生活排水施設の整備促進による河川の浄化推進
4. 大気汚染や水質汚濁などの監視・指導体制の強化
5. 不法投棄防止監視体制の強化
6. 森林や河川、生き物などの自然環境の保全
7. 市内の美化運動や清掃運動の推進
8. 太陽光、水力、風力などの自然エネルギーの利用促進
9. 省エネルギー行動の促進
10. 電気自動車等のエコカーの利用
11. 環境教育・環境学習の推進と広報活動の充実
12. その他（具体的に： _____）

産業振興についておたずねします。

問11 あなたは、市の農林業を振興するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

1. 農地の流動化など専業農家の規模拡大の推進
2. 農林業後継者の育成
3. 農業法人など新たな経営主体・経営手法の推進
4. 農道や林道、水路など生産基盤の充実
5. 共撰所などの集出荷施設や農産物加工施設などの整備推進
6. 高品質果樹の栽培や通年性を高めるなどさらなる果樹産地化の推進
7. ワインやころ柿など特産品のブランド化と販売促進
8. 観光農園や体験農園などによる直売やインターネットなどを利用した販路拡大
9. 森林の間伐事業や保全活動などの推進
10. 森林のレクリエーション・保養の場としての整備活用
11. 地元生産物を地元で消費する地産地消の促進
12. その他（具体的に： _____）

問12 あなたは、市の商工業を振興するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印）

1. 融資制度の充実
2. 既存商店街の活性化（空き店舗の効果的活用など街を元気にする取り組み）
3. 商店街の道路の拡幅、駐車場の整備など既存商店街のまち並みの再整備
4. 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実
5. 地場企業の育成や優良企業の誘致などによる工業の振興
6. 雇用創出施策（雇用創出事業者への奨励金、創業者への助成金等）の充実
7. 大型のスーパーマーケット・専門店などの商業施設の誘致
8. その他（具体的に： _____）

問13 あなたは、市の観光振興のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

1. 自然や景観を活かした新たなフットパスコースの設定など観光基盤整備の推進
2. 歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進
3. 祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催
4. 甲州種ワインなど地場の特産品や材料を使った食の開発
5. 特産品、民芸品の創作など魅力ある地域ブランドの確立
6. 観光交流拠点施設の整備・充実
7. 観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進
8. 各種の研修や観光ボランティアの育成など受け入れ・もてなし体制の充実
9. パンフレット、テレビ、ホームページ等各種のメディアを利用した宣伝・情報発信の充実強化
10. 農林業など市の産業と連携した体験や交流型観光の推進
11. 周辺の観光地と連携した広域的な観光施策の充実
12. その他（具体的に： _____）

生活環境についておたずねします。

問14 あなたのまわりの身近な生活環境を改善しようとする場合、どのような施設の整備が必要だと思いますか。（3つまで○印）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 道路や歩道 | 9. 集会施設 |
| 2. 河川、水路 | 10. 文化施設 |
| 3. ガードレール等交通安全施設 | 11. 運動施設 |
| 4. 上水道・簡易水道 | 12. 高齢者福祉施設 |
| 5. 下水道・排水処理施設 | 13. 街路灯・防犯灯 |
| 6. 駐車場 | 14. 防火水槽・消火栓 |
| 7. 公園 | 15. ごみ集積場 |
| 8. 子どもの遊び場（ひろば） | 16. その他（具体的に： _____） |

教育・文化・スポーツについておたずねします。

問15 あなたは、学校教育の充実のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○印)

1. 生きる力を育てる学習の推進
2. 適正な学校・学級規模による良好な教育環境の確保
3. 特色ある学校教育の推進と充実
4. 社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実
5. コンピューターやインターネットなど時代に即した教育内容の充実
6. 個性や才能を伸ばす教育の充実
7. 国際化を視野に入れた教育内容の充実
8. 子ども同士のつながりを深める学年を超えたグループ活動等の推進
9. 環境教育や福祉教育を通じた地域の人たちとの交流による子どもの育成活動
10. 基礎的な学力の向上を目指す教育
11. 不登校、いじめなどの心の問題への対応
12. 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化
13. その他(具体的に：)

問16 あなたは、生涯学習活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまで○印)

1. 生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実
2. 指導者やボランティアなどの育成
3. 公民館や図書館などの社会教育施設の充実
4. 施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮
5. 団体やサークル活動等への支援
6. その他(具体的に：)

問17 あなたは、生涯スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまで○印)

1. 生涯スポーツに関する情報の提供や窓口相談の充実
2. スポーツ教室等の内容や機会の充実
3. 市民体育祭や市民スポーツ大会の開催
4. 指導者の育成と活用
5. 総合型地域スポーツクラブ(※)の設立と支援
6. スポーツ施設など活動の場の整備・充実
7. その他(具体的に：)

※総合型地域スポーツクラブ…その地域に住んでいる人が、年代、性別に関係なく、誰でも参加できる自主運営型複合型スポーツクラブ

消防・防災対策についておたずねします。

問18 あなたは、災害に強いまちづくりに向けた消防・防災対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

1. 常備消防・救急体制（消防署）の充実
2. 市の消防団体制の充実
3. 避難所、避難場所、避難経路の整備充実
4. 寝具や食料など災害対策用品の備蓄
5. 災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備
6. 地域の自主防災組織の育成・充実
7. 公共施設、一般建物の耐震化の推進
8. 市民参加の防災訓練の充実
9. 救急救命講習や器具の充実
10. 防火水槽や消火栓など消防用施設の整備
11. その他（具体的に： _____）

土地利用、道路・交通についておたずねします。

問19 市の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていくことが必要になりますが、あなたは、今後、優先的に整備していくとしたらどの用地だと思いますか。

（2つまで○印）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 住宅用地 | 7. 道路用地 |
| 2. 農林業育成のための施設用地 | 8. 学校等の教育施設用地 |
| 3. 工業用地 | 9. 文化・スポーツ施設用地 |
| 4. 商業用地 | 10. 保健・福祉施設用地 |
| 5. 観光・レクリエーション用地 | 11. その他 |
| 6. 公園・緑地用地 | （具体的に： _____） |

問20 あなたは、甲州市及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。

（2つまで○印）

1. 広域幹線道路（国・県道）の整備充実
2. 市内各地区や主要施設などを結ぶ市内幹線道路の整備充実
3. 地区内の身近な生活道路の整備充実
4. 鉄道や路線バスの利便性向上
5. その他（具体的に： _____）

男女共同参画についておたずねします。

問21 あなたは、男女共同参画社会を形成するため、どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで○印)

1. 女性の働く場所の充実
2. 保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備
3. 育児・介護休業制度の一層の普及
4. 女性の就労条件改善など企業に対する啓発
5. 女性のための職業訓練の機会提供
6. 男女の固定的な役割分担意識をなくすための啓発
7. 市の審議会、委員会、地域組織などへの女性の登用
8. 男女共同参画についての学校教育・生涯学習の充実
9. その他(具体的に：)

地域間交流についておたずねします。

問22 あなたは、市内外との地域間交流について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで○印)

1. 姉妹都市・友好都市(国内外)交流の推進
2. 市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流
3. 教育・文化やスポーツなどを通じた幅広い地域との交流
4. 農産物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施
5. 民間の交流団体の育成
6. その他(具体的に：)

広聴・広報、市民参画、情報化などについておたずねします。

問23 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。(1つに○印)

1. 非常に関心がある
2. どちらかというに関心がある
3. どちらかというに関心がない
4. まったく関心がない

問24 あなたは、市民の声がどの程度行政に反映されていると思いますか。

(1つに○印)

1. よく反映されている
2. どちらかというに反映されている
3. どちらかというに反映されていない
4. ほとんど反映されていない

問25 あなたは、市政に意見を言う機会や手段について満足していますか。
(1つに○印)

1. 満足している
2. どちらかという満足している
3. どちらかという不満である
4. 不満である

問26 あなたは、自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力・技術などを無償で提供する地域活動やボランティア活動などに、現在参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。(1つに○印)

1. 現在何らかの活動に参加しており、今後も続けたい
2. 現在は活動に参加していないが、今後は参加したい
3. 現在何らかの活動に参加しているが、今後はやめたい
4. 今も活動に参加しておらず、今後も参加するつもりはない

※問26で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問26付問 あなたは、今どのような地域活動に参加していますか。または参加したいと思いますか。(2つまで○印)

1. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動
2. 児童や青少年の健全育成に関する活動
3. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動
4. 名所案内・説明など観光に関する活動
5. 高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動
6. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
7. 地域づくりやまちおこしに関する活動
8. 自主防災や災害援助、交通安全に関する活動
9. 国内外との交流、国際協力に関する活動
10. その他(具体的に：)

問27 あなたは、情報化が進む社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで○印)

1. 市ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実
2. 申請・届出等手続の電子化など市民サービスのネットワーク化
3. 保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野でのネットワーク活用
4. 学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実
5. 情報化に対応した個人情報保護対策等セキュリティ強化
6. 高齢者等の情報弱者への対応
7. その他(具体的に：)

これからのまちづくりについておたずねします。

問28 あなたは今後のまちづくりについて、甲州市をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。（3つまで〇印）

1. 子どもたちがいきいきと育つまち、安心して子育てができるまち
2. 保健・福祉・医療の充実したまち
3. 生活環境（上下水道、ごみ処理、公園など）の整ったまち
4. 農林業と観光の融合した交流とにぎわいのあるまち
5. 商工業が活発で魅力ある就業の場のあるまち
6. 交通基盤が整ったまち
7. 情報通信基盤が整ったまち
8. 犯罪がなく災害に強い安全なまち
9. 自然の豊かな美しい景観のまち
10. 歴史的なまち並みと伝統文化のまち
11. 男女が性別に関係なく社会で活躍できるまち
12. 教育・文化・スポーツ・芸術環境の整ったまち
13. その他（具体的に：)

あなたの日頃の行動等についておたずねします。

問29 あなたの日頃の行動等についておたずねします。下記の（1）～（8）の項目ごとにそれぞれあてはまる番号1つに〇印をつけてください。

回答 項目	はい	いいえ
(1) 普段から健康に心がけていますか	1	2
(2) 定期的に健康診査を受診していますか	1	2
(3) 日常生活の中でインターネットを活用していますか	1	2
(4) 甲州市のホームページを見たことがありますか	1	2
(5) ごみの分別をきちんと行っていますか	1	2
(6) リサイクルできるものはリサイクルしていますか	1	2
(7) 普段から災害に備えていますか	1	2
(8) できるだけ地産地消を心がけていますか	1	2

